次世代育成支援後期行動計画策定のための
ニーズ調査

－報告書－

平成 21 年 3 月

広島県　府中市

～目　次～

Ⅰ　調査概要 ---------- 1
【１】調査目的 ---------- 1
【２】調査設計 ---------- 1
【３】回収結果 ---------- 1
【４】地区別回収結果 ---------- 1
【５】報告書の見方について ---------- 2
【６】「家族類型別」クロス集計について ---------- 2
Ⅱ　『就学前児童』調査結果 ---------- 3
【１】属性及び家族の状況 ---------- 3
１．子どもの年齢 ---------- 3
２．子どもの人数と末子の年齢 ---------- 4
３．家族の状況 ---------- 5
４．親族等からの支援の状況 ---------- 5
５．祖父母にみてもらっている状況 ---------- 6
６．友人や知人に預かってもらっている状況 ---------- 7
７．身の回りの世話をしている方 ---------- 7
【２】保護者の就労状況等について ---------- 8
１．保護者の就労状況 ---------- 8
２．母親の就労希望 ---------- 11
３．末子が何歳になったくらいに働きたいか ---------- 12
４．母親の就労希望形態 ---------- 12
５．母親の未就労理由 ---------- 14
６．出産前後の就労状況 ---------- 15
７．出産前後に仕事を辞めた状況 ---------- 16
【３】保育サービス利用等について ---------- 17
１．保育サービス利用有無 ---------- 17
２．利用している保育サービス ---------- 18
３．利用状況 ---------- 20
４．保育サービス利用理由 ---------- 23
５．保育サービスに対する満足度 ---------- 25
６．保育サービス未利用理由 ---------- 29
【４】病児・病後児保育について ---------- 30
１．病気やケガの状況 ---------- 30
２．病気やケガの時の対処状況 ---------- 31
【５】保育サービス利用希望について ---------- 33
１．今後利用したい保育サービス ---------- 33
２．利用希望状況 ---------- 35
３．保育サービス利用希望理由 ---------- 43

【６】土曜日・日曜日等の保育希望について ---------- 45
１．土日等の保育サービス利用希望 ---------- 45
【７】一時預かりについて ---------- 47
１．一時預かりの有無 ---------- 47
２．一時預かり（年間）日数 ---------- 48
３．一時預かりの理由 ---------- 48
４．今後の一時預かり希望 ---------- 49
【８】宿泊を伴う一時預かりについて ---------- 51
１．宿泊を伴う一時預かりの有無 ---------- 51
２．その時の対処方法 ---------- 52
【９】ベビーシッターについて ---------- 54
１．ベビーシッターの利用目的 ---------- 54
２．ベビーシッター利用状況 ---------- 54
【10】ファミリーサポート事業について ---------- 54
１．ファミリーサポート事業利用有無 ---------- 54
２．ファミリーサポート事業利用状況 ---------- 54
３．ファミリーサポート事業利用希望 ---------- 55
【11】子育て支援サービスについて ---------- 56
１．子育て支援サービスの認知・利用・利用意向 ---------- 56
【12】育児休業制度について ---------- 60
１．育児休業制度の利用経験 ---------- 60
２．育児休業明けの子どもの月齢 ---------- 60
３．育児休業明けの保育サービス利用状況 ---------- 61
４．育児休業明けの状況 ---------- 61
５．育児休業明けに保育サービスを利用できなかった時の対応 ---------- 62
【13】子育てをめぐる悩みや不安感等について ---------- 63
１．子育てについての意識 ---------- 63
２．子育ての不安や負担感 ---------- 64
３．子育ての悩みや気になること ---------- 65
４．子育ての悩みや不安の相談先 ---------- 67
５．子育て情報入手源 ---------- 68
【14】子育て全般について ---------- 69
１．仕事と子育ての両立意識について ---------- 69
２．理想の子ども数と予定子ども数 ---------- 70
３．理想子ども数より少ない理由 ---------- 70
４．府中市に望む子育て支援施策 ---------- 72

Ⅲ　『小学校児童』調査結果 73
【１】属性及び家族の状況 73
１．児童の学年 73
２．子どもの人数と末子の年齢 73
３．家族の状況 75
４．親族等からの支援の状況 75
５．祖父母にみてもらっている状況 76
６．友人や知人に預かってもらっている状況 77
７．身の回りの世話をしている方 77
【２】保護者の就労状況等について 78
１．保護者の就労状況 78
２．母親の就労希望 81
３．末子が何歳になったくらいに働きたいか 82
４．母親の就労希望形態 82
５．母親の未就労理由 84
【３】放課後児童クラブについて 85
１．放課後児童クラブの利用有無 85
２．放課後児童クラブの利用状況 86
３．放課後児童クラブ利用理由 87
４．放課後児童クラブへの要望等 88
５．放課後児童クラブ未利用理由 90
６．放課後児童クラブの利用意向 91
７．放課後児童クラブ利用希望内容 92
８．放課後児童クラブ利用希望理由 94
９．放課後子ども教室の利用希望 95
10．小学４年生以降の放課後の過ごし方について 96
【４】病児・病後児の対応について 97
１．病気やケガの状況 97
２．病気やケガの時の対処状況 98
【５】一時預かりについて 100
１．一時預かりの有無 100
２．一時預かり（年間）日数 101
３．一時預かりの理由 101
４．今後の一時預かり希望 102
【６】宿泊を伴う一時預かりについて 104
１．宿泊を伴う一時預かりの有無 104
２．その時の対処方法 105
【７】ベビーシッターについて 107
１．ベビーシッターの利用有無 107
２．ベビーシッター利用目的 107
３．ベビーシッター状況 107

【８】ファミリーサポート事業について ---------- 108
１．ファミリーサポート事業利用有無 ---------- 108
２．ファミリーサポート事業利用状況 ---------- 108
３．ファミリーサポート事業利用希望 ---------- 109
【９】子育て支援サービスについて ---------- 110
１．子育て支援サービスの認知・利用・利用意向 ---------- 110
【10】子育てをめぐる悩みや不安感等について ---------- 114
１．子育てについての意識 ---------- 114
２．子育ての不安や負担感 ---------- 115
３．子育ての悩みや気になること ---------- 116
４．子育ての悩みや不安の相談先 ---------- 118
５．子育て情報入手源 ---------- 119
【11】子育て全般について ---------- 120
１．仕事と子育ての両立意識について ---------- 120
２．理想の子ども数と予定子ども数 ---------- 121
３．理想子ども数より少ない理由 ---------- 121
４．平日の放課後の子どもの過ごし方 ---------- 123
５．希望する放課後等の過ごし方 ---------- 124
６．府中市に望む子育て支援施策 ---------- 125

Ⅰ　調査概要

【１】調査目的

◇本調査は、子育て支援に関する市民の生活実態やニーズ・意見等を把握し、次世代育成支援後期行動計画（平成 22～26 年度）を策定するための基礎資料を得るとともに、子育て支援施策を総合的・計画的に推進することを目的として実施した。本市では「就学前児童」及び「小学校児童」の保護者にアンケート調査を実施し、アンケート調査内容については、「国のモデル調査票」を踏まえ、それに本市独自の設問を加えて設計した。

【２】調査設計

【調査地域】府中市全域
【調査対象】市内に居住する０歳から小学校６年生までの子どもがいる家庭の中から無作為抽出
【 標 本 数 】就学前児童 1,200、小学校児童 1,200
【調査方法】郵送配布、郵送回収
【調査期間】平成 21 年１月 22 日（水）～２月５日（木）

【３】回収結果

	標本数（配布数）	有効回収数	有効回収率％
就学前児童	1,200	613	51.1%
小学校児童	1,200	581	48.4%

【４】地区別回収結果

居住地域別有効回収数（上段：件数、下段：横100％構成比）

	サンプル数	府中 出口 荒谷町	元町 桜が丘	鵜飼 広谷 本山町	府川 高木 中須町	栗柄 用土 土生町	目崎 上山 父石町	篠根 僧殿 河面 三郎丸 河南町	河佐 久佐 諸毛 小国町	阿字 木野山 斗升 行縢町	上下町	無回答
就学前児童	613	49	38	98	212	68	34	20	6	12	68	8
	100.0	8.0	6.2	16.0	34.6	11.1	5.5	3.3	1.0	2.0	11.1	1.3
小学校児童	581	49	37	89	147	85	33	30	17	15	71	8
	100.0	8.4	6.4	15.3	25.3	14.6	5.7	5.2	2.9	2.6	12.2	1.4

【5】報告書の見方について

（1）集計は小数点以下第２位を四捨五入しています。従って回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。

（2）２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合があります。

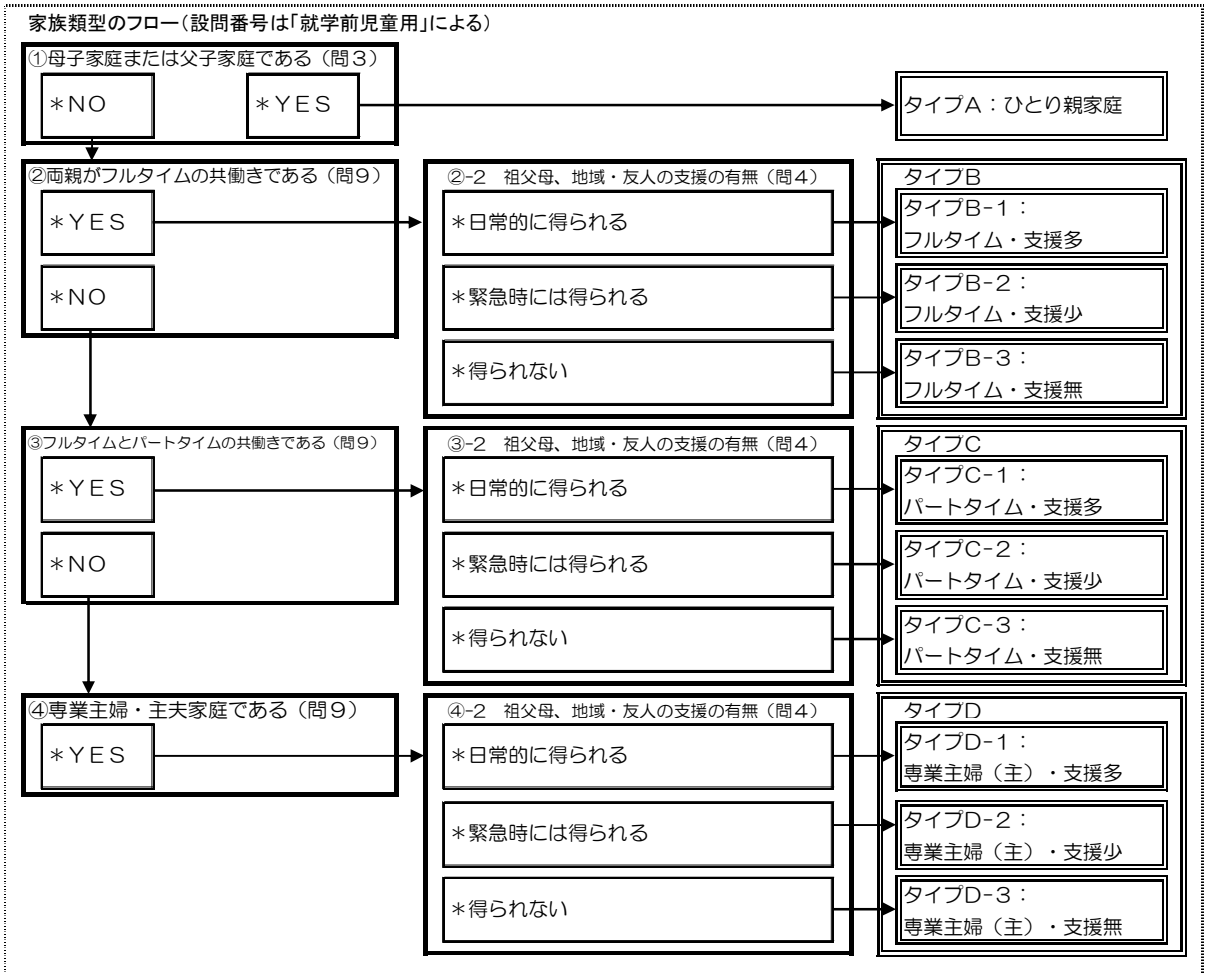
（3）数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数ベースを示す「全体」を「N」、該当数ベースを「n」で標記しています。

（4）図表中における年齢別や学年別などの属性や、他の質問とのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。

（6）図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0%、0.1%など）は表記から割愛している場合があります。

【6】「家族類型別」クロス集計について

◇今回調査の集計・分析に関しては、国の指針により、モデル調査票における「親の働き方」「祖父母等の支援」等の回答をクロス集計し「家族類型別」を作成し、データ上で分類をしている。



Ⅱ　『就学前児童』調査結果

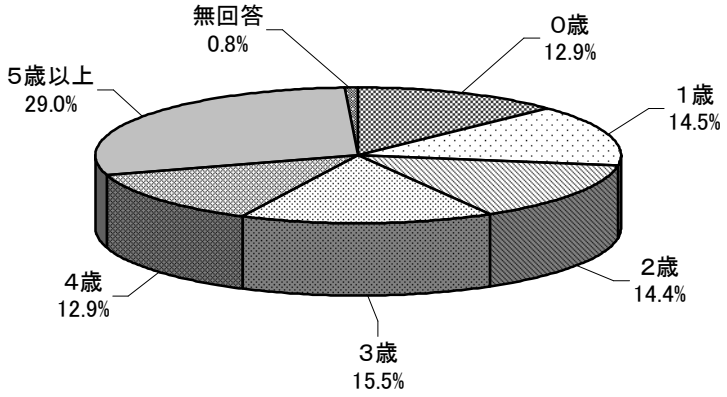
【１】属性及び家族の状況

１．子どもの年齢

問１．封筒のあて名のお子さんの満年齢をお答えください。（枠内に数字を記入、○印１つ）

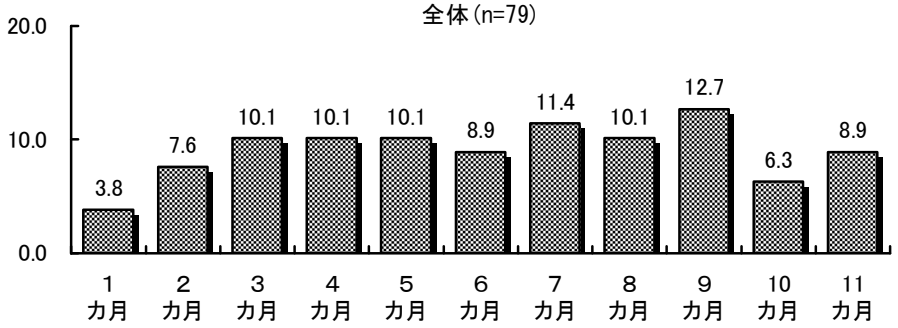
◇子どもの年齢は「5 歳以上」が 29.0%と最も多く、次いで「3 歳」（15.5%）、「1 歳」（14.5%）、の順で分布しており、「3 歳以上（合計）」で全体の過半数（57.4%）を占めている。

問１．子どもの年齢（%）
全体(N=613)



◇「0 歳児」は 12.9%（79 件）みられるが、内訳は以下のとおりである。

問１．０歳児の内訳（%）
全体(n=79)



２．子どもの人数と末子の年齢

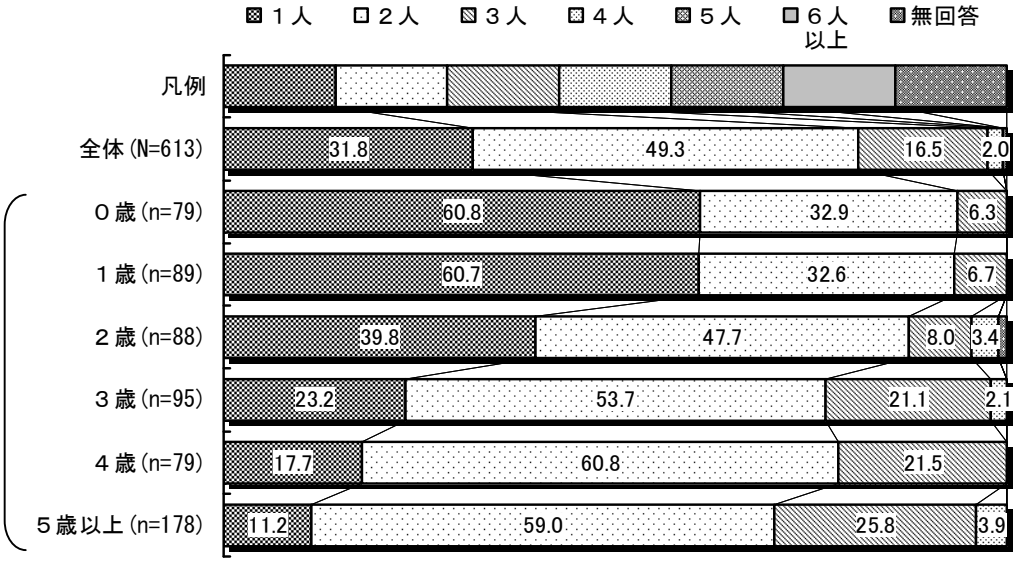
問２．封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。２人以上いらっしゃる場合は末子の年齢（平成 21 年１月１日現在）をお答えください。（○印１つずつ）

（１）子どもの人数

◇子どもの人数は、「2 人」が半数近く（49.3%）を占め最も多く、次いで「1 人」（31.8%）、「3 人」（16.5%）と続き、これらで全体の大半（97.6%）を占めている。

◇子どもの年齢（あて名の子ども：以下同様）が上がるほど子どもの人数も相対的に多くなる傾向にある。

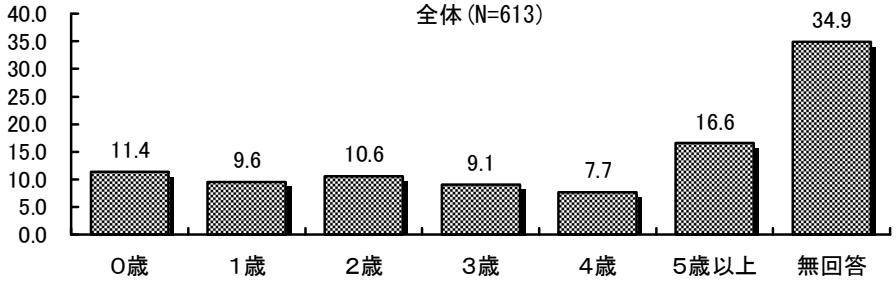
問２．子どもの人数（%）



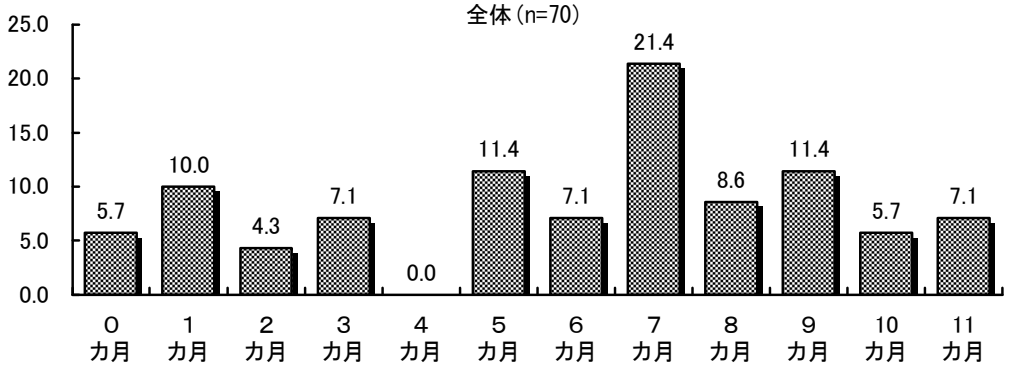
（２）末子の年齢

◇末子の年齢、及び「（末子の）０歳児」の内訳については、以下のとおりである。

問２．末子の年齢（%）
全体(N=613)



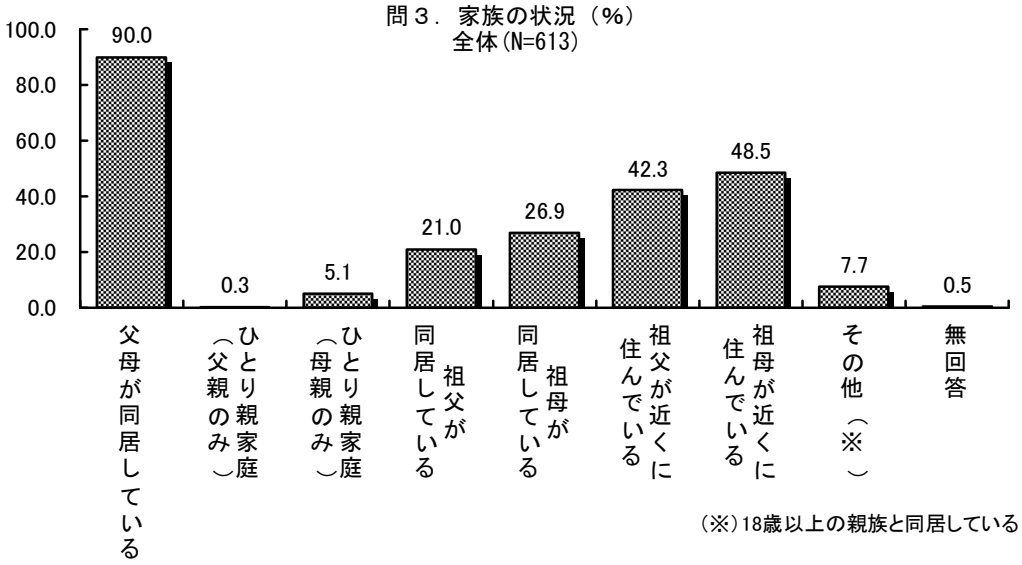
問２．末子の０歳児の内訳（%）
全体(n=70)



３．家族の状況

問３．あて名のお子さんからみた、ご家族の状況についてあてはまるものをすべてお答えください。（○印いくつでも）

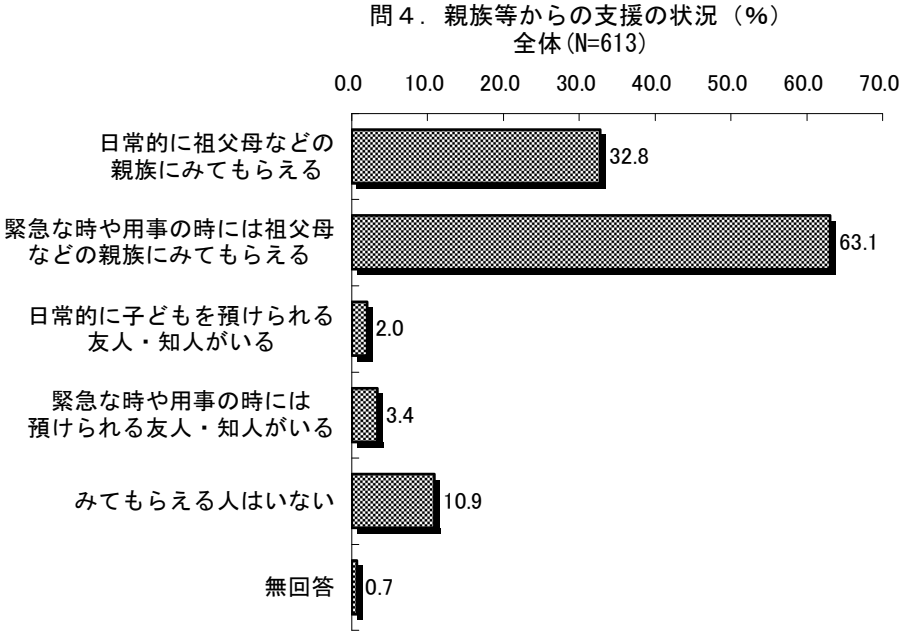
◇家族の状況については、「父母が同居している」が 90.0%と大半を占める。以下「祖母が近くに住んでいる」（48.5%）、「祖父が近くに住んでいる」（42.3%）の順で、「ひとり親家庭（母親のみ）」は 5.1%、「ひとり親家庭（父親のみ）」は 0.3%みられた。



４．親族等からの支援の状況

問４．日ごろ、お子さんをみてもらえる人はいますか。（○印いくつでも）

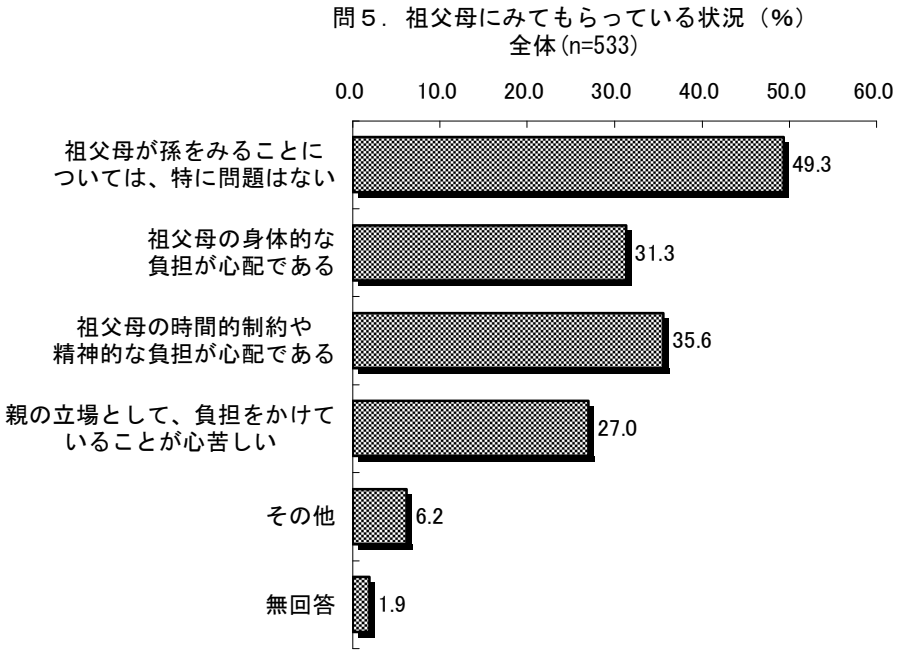
◇親族等からの支援の状況については、「緊急な時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」が 63.1%と最も多く、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」（32.8%）がそれに続く。「みてもらえる人はいない」は 10.9%みられた。



５．祖父母にみてもらっている状況

問５（問４で１～２と回答された方に）祖父母にみてもらっている状況について、どのようにお感じになっていますか。（○印いくつでも）

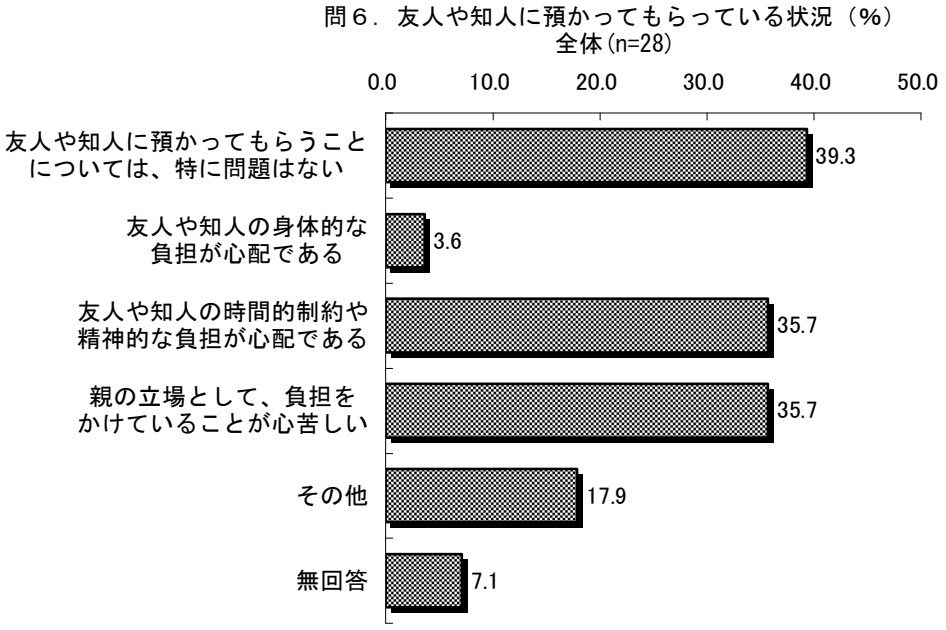
◇祖父母にみてもらっている状況については、「祖父母が孫をみることについては、特に問題はない」がおよそ半数（49.3%）と最も多く、おおむね問題がないと意識されている。次いで「祖父母の時間的制約や精神的な負担が心配である」（35.6%）、「祖父母の身体的な負担が心配である」（31.3%）の順となっている。



６．友人や知人に預かってもらっている状況

問６（問４で３～４と回答された方に）友人や知人に預かってもらっている状況について、どのようにお感じになっていますか。（○印いくつでも）

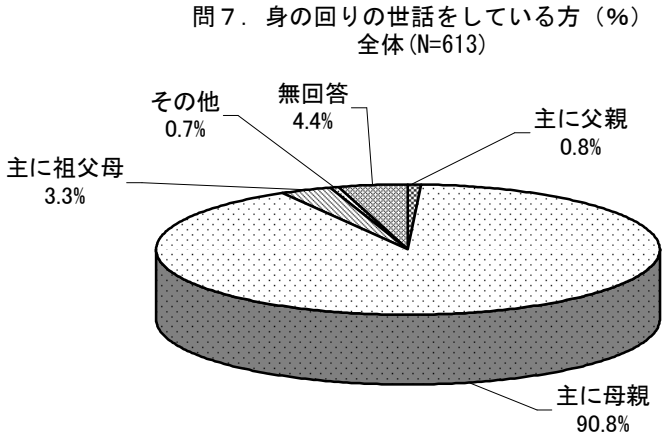
◇友人や知人に預かってもらっている状況については、「友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が約４割（39.3%）みられるが、「友人や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（各 35.7%）が並んで多くなっている。



７．身の回りの世話をしている方

問７．主に、あて名のお子さんの身の回りの世話をしている方は、どなたですか（続柄はあて名のお子さんからみた関係です）。（○印１つ）

◇身の回りの世話をしている方については、「主に母親」が 90.8%と大半を占める。「主に父親」は 0.8%、「主に祖父母」は 3.3%の内訳である。



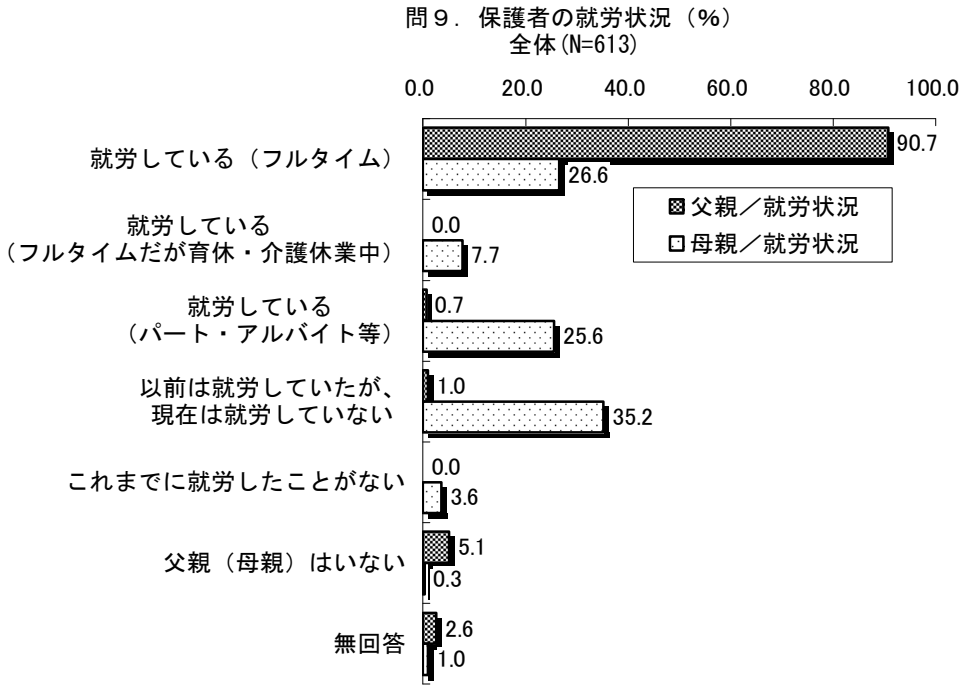
【２】保護者の就労状況等について

１．保護者の就労状況

問９．あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。（○印１つずつ、該当か所には数字を記入）

（１）就労状況

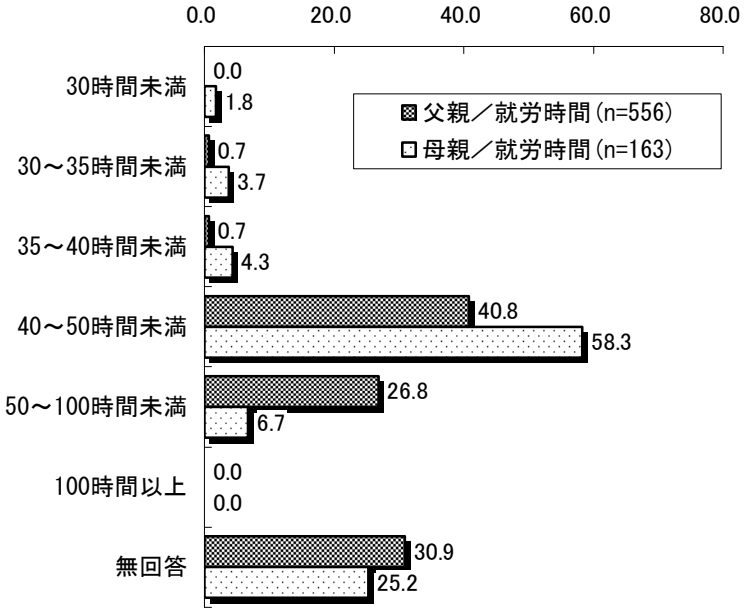
◇保護者の就労状況については、父親は「就労している（フルタイム）」が 90.7%と主流、母親は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 352%で最も多くなっている。「就労している（パート・アルバイト等）」については、父親が 0.7%、母親で 25.6%みられる。



（２）フルタイムの場合／週当たり平均就労時間

◇フルタイムの場合における週当たり平均就労時間は、父親では「40～50 時間未満」が 40.8%と最も多く、「50～100 時間未満」（26.8%）がそれに続く。母親では「40～50 時間未満」（58.3%）が最も多くなっている。

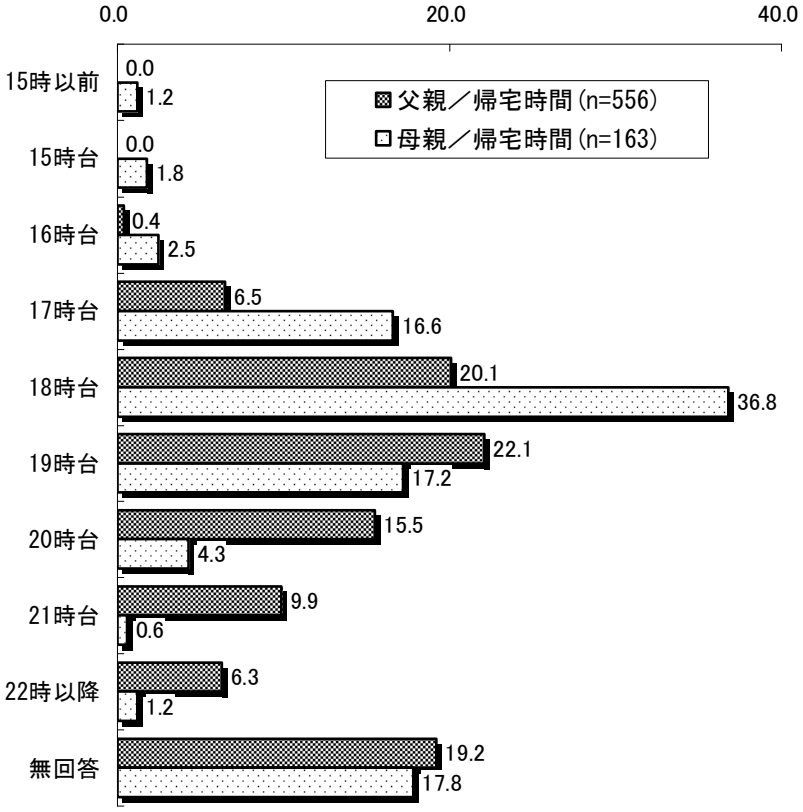
問９．フルタイムの場合／週当たり平均就労時間（%）



（３）フルタイムの場合／平均的な帰宅時刻

◇フルタイムの場合における平均的な帰宅時刻は、父親では「18～20 時台」が多く、相対的に「19 時台」（22.1%）が最も多い。母親では「18 時台」（36.8%）が最も多くなっている。

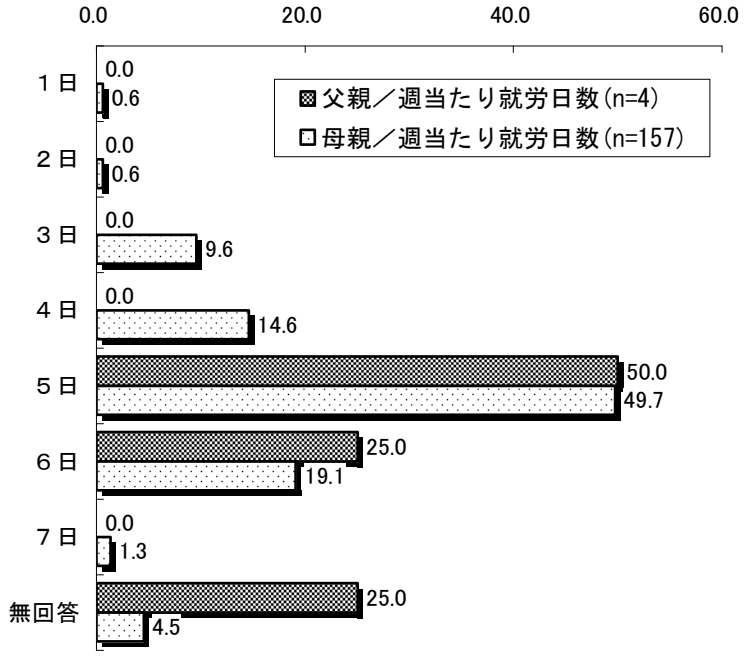
問９．フルタイムの場合／平均的な帰宅時刻（%）



（4）パート・アルバイト等の場合／週当たり就労日数

◇パートタイム、アルバイト等の場合における週当たり就労日数は、母親で「5 日」（49.7%）が最も多くなっている。

問９．パート・アルバイト等の場合／週当たり就労日数（%）

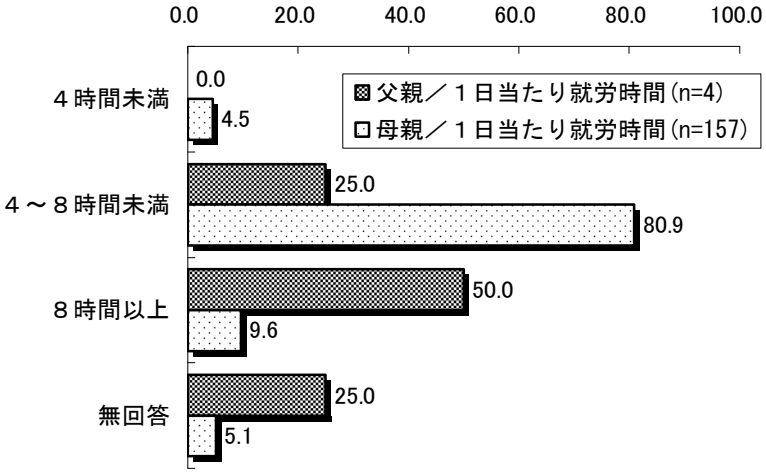


（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

（5）パート・アルバイト等の場合／1 日当たり就労時間

◇パート・アルバイト等の場合における 1 日当たり就労時間は、母親で「4～8 時間未満」（80.9%）が最も多くなっている。

問９．パート・アルバイト等の場合／1日当たり就労時間（%）

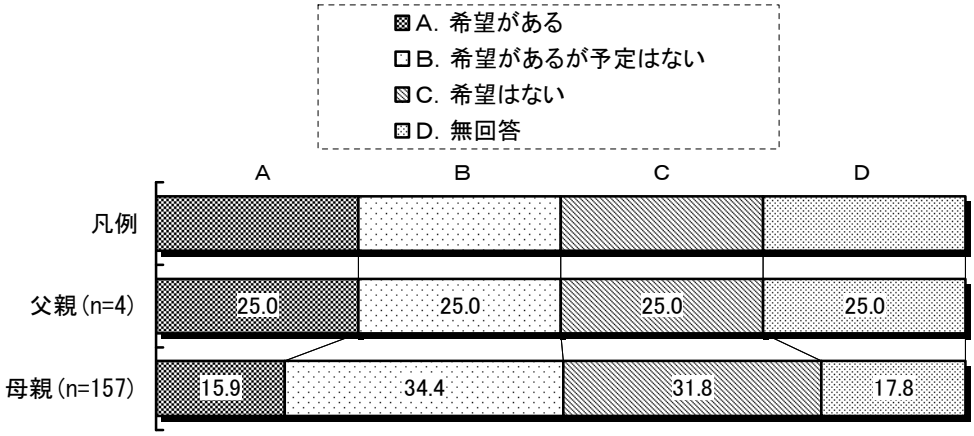


（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

（6）パート・アルバイト等の場合／フルタイムへの転換希望

◇「就労している（パート・アルバイト等）」の回答者におけるフルタイムへの転換希望については、母親の場合「希望がある」が 15.9%、「希望があるが予定はない」が 34.4%で、両者合計した転換希望者は半数（50.3%）を占める。「希望はない」は約 3 割（31.8%）であった。

問９．パート・アルバイト等の場合／フルタイムへの転換希望（%）



（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

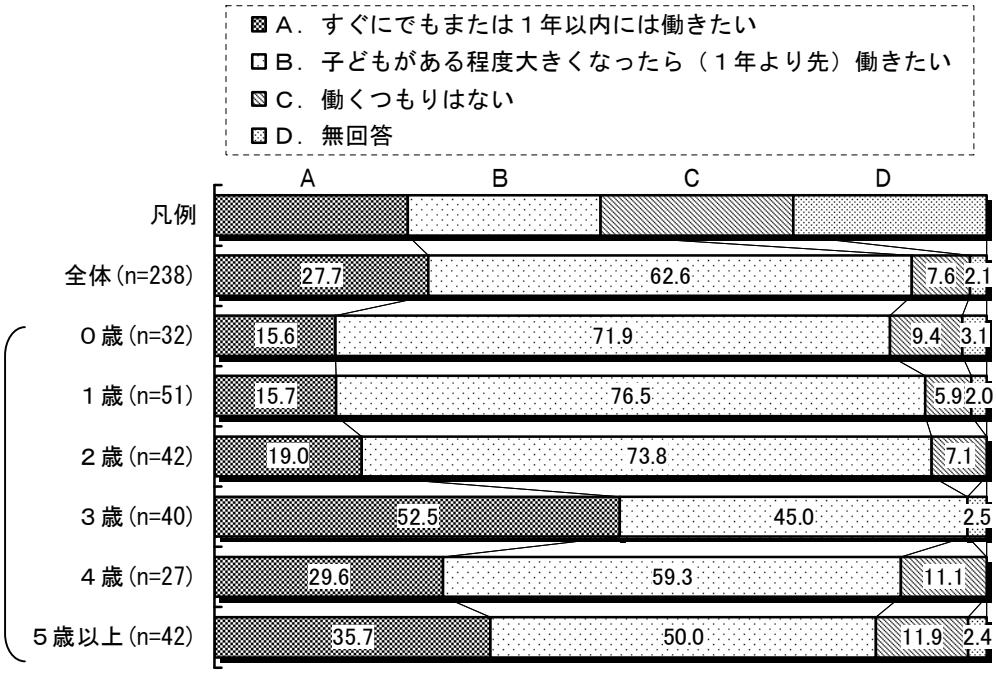
2．母親の就労希望

問 10.（問９②母親で４～５と回答された方に）今後、母親の就労希望はありますか。 （○印１つ、枠内には具体的な数字を記入）

◇母親の就労希望については、「子どもがある程度大きくなったら（１年より先）働きたい」が６割以上（62.6%）を占め主流となっている。

◇子どもの年齢別では、「3 歳」において「すぐにでもまたは１年以内には働きたい」が目立っている。

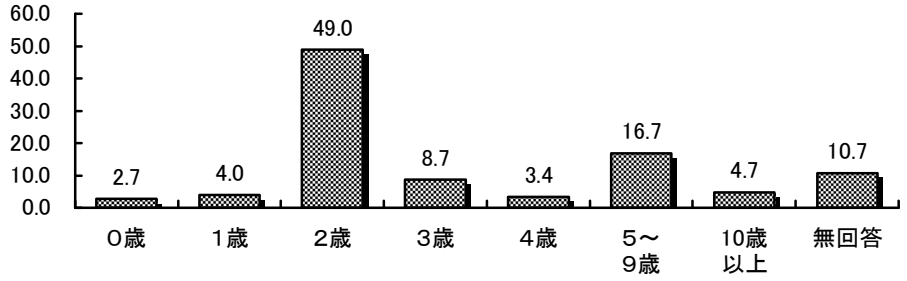
問10. 母親の就労希望（%）



３．末子が何歳になったくらいに働きたいか

◇上記において「子どもがある程度大きくなったら（１年より先）働きたい」への回答者における、末子が何歳になったくらいに働きたいか、については「2 歳」が 49.0%と半数近くを占めている。

問10．末子が何歳になったくらいに働きたいか（%）
全体(n=149)



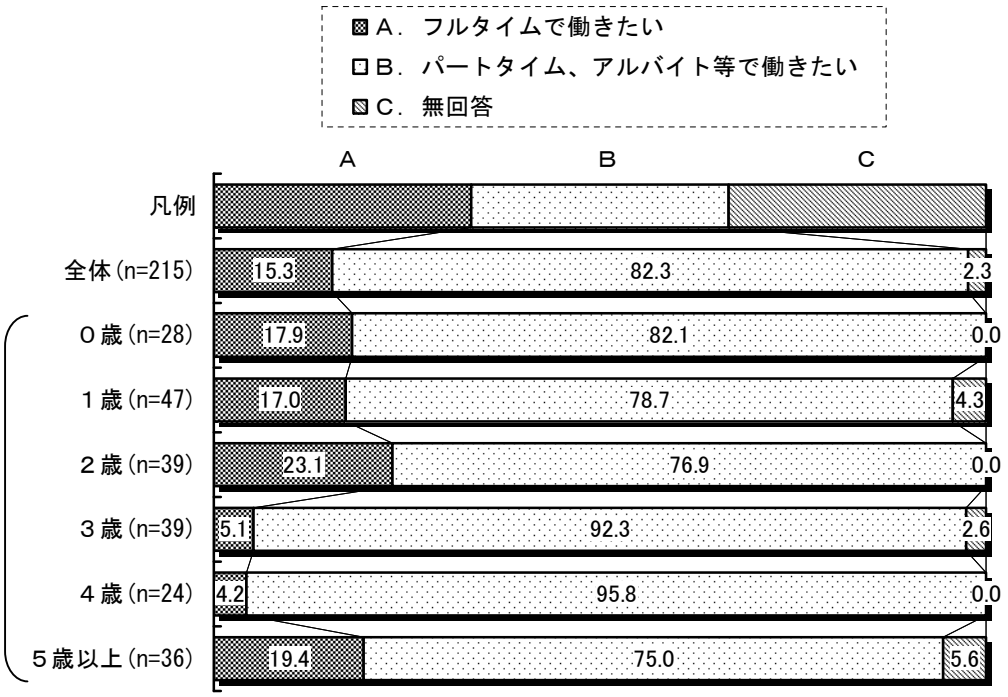
４．母親の就労希望形態

問 11（問 10 で１～２と回答された方に）どのような形態で働きたいとお考えですか。 （○印１つ、枠内には具体的な数字を記入）

（１）就労希望形態

◇就労希望のある母親における就労希望形態については、「パートタイム、アルバイト等で働きたい」が８割（82.3%）を占め主流となっており、「フルタイムで働きたい」が 15.3%みられた。子どもの年齢が「0～2 歳」及び「5 歳以上」において「フルタイムで働きたい」への希望が相対的に多くみられる。

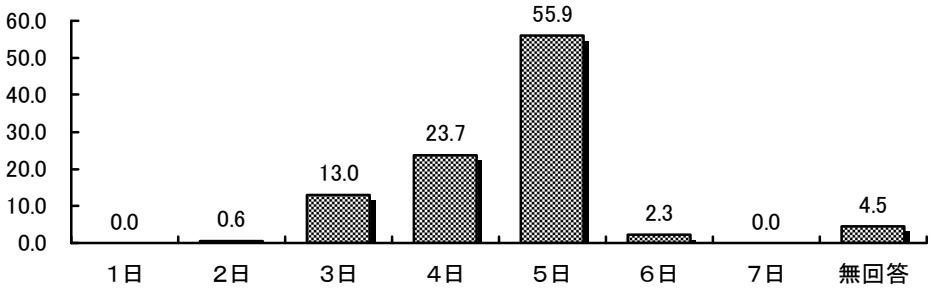
問11．母親の就労希望形態（%）



（２）パート・アルバイト希望者／週当たり就労希望日数

◇パート・アルバイト希望者における週当たり就労希望日数については、「5 日」が半数以上（55.9%）を占め最も多く、次いで「4 日」（23.7%）、「3 日」（13.0%）が続く。これら「3 日以上（合計）」で大半（92.6%）を占める。

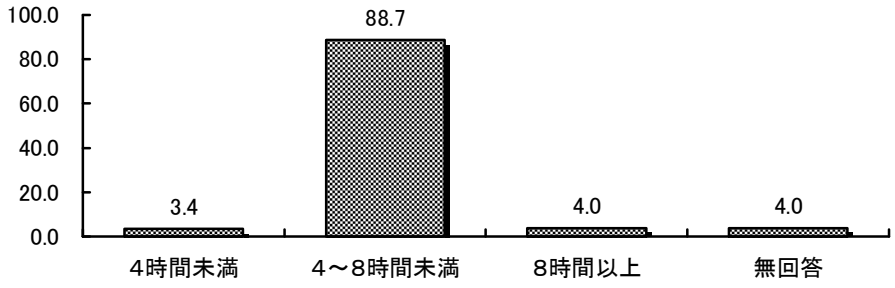
問11. パート・アルバイト希望者／週当たり就労希望日数（%）
全体（n=177）



（３）パート・アルバイト希望者／パート等で働きたい時間（１日当たり）

◇パート・アルバイト希望者におけるパート等で働きたい時間（１日当たり）については、「4～8 時間未満」が 88.7%と大半を占めている。

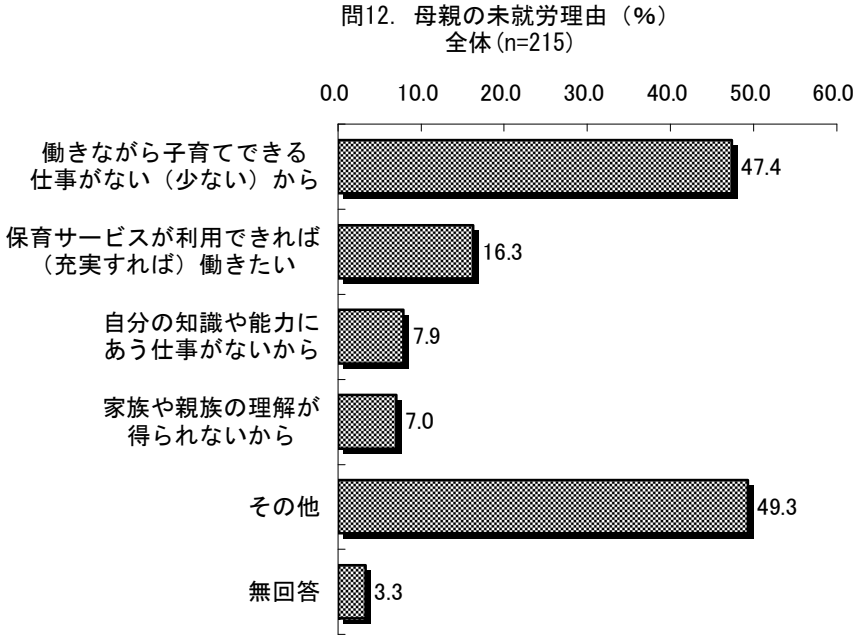
問11. パート・アルバイト希望者／
パート等で働きたい時間（１日当たり）（%）
全体（n=177）



５．母親の未就労理由

問 12（問 10 で１～２と回答された方に）現在働いていない理由をお答えください。
（○印いくつでも）

◇母親の未就労理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」といった就労条件に関することが 47.4％と最も多く、これにほぼ特化している。



◇なお、「その他」が半数近くみられるが、典型的な回答として「子どもが小さい間は、できるだけ一緒にいてあげたいから」「妊娠中のため」といった内容に類する回答が多数あげられた。

６．出産前後の就労状況

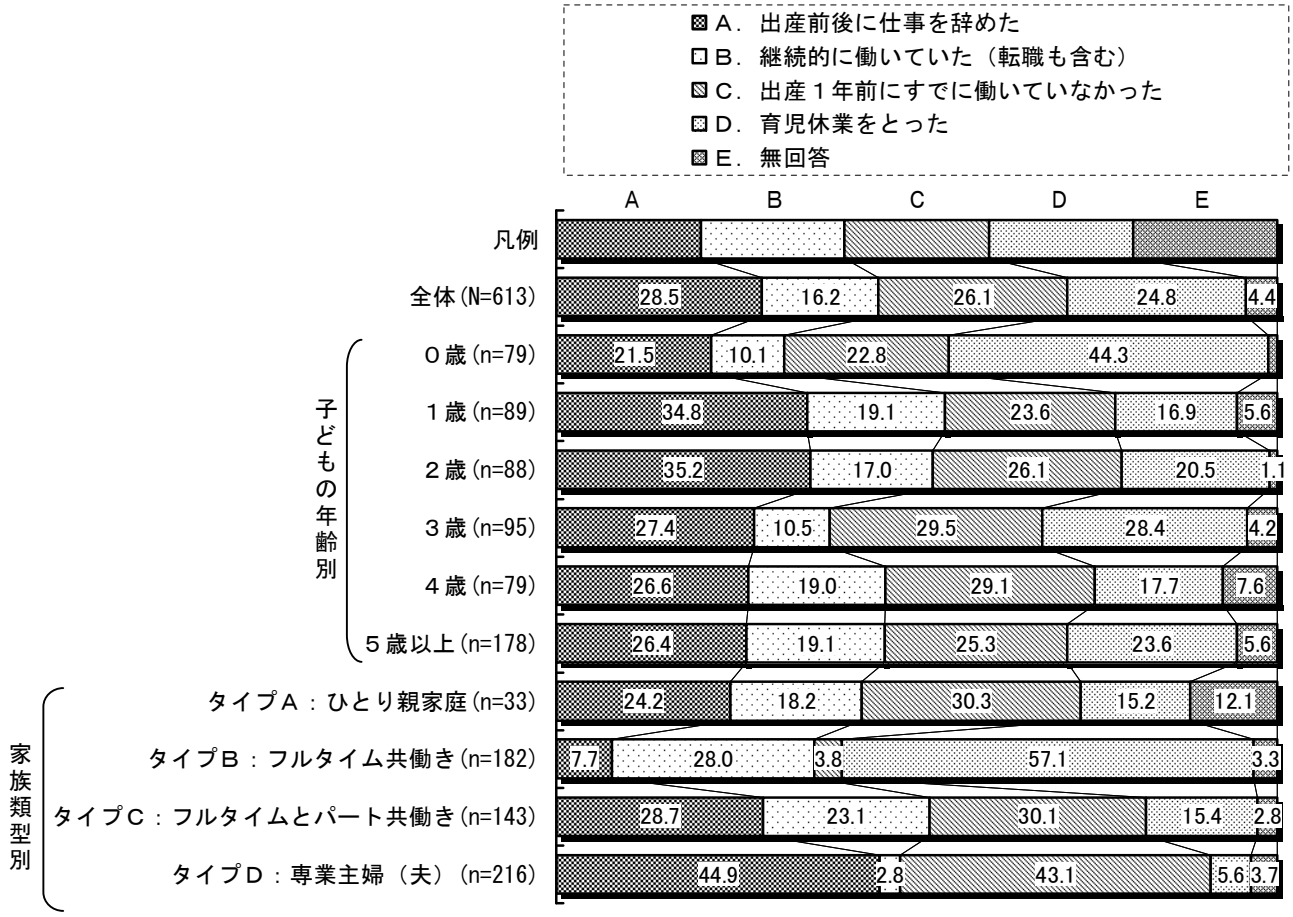
問 13．あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ１年以内）の母親の就労状況についておうかがいします。（○印１つ）

◇母親の出産前後の就労状況については、「出産前後に仕事を辞めた」が 28.5%と最も多く、次いで「出産１年前にすでに働いていなかった」（26.1%）、「育児休業をとった」（24.8%）の順となっている。「継続的に働いていた（転職も含む）」は 16.2%であった。

◇子どもの年齢が「1～2 歳」で「出産前後に仕事を辞めた」が多くなっている。

◇家族類型別(注)では、「ひとり親家庭」の場合「出産１年前にすでに働いていなかった」、「フルタイム共働き」では「育児休業をとった」、「専業主婦（夫）」では「出産前後に仕事を辞めた」及び「出産１年前にすでに働いていなかった」への回答がそれぞれ多く、就労状態による差が顕著にみられる。

問13．出産前後の就労状況（%）

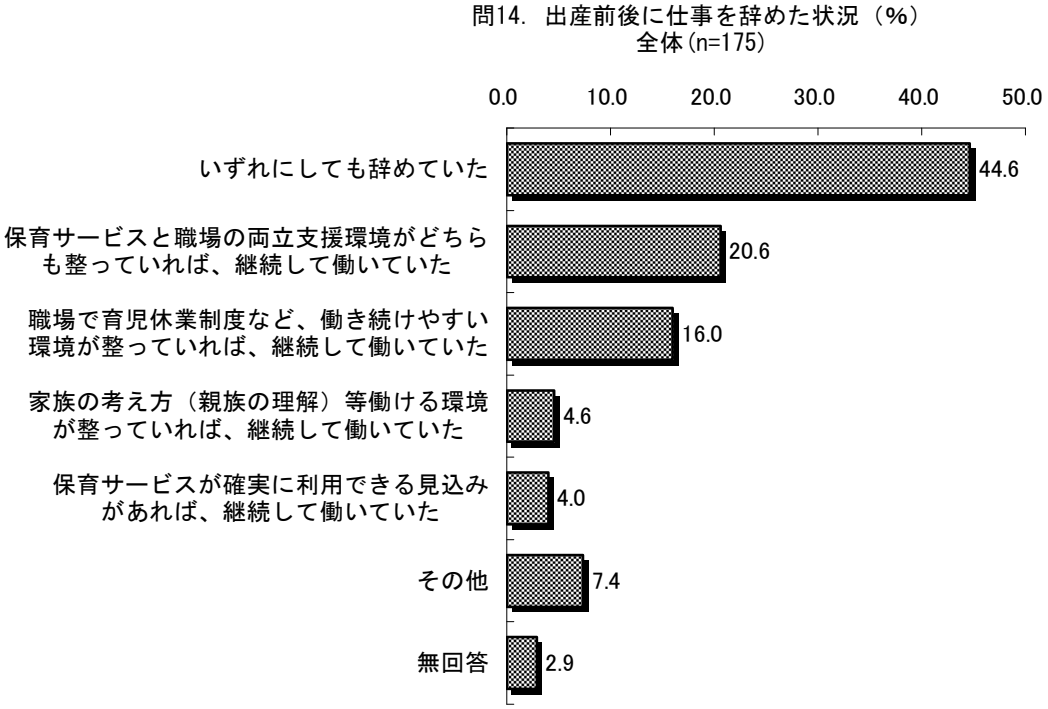


（注）家族類型別については、２ページ「【６】「家族類型別」クロス集計について」で詳述しています。

７．出産前後に仕事を辞めた状況

問 14（問 13 で１と回答された方に）仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、働き続けましたか。（○印１つ）

◇出産前後に仕事を辞めた状況については、「いずれにしても辞めていた」が４割以上（44.6%）と突出して最も多く、次いで「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して働いていた」（20.6%）、「職場で育児休業制度など、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して働いていた」（16.0%）が続いている。



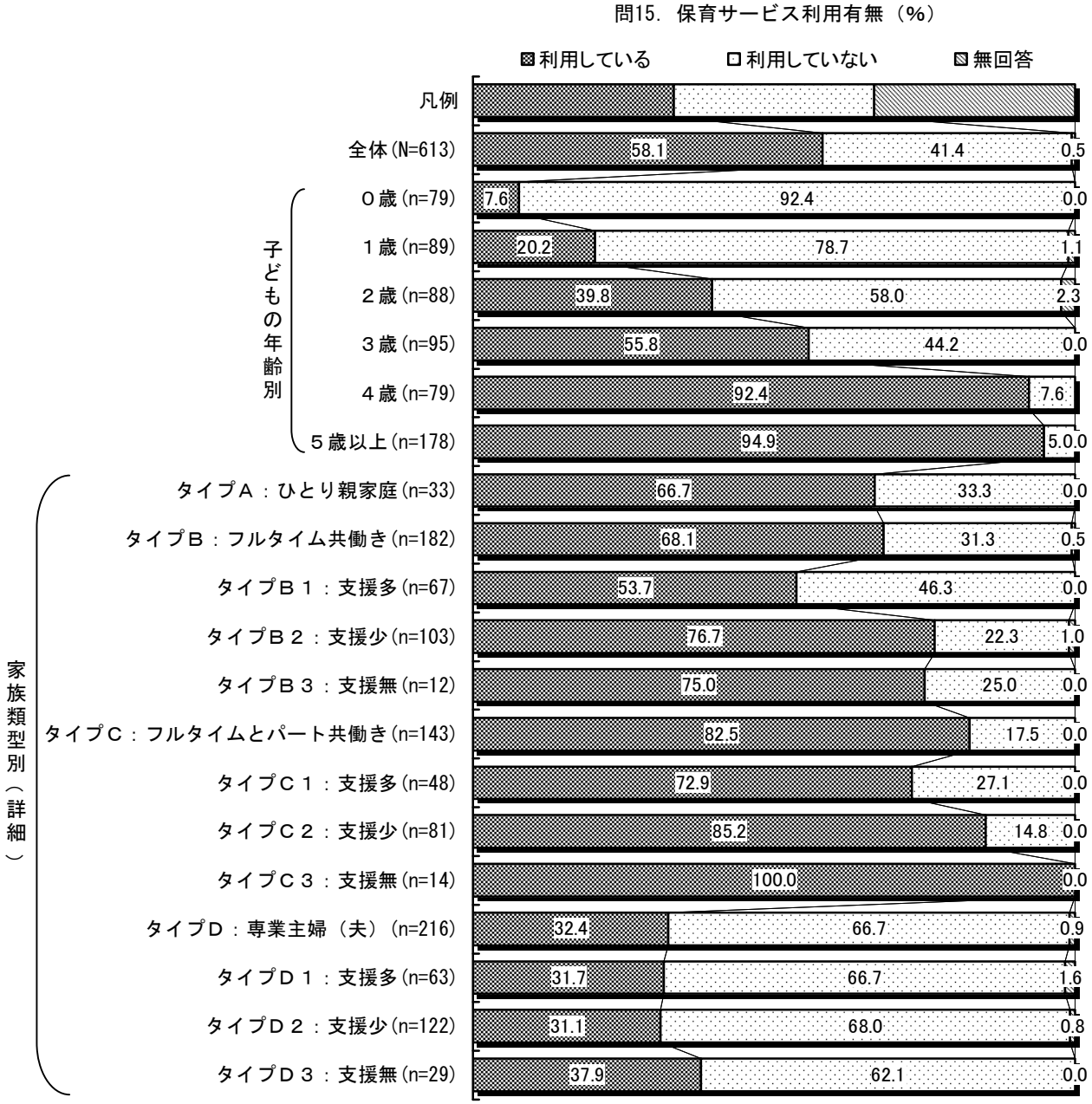
【３】保育サービス利用等について

１．保育サービス利用有無

問 15．あて名のお子さんは、日頃、保育サービスを利用していますか。（○印１つ）

◇保育サービスの利用者は、全体で約６割（58.1%）である。

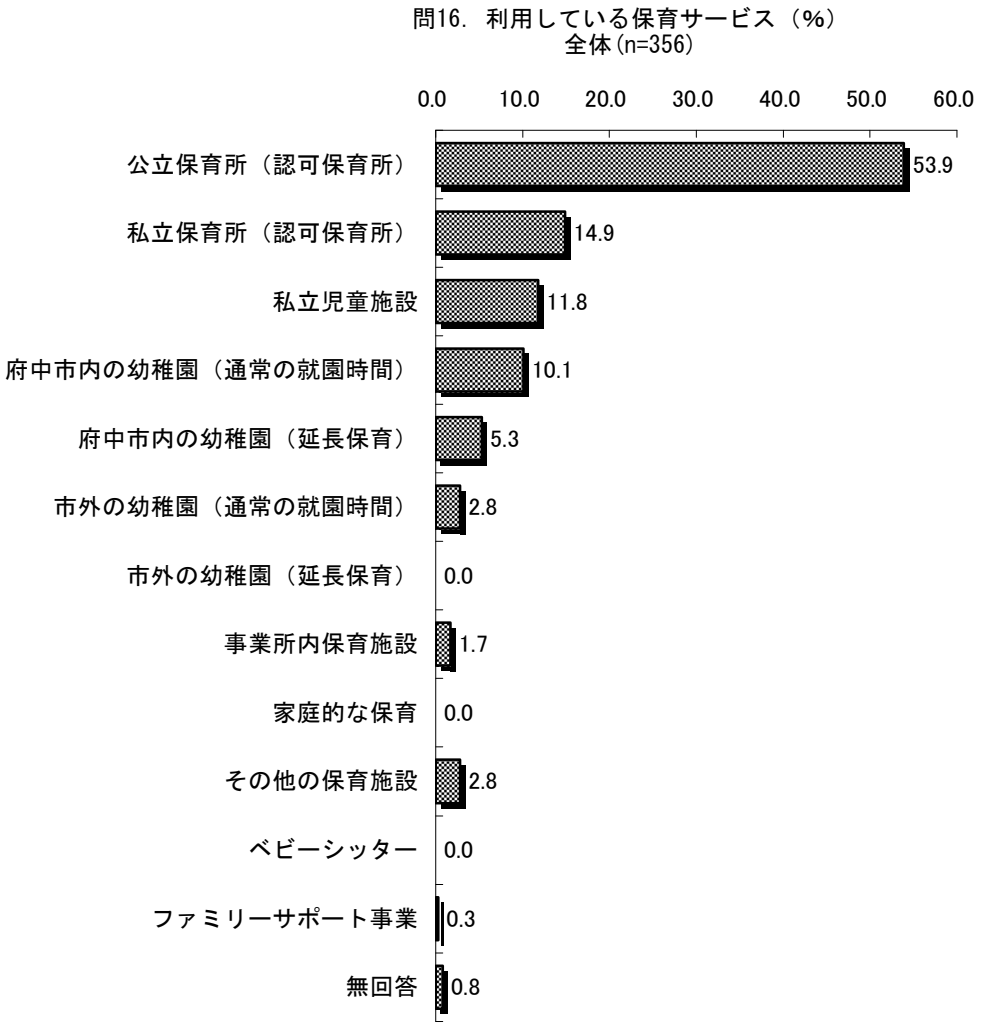
◇子どもの年齢が上がるほど、利用者も多くなる傾向にあり、家族類型別では「タイプＣ：フルタイムとパート共働き」で８割以上の利用となっている。「タイプＤ：専業主婦（夫）」については３割程度の利用状況である。いずれの層も支援が少ない（または無い）ほど利用も多い傾向にある。



2．利用している保育サービス

問 16（問 15 で1と回答された方に）①あて名のお子さんは、現在、どのような保育サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。

◇利用している保育サービスについては、「公立保育所（認可保育所）」が 53.9%と突出して最も多く、次いで「私立保育所（認可保育所）」（14.9%）、「私立児童施設」（11.8%）、「府中市内の幼稚園（通常の就園時間）」（10.1%）の順と続き、この他の利用は少ない。



◇利用しているサービスを子どもの年齢別でみると、子どもの年齢が上がるほど「公立保育所」、「1～3 歳」では「私立保育所」、「2 歳」で「私立児童施設」、「4 歳」で「府中市内の幼稚園」がそれぞれ多くみられる。

◇家族類型別では「タイプB：フルタイム共働き」において「私立保育所」「私立児童施設」が最も多く、「タイプD：専業主婦（夫）」では「府中市内の幼稚園」が多くみられる。

問16①利用している保育サービス

	1 公立保育所（認可保育所）	2 私立保育所（認可保育所）	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園（通常の就園時間）	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園（通常の就園時間）	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 家庭的な保育	10 その他の保育施設	11 ベビーシッター	12 ファミリーサポート事業
全体(n=356)	53.9	14.9	11.8	10.1	5.3	2.8	0.0	1.7	0.0	2.8	0.0	0.3
0歳(n=6)	33.3	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳(n=18)	27.8	27.8	27.8	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0
2歳(n=35)	22.9	22.9	45.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	0.0	5.7	0.0	0.0
3歳(n=53)	43.4	24.5	17.0	9.4	5.7	0.0	0.0	3.8	0.0	1.9	0.0	0.0
4歳(n=73)	60.3	11.0	2.7	16.4	8.2	4.1	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	1.4
5歳以上(n=169)	64.5	11.2	4.1	11.2	5.3	4.1	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0
タイプA：ひとり親家庭(n=22)	54.5	4.5	18.2	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
タイプB：フルタイム共働き(n=124)	46.0	16.9	21.8	7.3	4.0	1.6	0.0	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0
タイプC：フルタイムとパート共働き(n=118)	62.7	16.1	6.8	6.8	5.1	3.4	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.8
タイプD：専業主婦（夫）(n=70)	61.4	10.0	1.4	20.0	4.3	4.3	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0

（注）表中の網掛けは、属性別に最も割合が高い項目を示しています。
但し、基数(n=)が少ない項目（目安としてn=10未満）、及び最大割合が10%未満の回答については、網掛け表記をしていません（以下同様）。
表では「無回答」は割愛しています（以下同様）。

３．利用状況

問 16（問 15 で「１」と回答された方に）
②１週あたり何日、１日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用していらっしゃいますか。枠内に具体的な数字でお答えください。

（１）利用サービス別週当たり利用日数

◇週当たり利用日数については、「公立保育所」の場合「６日」が８割以上を占め主流となっている。「私立保育所」は「5～6 日」が多く、「5 日」で過半数を占める。この他「府中市内の幼稚園」「市外の幼稚園」も「6 日」が主流である。

問16. 週当たり利用日数

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 家庭的な保育	10 その他の保育施設	11 ベビーシッター	12 ファミリーサポート事業
基数(n=)	192	53	42	36	19	10	0	6	0	10	0	1
1日	0.5	0.0	0.0	2.8	10.5	0.0	0.0	16.7	0.0	30.0	0.0	0.0
2日	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	10.0	0.0	0.0
3日	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4日	0.5	1.9	2.4	5.6	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
5日	15.6	56.6	66.7	19.4	36.8	40.0	0.0	66.7	0.0	40.0	0.0	0.0
6日	80.7	35.8	28.6	69.4	31.6	60.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
7日	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	2.1	5.7	2.4	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）表中の網掛けは、保育サービスごとに最も割合が高い項目を示しています。
但し、基数(n=)が少ない項目（目安としてn=10未満）、及び最大割合が10%未満の回答については、網掛け表記をしていません（以下同様）。

（２）保育サービスの１日当たり利用時間

◇保育サービスの１日当たり利用時間については、「公立保育所」の場合「6～9 時間」が多く、そのうち「7 時間」が最も多い。「私立児童施設」の場合は「9 時間」、「府中市内の幼稚園」の場合は「6 時間」がそれぞれ最も多くなっている。

問16. 1日当たり利用時間

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 家庭的な保育	10 その他の保育施設	11 ベビーシッター	12 ファミリーサポート事業
基数	192	53	42	36	19	10	0	6	0	10	0	1
1時間	0.5	0.0	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
2時間	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
3時間	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5時間	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	100.0
6時間	16.1	9.4	0.0	38.9	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0
7時間	37.5	26.4	2.4	36.1	5.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8時間	14.6	20.8	16.7	2.8	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9時間	21.4	26.4	52.4	0.0	15.8	0.0	0.0	16.7	0.0	30.0	0.0	0.0
10時間	7.3	13.2	26.2	0.0	5.3	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
11時間	1.6	1.9	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時間以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.0	1.9	2.4	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

（３）保育サービスの開始時間と終了時間

◇保育サービスの開始時間と終了時間については、「公立保育所」の場合、最も割合の高い時間帯でみると「8 時～15 時台」、「私立保育所」では「8 時～17 時台」、「府中市内の幼稚園」では「9 時～15 時台」、「府中市内の幼稚園（延長保育）」では「15 時～17 時台」がそれぞれ主流となっている。

問16. 利用開始時間

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 家庭的な保育	10 その他の保育施設	11 ベビーシッター	12 ファミリーサポート事業
基数	192	53	42	36	19	10	0	6	0	10	0	1
7時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	5.7	17.0	11.9	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8時台	64.1	49.1	64.3	38.9	26.3	70.0	0.0	83.3	0.0	40.0	0.0	100.0
9時台	28.6	32.1	21.4	55.6	5.3	30.0	0.0	16.7	0.0	40.0	0.0	0.0
10時台	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
11時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14時台	0.0	0.0	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15時台	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
19時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.0	1.9	2.4	5.6	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

問16. 利用終了時間

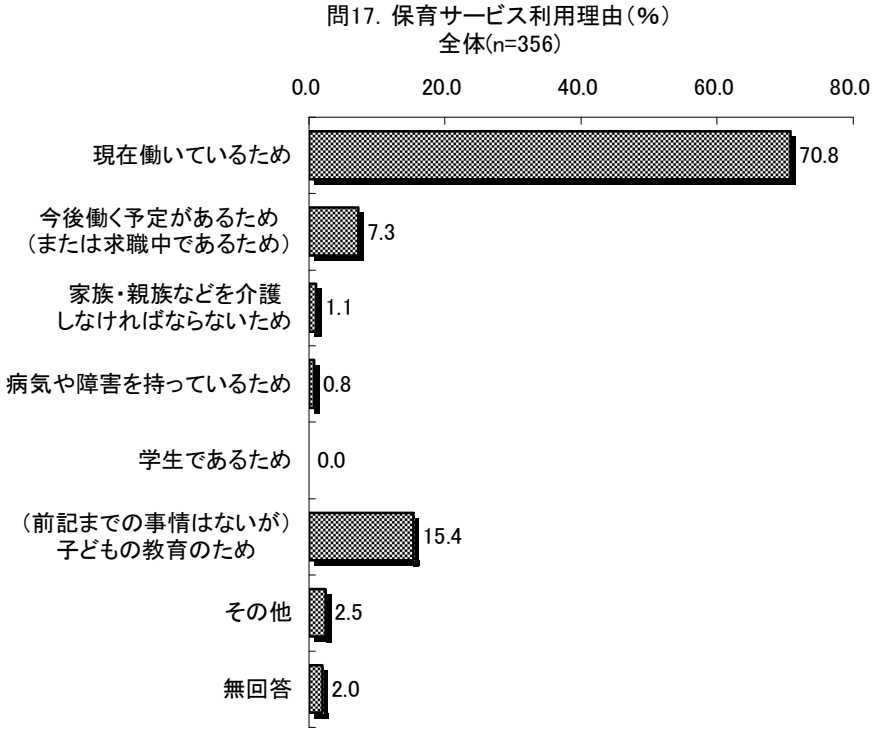
基数	192	53	42	36	19	10	0	6	0	10	0	1
7時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11時台	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
12時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
13時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
14時台	0.0	0.0	0.0	33.3	5.3	50.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0
15時台	46.9	17.0	0.0	52.8	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0
16時台	10.9	32.1	7.1	5.6	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
17時台	31.8	39.6	59.5	2.8	63.2	0.0	0.0	16.7	0.0	30.0	0.0	0.0
18時台	7.8	7.5	26.2	0.0	10.5	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
19時台	1.0	1.9	4.8	0.0	5.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.0	1.9	2.4	5.6	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

４．保育サービス利用理由

問 17（問 15 で１と回答された方に）保育サービスを利用している「最も大きな理由」をお答えください。（○印１つ）

◇保育サービス利用理由については、「現在働いているため」が７割（70.8%）と、主要な理由となっている。次いで「子どもの教育のため」（15.4%）が続くが、この他の理由をあげる割合はそれぞれ少ない。



◇「公立保育所」の場合「今後働く予定があるため（または求職中であるため）」、「私立児童施設」の場合「現在働いているため」、「府中市内の幼稚園（通常の就園時間）」及び「市外の幼稚園（通常の就園時間）」の場合「子どもの教育のため」がそれぞれ他のサービスに比べ多くみられる。

問17. 保育サービス利用理由（利用サービス別）

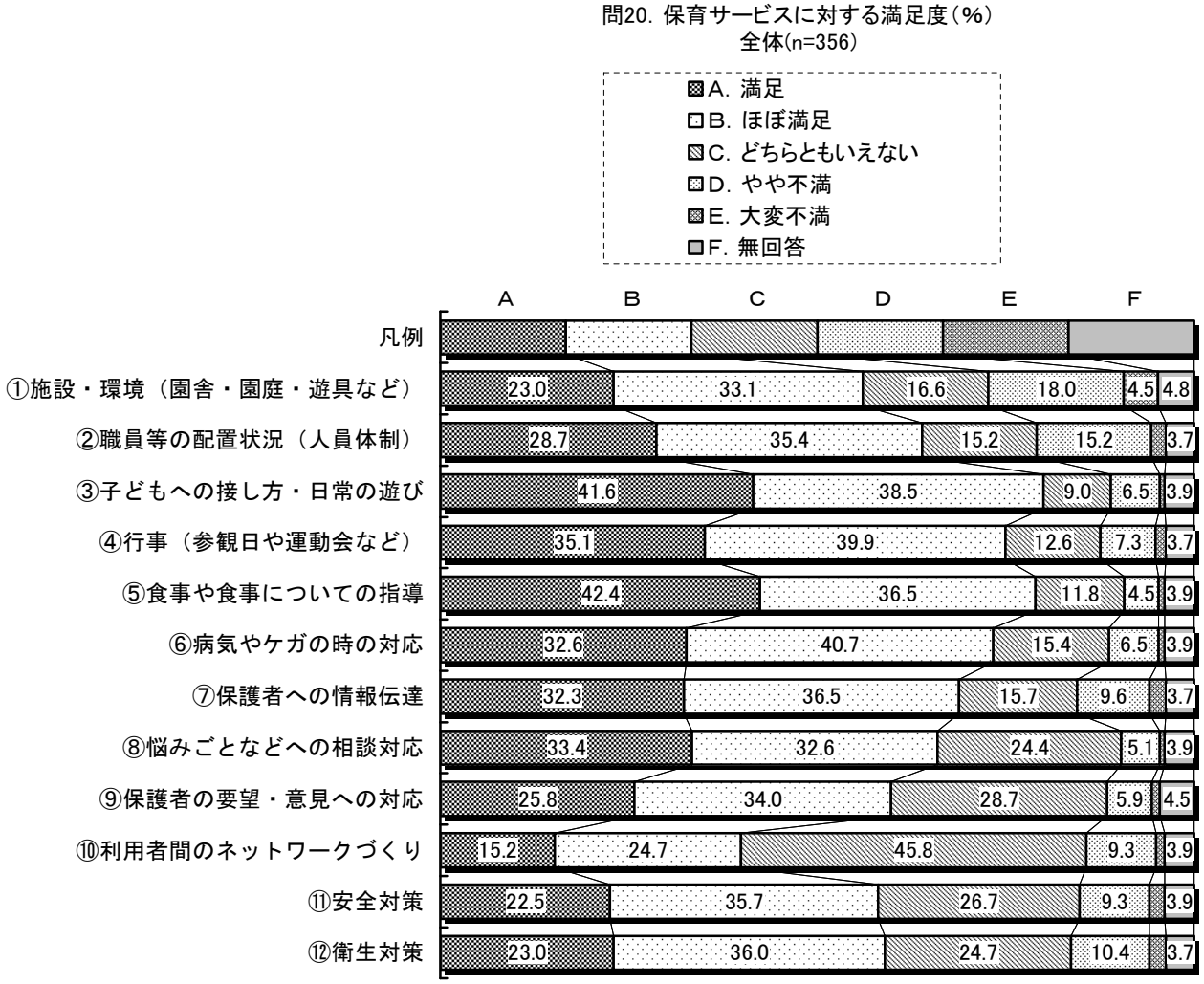
	現在働いているため	今後働く予定があるため（または求職中であるため）	家族・親族などを介護しなければならないため	病気や障害を持っているため	学生であるため	前記までの事情はないが子どもの教育のため	その他
全体(n=356)	70.8	7.3	1.1	0.8	0.0	15.4	2.5
公立保育所（認可保育所）(n=192)	72.4	10.9	1.6	0.5	0.0	10.9	3.1
私立保育所（認可保育所）(n=53)	83.0	3.8	1.9	1.9	0.0	9.4	0.0
私立児童施設(n=42)	92.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
府中市内の幼稚園（通常の就園時間）(n=36)	41.7	8.3	0.0	2.8	0.0	41.7	0.0
府中市内の幼稚園（延長保育）(n=19)	68.4	10.5	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0
市外の幼稚園（通常の就園時間）(n=10)	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0
市外の幼稚園（延長保育）(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設(n=6)	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
家庭的な保育(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の保育施設(n=10)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0
ベビーシッター(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリーサポート事業(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

5．保育サービスに対する満足度

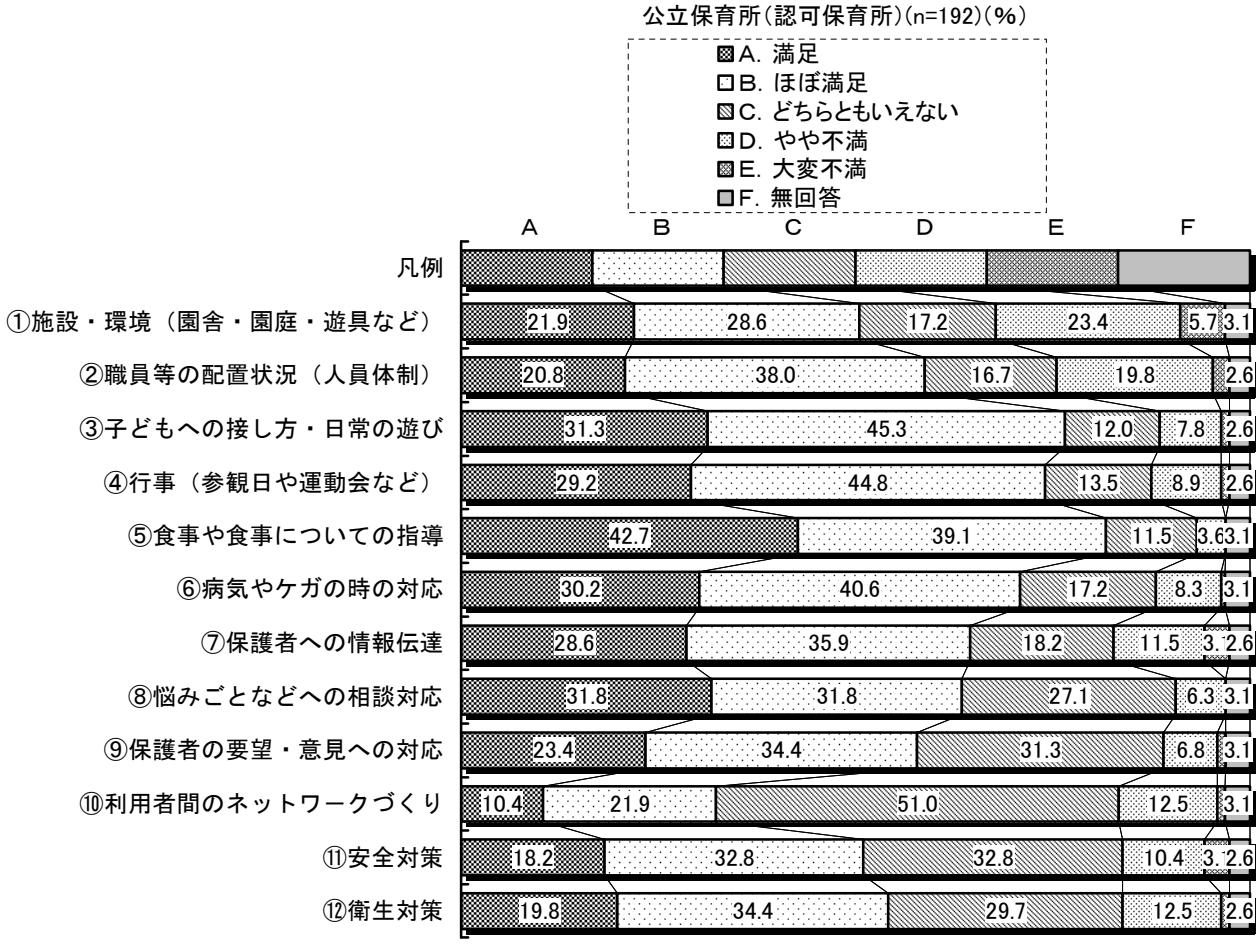
問 20（問 15 で１と回答された方に）現在、主に利用されている保育サービスについてどのように感じていますか。それぞれの項目について、1～5 の中から１つずつ選んで○をつけてください。（○印１つずつ）

◇保育サービス利用者における保育サービスに対する満足度については、「大変満足」への回答を全体でみると「⑤食事や食事についての指導」が 42.4%と最も多く、ほぼ並んで「③子どもへの接し方・日常の遊び」（41.6%）、次いで「④行事（参観日や運動会など）」（35.1%）、「⑧悩みごとなどへの相談対応」（33.4%）などの順となっている。一方で「⑩利用者間のネットーワークづくり」については、他に比べ相対的に満足度が低くなっている。

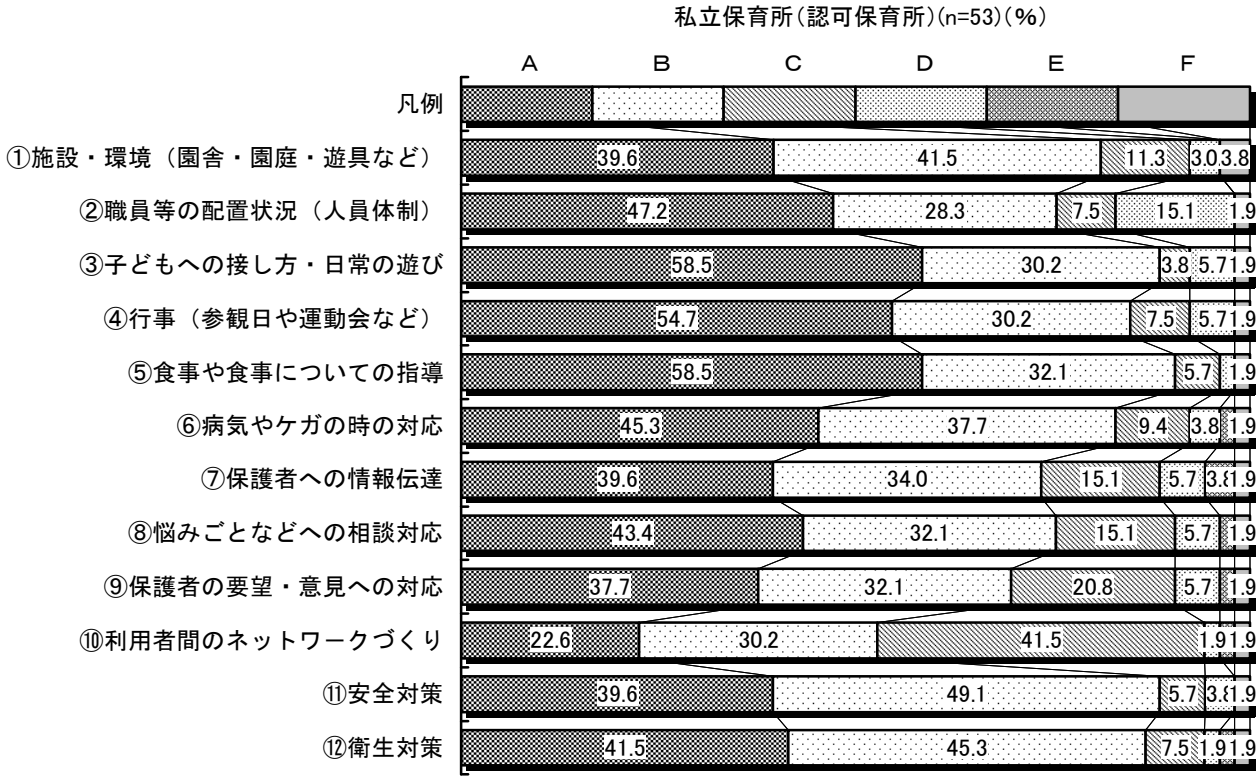


◇以下に、利用サービスごとにグラフで示した（利用者(n=)が少ないサービスを除く）。

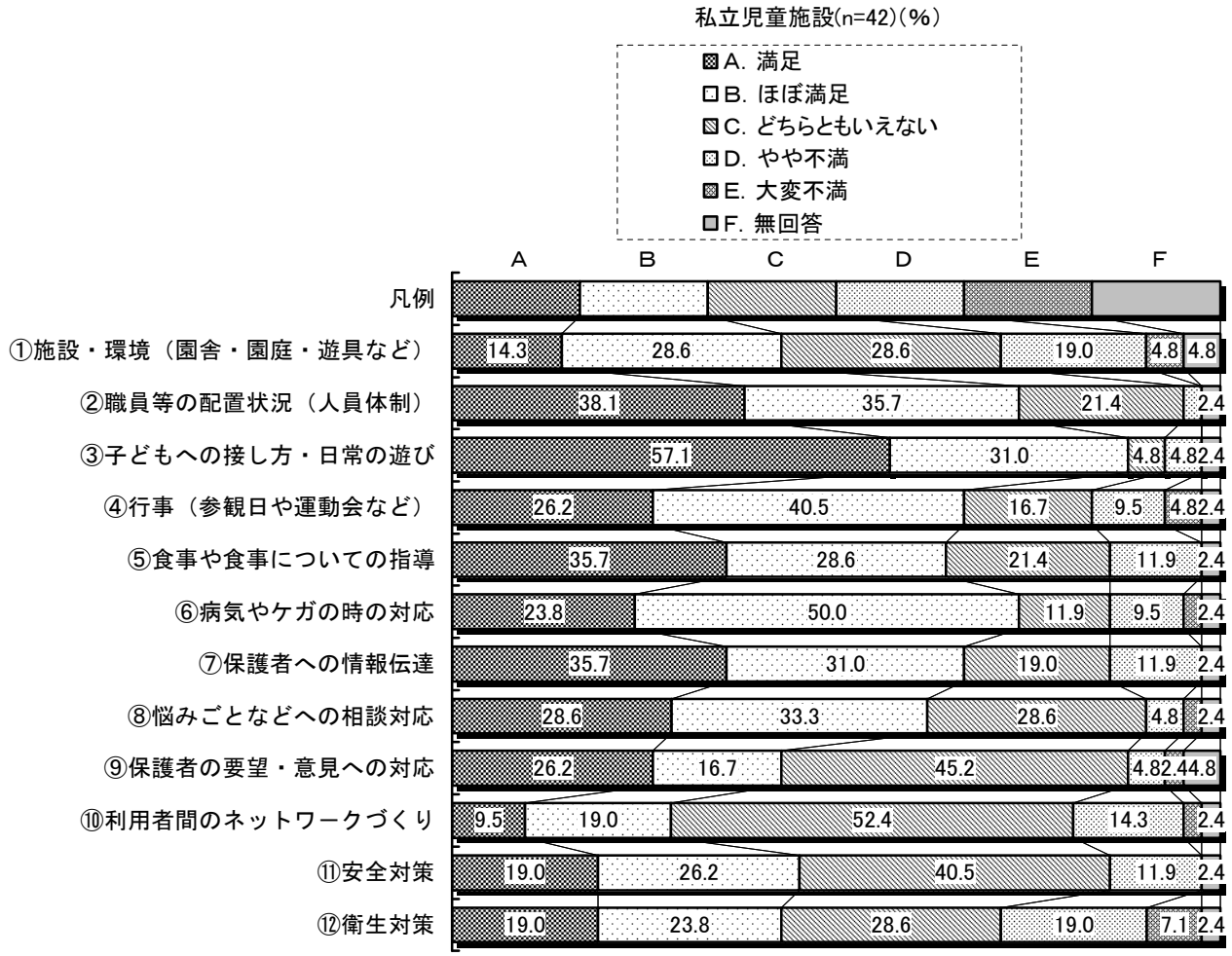
公立保育所（認可保育所）



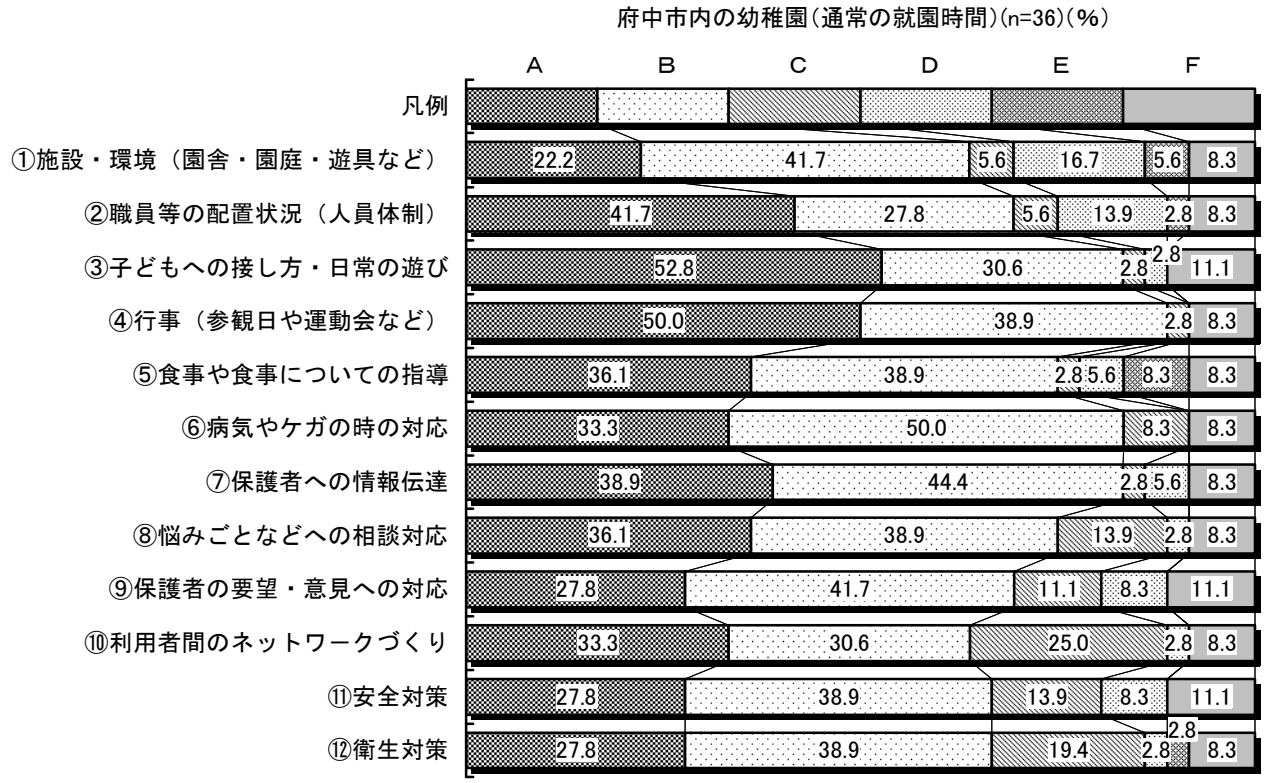
私立保育所（認可保育所）



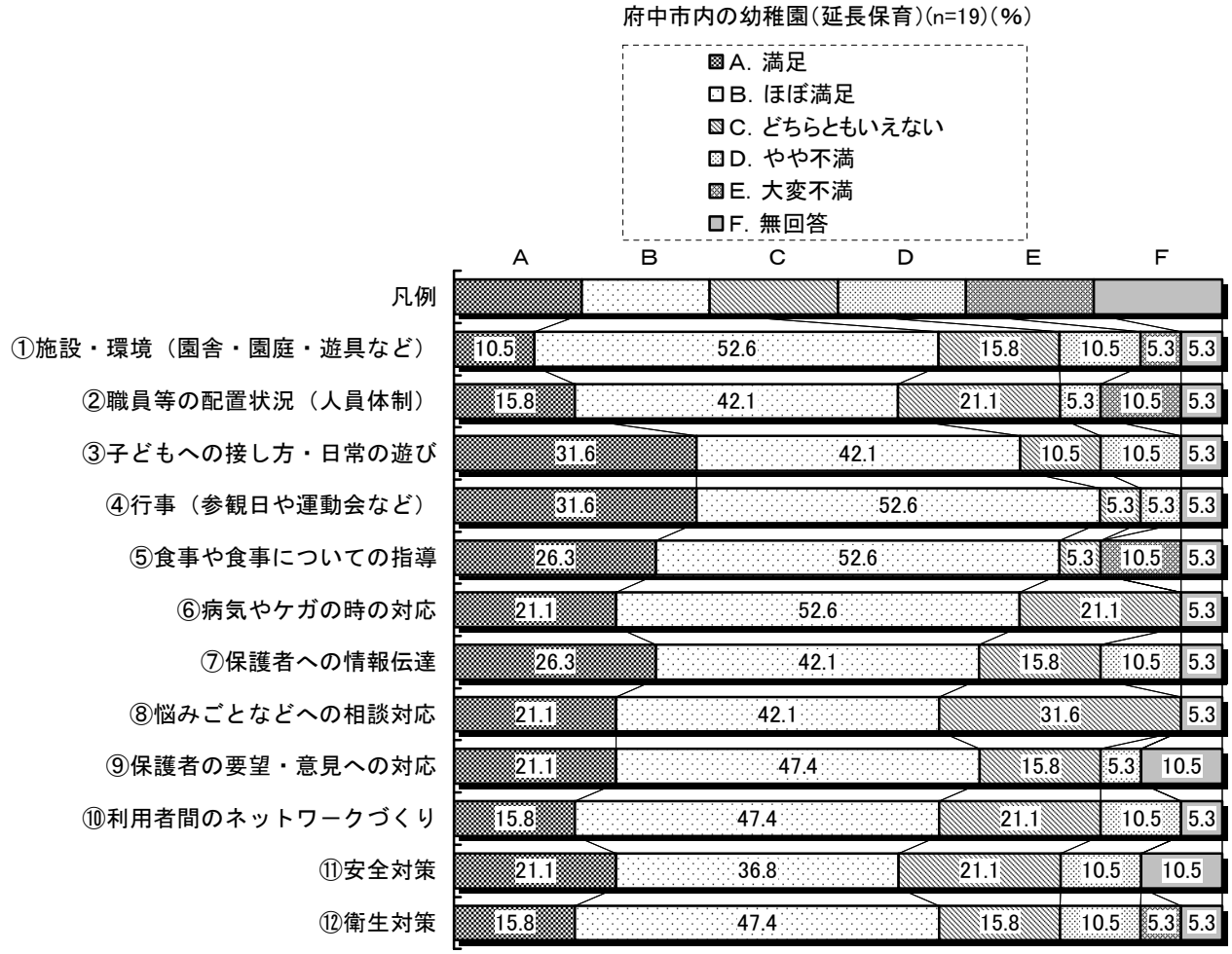
私立児童施設



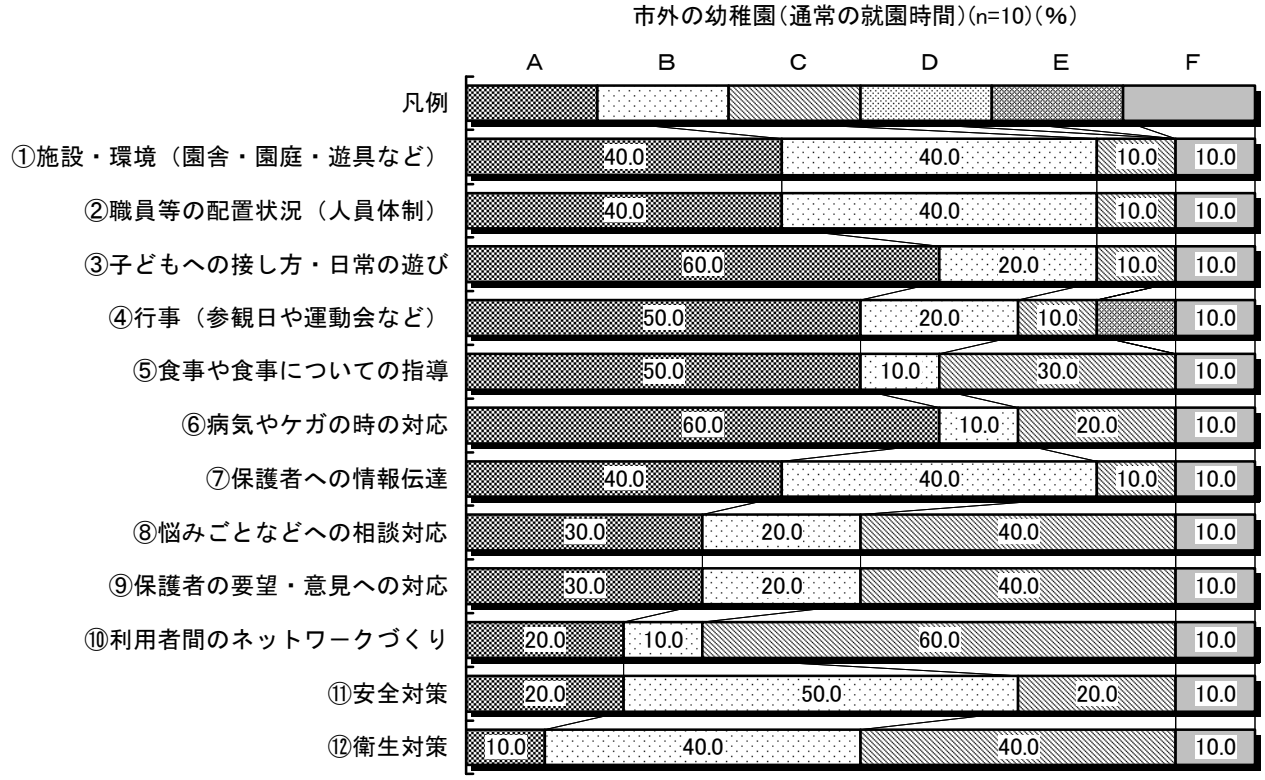
府中市内の幼稚園（通常の就園時間）



府中市内の幼稚園（延長保育）



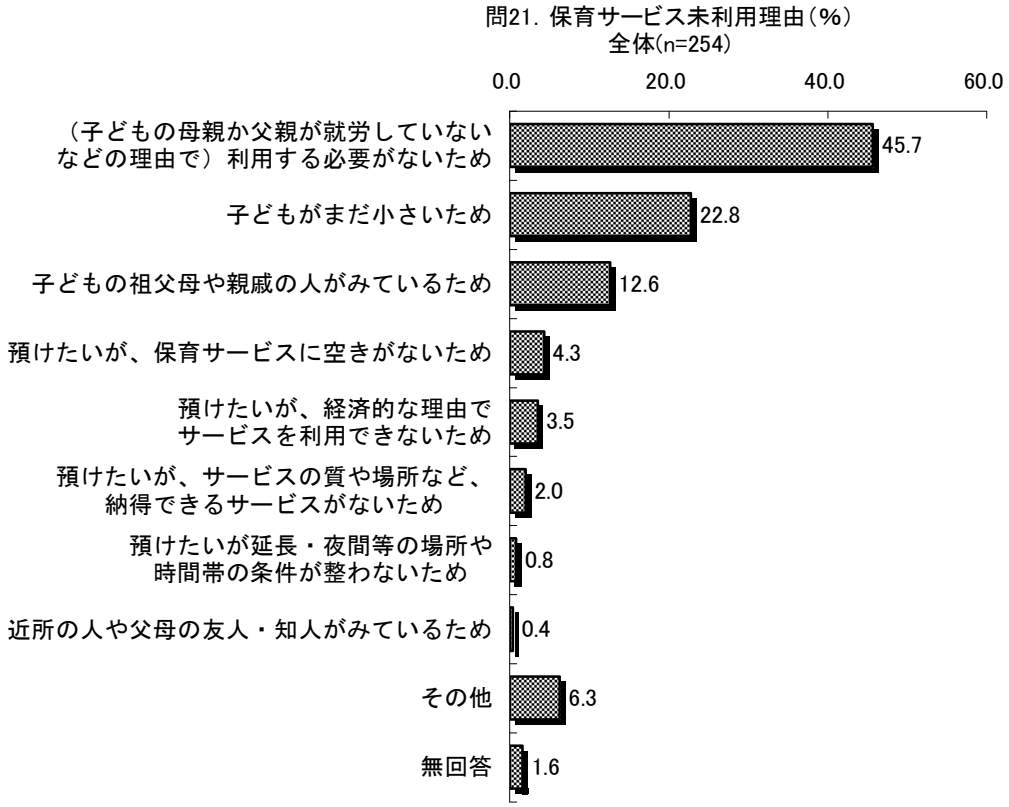
市外の幼稚園（通常の就園時間）



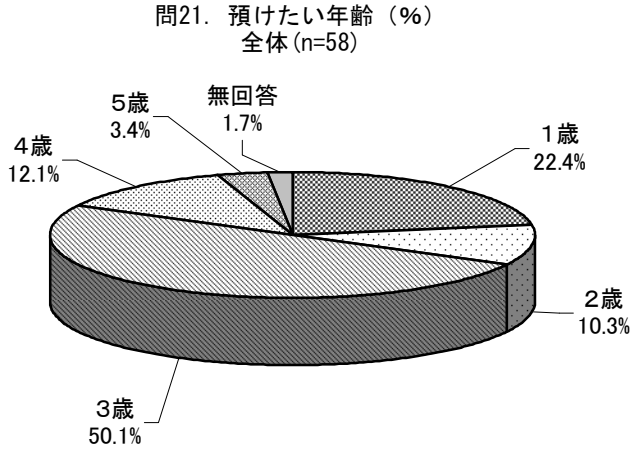
６．保育サービス未利用理由

問 21（問 15 で２と回答された方に）保育サービスを利用していない「最も大きな理由」を１つお答えください。（○印１つ）

◇保育サービス未利用者におけるその理由については、「（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がないため」が 45.7%と最も多く、主な理由となっている。次いで「子どもがまだ小さいため」（22.8%）が続くが、この他の理由をあげる割合はそれぞれ少ない。



◇また、「子どもがまだ小さいため」への回答者における、今後預けたい年齢については、「３歳」が半数（50.1%）を占めている。



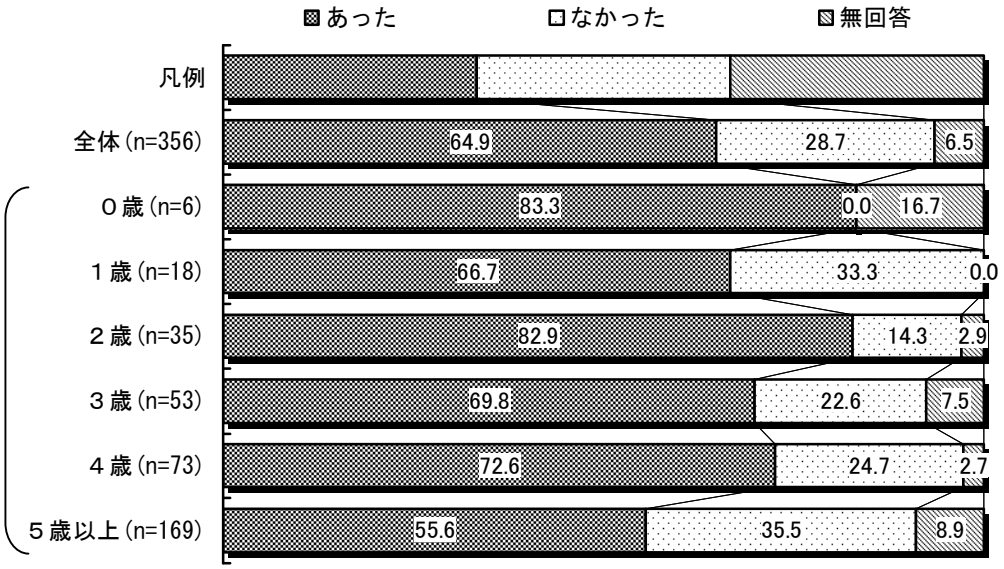
【4】病児・病後児保育について

1．病気やケガの状況

問 18（問 15 で１と回答された方に）この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。（○印１つ）

◇病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことの有無については、「あった」が 64.9%、「なかった」が 28.7%の内訳となっている。子どもの年齢が低いほど「あった」への回答が相対的に多くみられる。

問18. 病気やケガの状況（%）



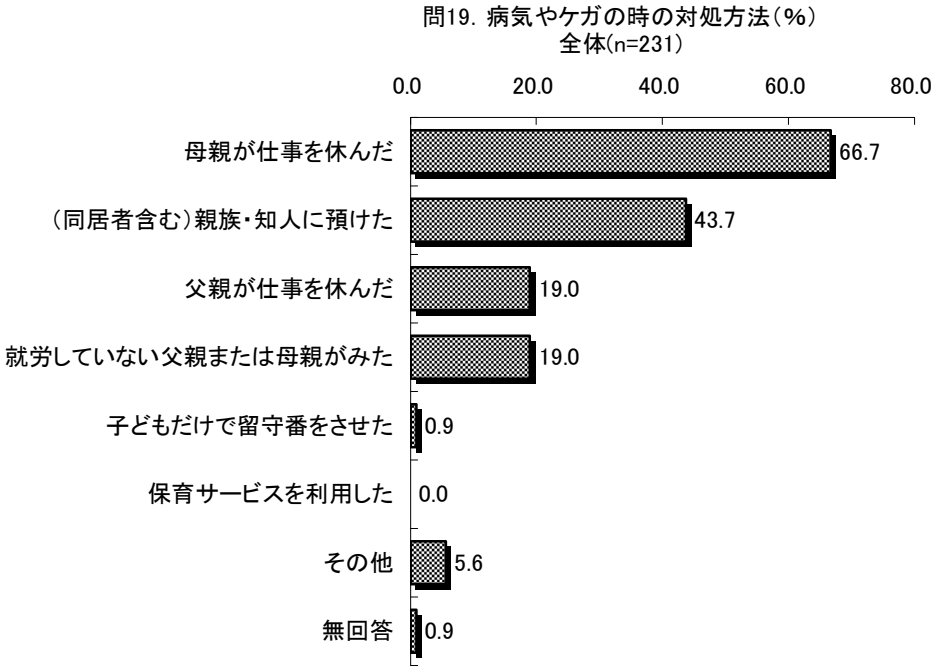
（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

２．病気やケガの時の対処状況

問 19（問 18 で１と回答された方に）その時の①対処方法と②日数、③保育サービスを利用したいと思った日数についてお答えください。

（１）対処状況

◇病気やケガの時の対処状況については、「母親が仕事を休んだ」が６割以上（66.7%）と主流となっており、以下「(同居者含む）親族・知人に預けた」（43.7%)、「父親が仕事を休んだ」「就労していない父親または母親がみた」（各 19.0%）の順となっている。



（２）対処方法別日数

◇対処方法別日数については、最も多かった「母親が仕事を休んだ」場合、最大で 10 日/年で、平均は３日/年である。

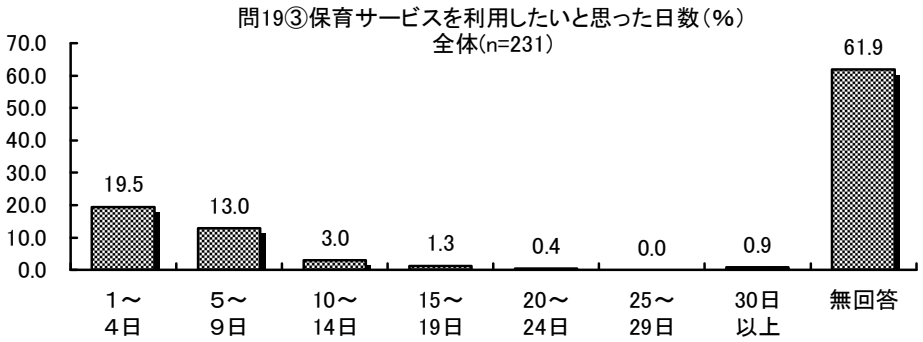
問19. 対処方法別日数（日/年）

	②その時の日数		
	最小	最大	平均
父親が仕事を休んだ(n=44)	1	10	3
母親が仕事を休んだ(n=154)	1	20	5
(同居者含む)親族・知人に預けた(n=101)	1	70	6
就労していない父親または母親がみた(n=44)	1	30	7
保育サービスを利用した(n=0)	–	–	–
子どもだけで留守番をさせた(n=2)	2	2	2
その他(n=13)	1	14	5

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

（３）保育サービスを利用したいと思った日数

◇保育サービスを利用したいと思った日数については、「1～4 日」が 19.5%、「5～9 日」が 13.0%みられるが、それ以上の日数についてはそれぞれ少ない。（この場合の「無回答」には、設問内容からみて「預ける必要がなかった」という意見が多数含まれていると推察される。）

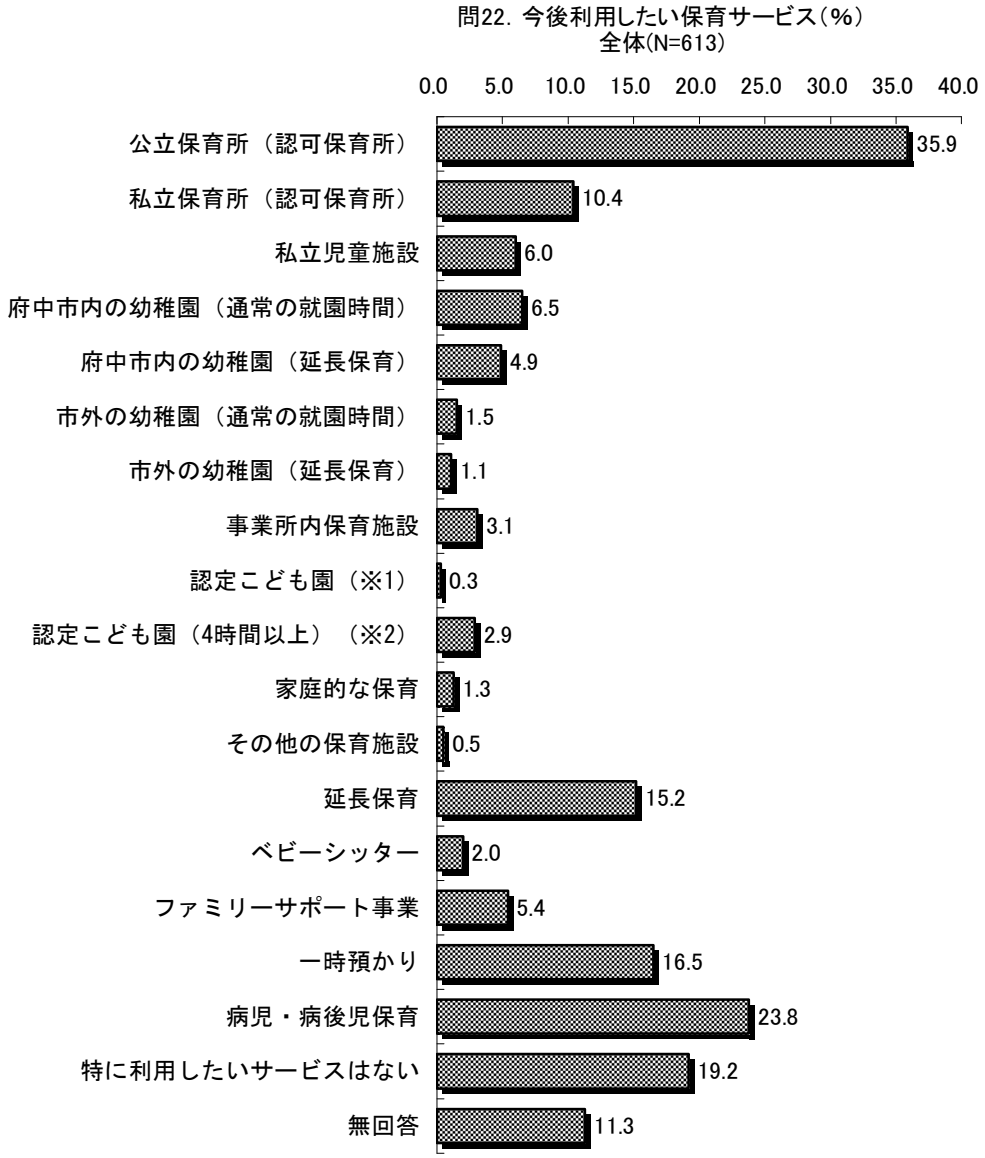


【5】保育サービス利用希望について

1．今後利用したい保育サービス

問 22．①あて名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したいと思う保育サービスはどれですか。１～18 の番号に○印をして下さい。

◇今後利用したい保育サービスについては、「特に利用したいサービスはない」がおよそ２割程度であることから、「無回答」を除き７割程度の保護者に何らかのサービスへの希望があるとみられる。利用したいサービスは「公立保育所（認可保育所）」が 35.9%と最も多く、次いで「病児・病後児保育」（23.8%）、「一時預かり」（16.5%）、「延長保育」（15.2%）、「私立保育所（認可保育所）」（10.4%）などの順となっている。



（※1）４時間程度の利用
（※2）４時間を超える利用（図表では便宜的に「４時間以上」と表記しています）
上記（※1）～（※2）については、本報告書において以下同様の表記とします。

◇今後利用したい保育サービスについては、子どもの年齢が低いほど「公立保育所（認可保育所）」「私立保育所（認可保育所）」への希望が多く、年齢が上がるほど「特に利用したいサービスはない」が多く見られる傾向にある。また、「0 歳」において「私立児童施設」「延長保育」や「ファミリーサポート事業」などへの希望が、他の年齢に比べ多くみられる。

◇さらに家族類型別では、「タイプB：フルタイム共働き」で「病児・病後児保育」、「タイプD：専業主婦（夫）」で「公立保育所（認可保育所）」等への希望がそれぞれ多くみられる。

問22. 今後利用したい保育サービス

	公立保育所（認可保育所）	私立保育所（認可保育所）	私立児童施設	府中市内の幼稚園（通常の就園時間）	府中市内の幼稚園（延長保育）	市外の幼稚園（通常の就園時間）	市外の幼稚園（延長保育）	事業所内保育施設	認定こども園
全体(N=613)	35.9	10.4	6.0	6.5	4.9	1.5	1.1	3.1	0.3
0歳(n=79)	64.6	27.8	20.3	7.6	7.6	2.5	0.0	8.9	0.0
1歳(n=89)	52.8	18.0	5.6	15.7	9.0	3.4	1.1	4.5	1.1
2歳(n=88)	44.3	15.9	9.1	11.4	5.7	2.3	1.1	2.3	1.1
3歳(n=95)	36.8	4.2	4.2	6.3	3.2	2.1	3.2	1.1	0.0
4歳(n=79)	17.7	3.8	1.3	1.3	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0
5歳以上(n=178)	17.4	2.2	1.7	1.1	2.8	0.0	1.1	1.7	0.0
タイプA：ひとり親家庭(n=33)	30.3	6.1	9.1	9.1	9.1	3.0	3.0	3.0	0.0
タイプB：フルタイム共働き(n=182)	32.4	11.0	9.9	4.4	6.6	1.6	1.1	2.2	0.0
タイプC：フルタイムとパート共働き(n=143)	28.0	7.7	3.5	3.5	2.8	2.1	0.7	1.4	0.7
タイプD：専業主婦（夫）(n=216)	45.4	12.0	4.2	9.3	4.2	0.9	1.4	4.6	0.5

	認定こども園（4時間以上）	家庭的な保育	その他の保育施設	延長保育	ベビーシッター	ファミリーサポート事業	一時預かり	病児・病後児保育	特に利用したいサービスはない
全体(N=613)	2.9	1.3	0.5	15.2	2.0	5.4	16.5	23.8	19.2
0歳(n=79)	5.1	3.8	0.0	24.1	3.8	11.4	20.3	22.8	2.5
1歳(n=89)	5.6	1.1	0.0	14.6	0.0	6.7	24.7	20.2	11.2
2歳(n=88)	5.7	1.1	1.1	9.1	3.4	6.8	25.0	22.7	4.5
3歳(n=95)	0.0	0.0	1.1	16.8	1.1	1.1	10.5	22.1	15.8
4歳(n=79)	2.5	0.0	1.3	16.5	1.3	5.1	3.8	20.3	35.4
5歳以上(n=178)	1.1	1.7	0.0	12.4	2.2	3.9	14.6	28.7	32.0
タイプA：ひとり親家庭(n=33)	9.1	3.0	0.0	21.2	3.0	3.0	12.1	30.3	18.2
タイプB：フルタイム共働き(n=182)	1.1	1.1	0.5	22.0	0.5	3.8	15.4	32.4	16.5
タイプC：フルタイムとパート共働き(n=143)	3.5	1.4	0.7	10.5	3.5	4.2	15.4	24.5	23.8
タイプD：専業主婦（夫）(n=216)	3.2	0.5	0.5	11.1	0.5	6.9	19.4	16.2	19.0

２．利用希望状況

②１週あたり何日、１日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用したいですか。枠内に具体的な数字でお答えください。

（１）利用サービス別週当たり利用希望日数

◇週当たり利用希望日数については、いずれのサービスにおいても「５日」～「６日」が中心である。

問22. 週当たり利用希望日数

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 認定こども園	10 認定こども園（4時間以上）	11 家庭的な保育	12 その他の保育施設	13 延長保育	14 ベビーシッター
基数(n=)	220	64	37	40	30	9	7	19	2	18	8	3	93	12
1日	0.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	2.2	16.7
2日	0.5	3.1	0.0	2.5	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	3.2	0.0
3日	0.5	1.6	5.4	2.5	6.7	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	8.3
4日	1.8	4.7	5.4	5.0	0.0	22.2	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
5日	35.5	42.2	24.3	35.0	36.7	22.2	14.3	26.3	50.0	55.6	25.0	0.0	33.3	25.0
6日	55.0	35.9	56.8	35.0	43.3	44.4	0.0	42.1	0.0	33.3	25.0	33.3	23.7	8.3
7日	1.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	1.1	8.3
無回答	4.5	7.8	8.1	20.0	13.3	11.1	57.1	21.1	50.0	11.1	12.5	0.0	30.1	33.3

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

（２）保育サービスの１日当たり利用希望時間

◇保育サービスの１日当たり利用時間については、「公立保育所」の場合「７時間」が最も多く、「私立保育所」では「8～10 時間」、「私立児童施設」では「9～10 時間」、「府中市内の幼稚園」では「６時間」がそれぞれ主な希望とされている。

問22. 1日当たり利用希望時間

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 認定こども園	10 認定こども園（4時間以上）	11 家庭的な保育	12 その他の保育施設	13 延長保育	14 ベビーシッター
基数	220	64	37	40	30	9	7	19	2	18	8	3	93	12
1時間	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.4	0.0
2時間	0.0	1.6	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	33.3	22.6	16.7
3時間	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	8.3
4時間	0.0	1.6	2.7	0.0	10.0	0.0	0.0	5.3	50.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
5時間	1.4	4.7	2.7	15.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	5.6	12.5	0.0	0.0	0.0
6時間	8.6	6.3	5.4	22.5	3.3	22.2	0.0	10.5	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3
7時間	22.3	6.3	8.1	15.0	0.0	33.3	14.3	5.3	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
8時間	17.3	23.4	16.2	12.5	3.3	22.2	0.0	15.8	0.0	27.8	25.0	33.3	1.1	16.7
9時間	15.0	15.6	24.3	5.0	13.3	0.0	0.0	5.3	0.0	11.1	12.5	33.3	2.2	0.0
10時間	18.2	21.9	24.3	7.5	33.3	0.0	0.0	21.1	0.0	16.7	12.5	0.0	5.4	8.3
11時間	7.7	6.3	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0
12時間以上	3.6	4.7	2.7	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	8.3
無回答	5.0	7.8	5.4	22.5	16.7	11.1	42.9	21.1	50.0	11.1	12.5	0.0	31.2	33.3

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

（３）保育サービスの希望開始時間と希望終了時間

◇保育サービスの希望開始時間と希望終了時間については、「公立保育所」「私立保育所」及び「私立児童施設」の場合、最も割合の高い時間帯でみると「８時～17 時台」、「府中市内の幼稚園」では「９時～15 時台」がそれぞれ主な希望とされている。

問22. 希望開始時間

	1 公立保育所	2 私立保育所	3 私立児童施設	4 府中市内の幼稚園	5 府中市内の幼稚園（延長保育）	6 市外の幼稚園	7 市外の幼稚園（延長保育）	8 事業所内保育施設	9 認定こども園	10 認定こども園（4時間以上）	11 家庭的な保育	12 その他の保育施設	13 延長保育	14 ベビーシッター
基数	220	64	37	40	30	9	7	19	2	18	8	3	93	12
7時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	13.6	18.8	10.8	7.5	10.0	11.1	0.0	15.8	0.0	11.1	12.5	0.0	7.5	0.0
8時台	52.7	40.6	62.2	22.5	40.0	0.0	0.0	31.6	50.0	44.4	12.5	66.7	7.5	8.3
9時台	25.0	26.6	10.8	37.5	6.7	55.6	14.3	26.3	0.0	22.2	37.5	0.0	0.0	25.0
10時台	0.9	3.1	5.4	5.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
11時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14時台	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
15時台	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.0	8.3
16時台	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	5.4	0.0
17時台	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.7	0.0
18時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
19時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
20時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21時以降	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	7.3	10.9	10.8	27.5	26.7	33.3	57.1	21.1	50.0	22.2	25.0	33.3	35.5	41.7

問22. 希望終了時間

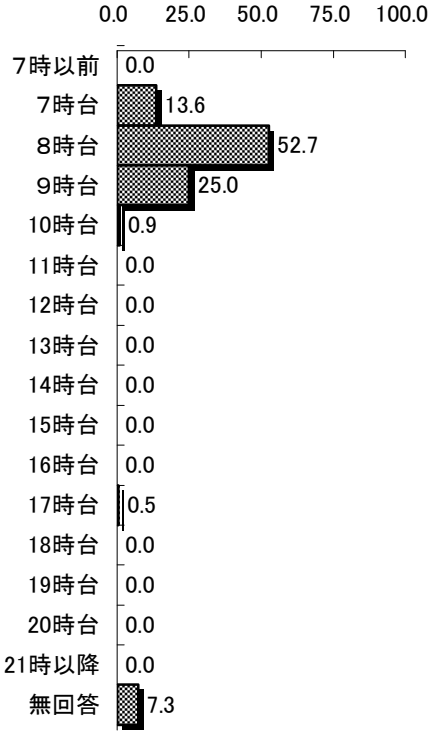
基数	220	64	37	40	30	9	7	19	2	18	8	3	93	12
7時以前	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0
9時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11時台	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12時台	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
13時台	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
14時台	0.9	1.6	5.4	15.0	0.0	11.1	0.0	5.3	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
15時台	17.7	7.8	5.4	25.0	3.3	11.1	0.0	10.5	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
16時台	18.2	14.1	10.8	10.0	3.3	33.3	14.3	10.5	0.0	16.7	0.0	33.3	3.2	8.3
17時台	25.0	32.8	32.4	17.5	20.0	11.1	28.6	21.1	0.0	33.3	25.0	33.3	10.8	16.7
18時台	20.9	21.9	27.0	5.0	33.3	0.0	0.0	21.1	0.0	11.1	37.5	0.0	21.5	8.3
19時台	8.2	7.8	8.1	0.0	6.7	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5	8.3
20時台	0.5	1.6	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0
21時以降	0.9	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	8.3
無回答	7.3	10.9	10.8	27.5	26.7	33.3	57.1	21.1	50.0	22.2	25.0	33.3	35.5	41.7

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

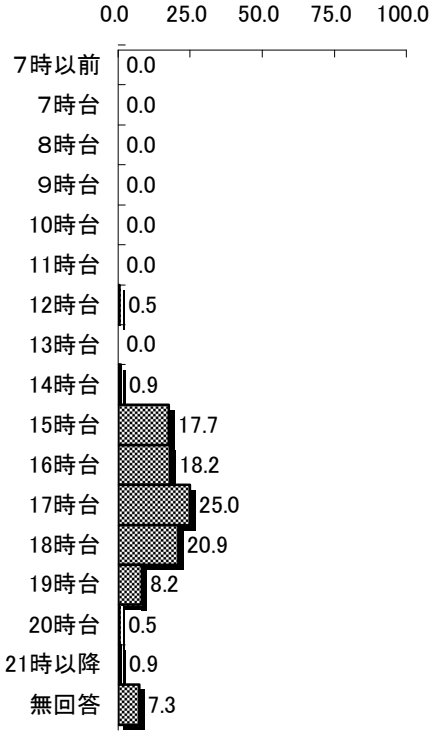
◇以下、上記数値をグラフで示した（基数(n=)が少ないサービスを除く）。

公立保育所

問22（1）公立保育所の希望開始時間（%）
全体(n=220)

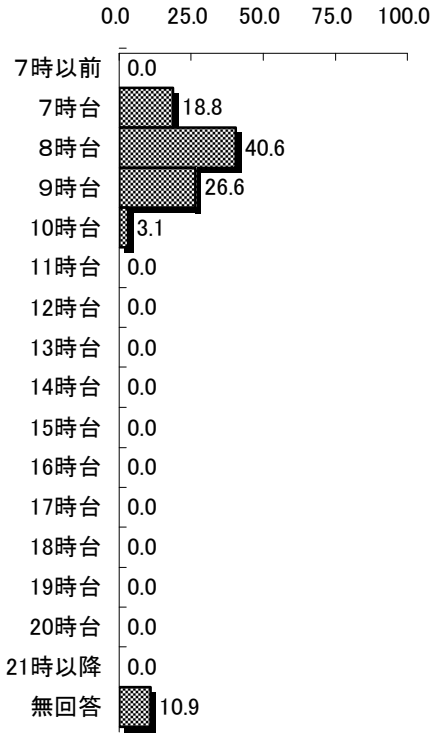


問22（1）公立保育所の希望終了時間（%）
全体(n=220)

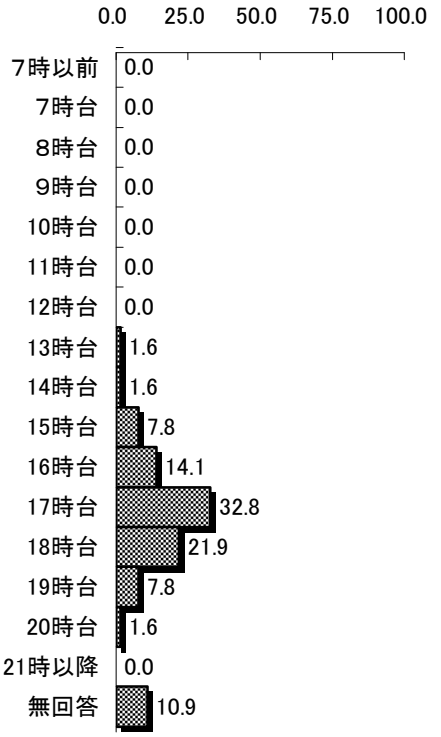


私立保育所

問22（2）私立保育所の希望開始時間（%）
全体(n=64)

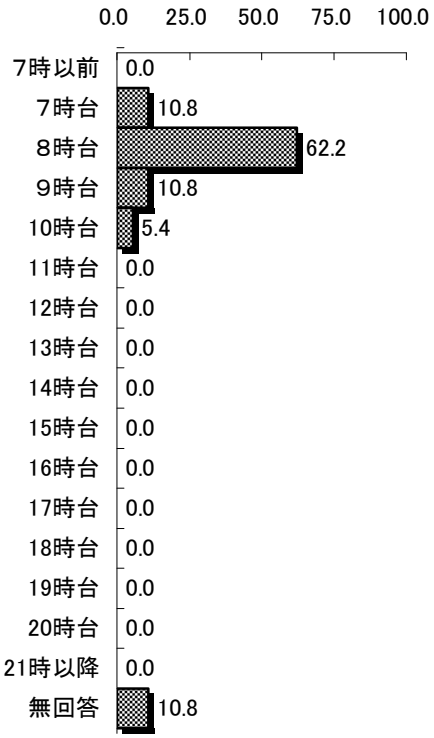


問22（2）私立保育所の希望終了時間（%）
全体(n=64)

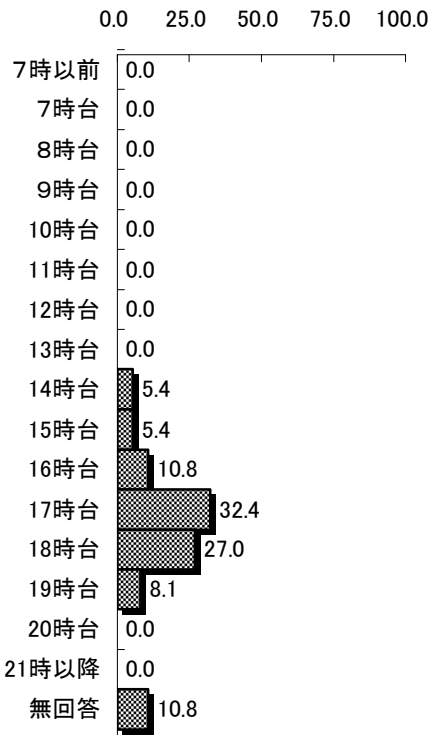


私立児童施設

問22（3）私立児童施設の希望開始時間（%）
全体(n=37)

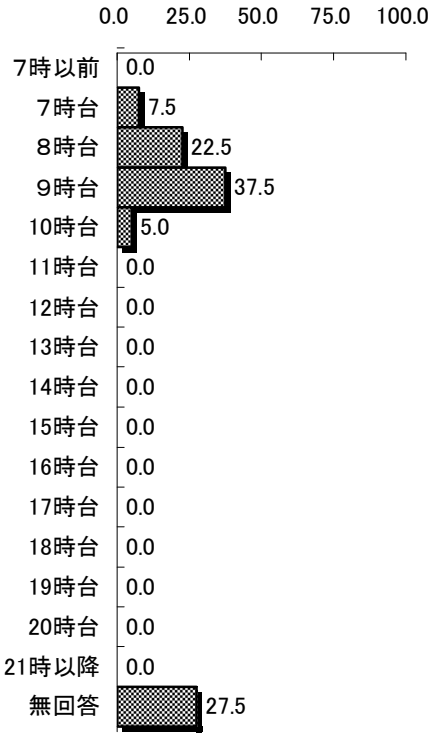


問22（3）私立児童施設の希望終了時間（%）
全体(n=37)

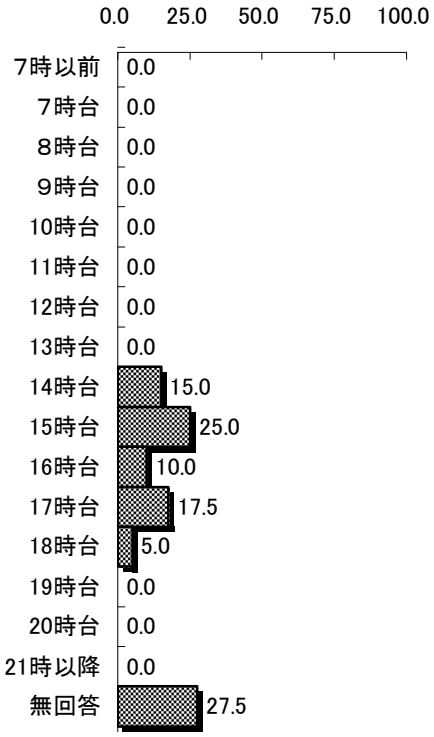


府中市内の幼稚園

問22（4）府中市内の幼稚園の希望開始時間（%）
全体(n=40)

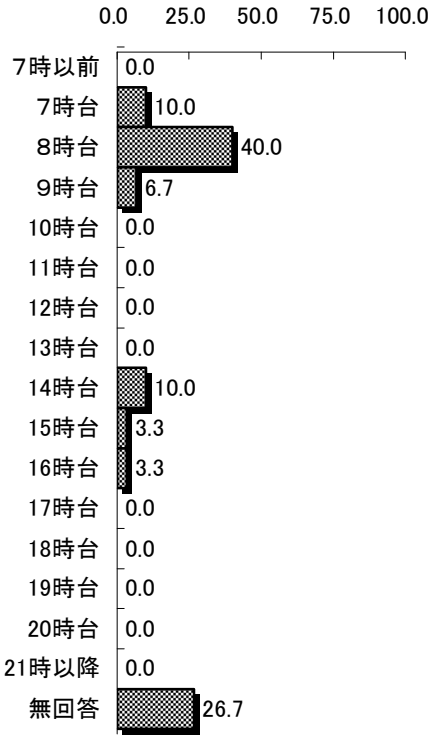


問22（4）府中市内の幼稚園の希望終了時間（%）
全体(n=40)

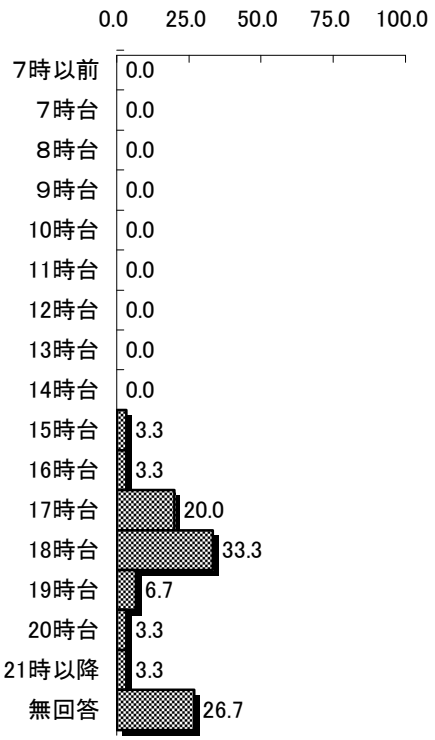


府中市内の幼稚園（延長保育）

問22（5）府中市内の幼稚園（延長保育）の希望開始時間（%）
全体(n=30)

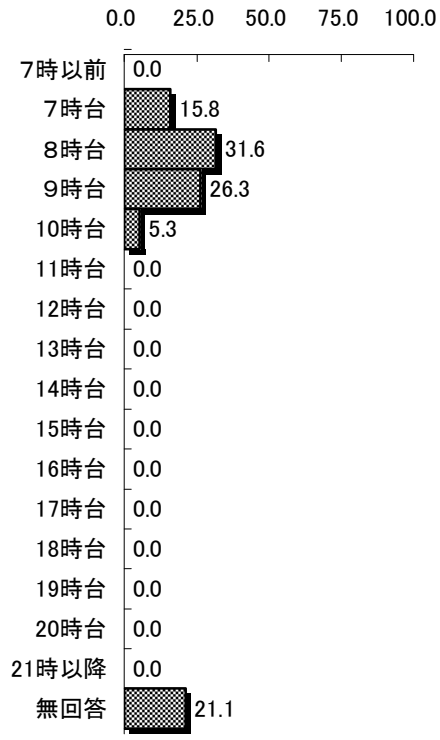


問22（5）府中市内の幼稚園（延長保育）の希望終了時間（%）
全体(n=30)

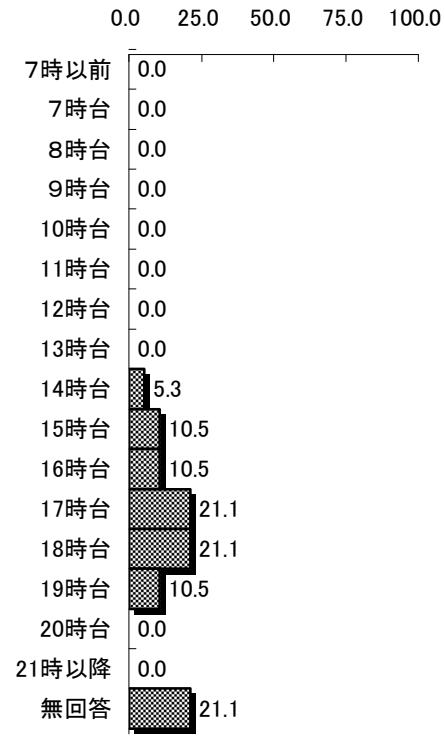


事業所内保育施設

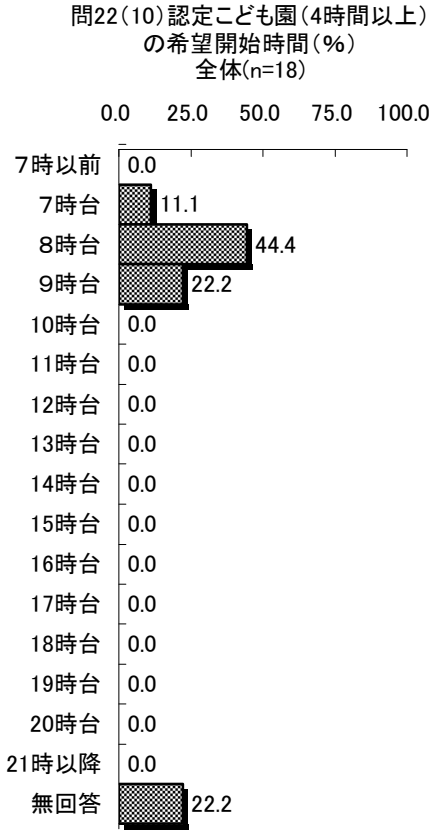
問22（8）事業所内保育施設の希望開始時間（%）
全体(n=19)

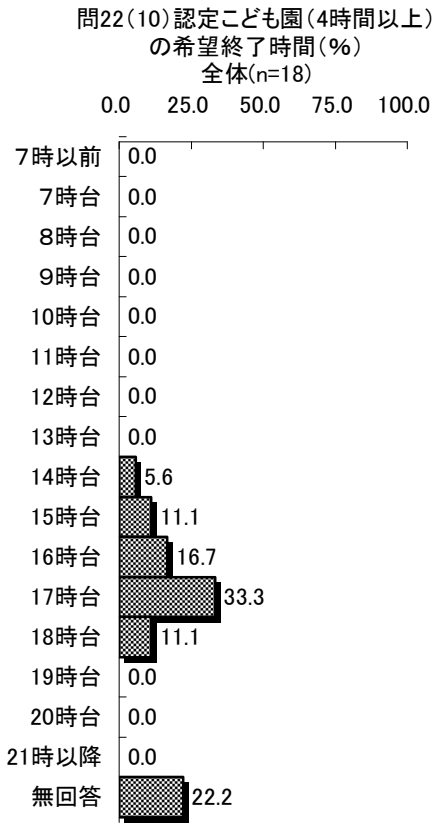


問22（8）事業所内保育施設の希望終了時間（%）
全体(n=19)

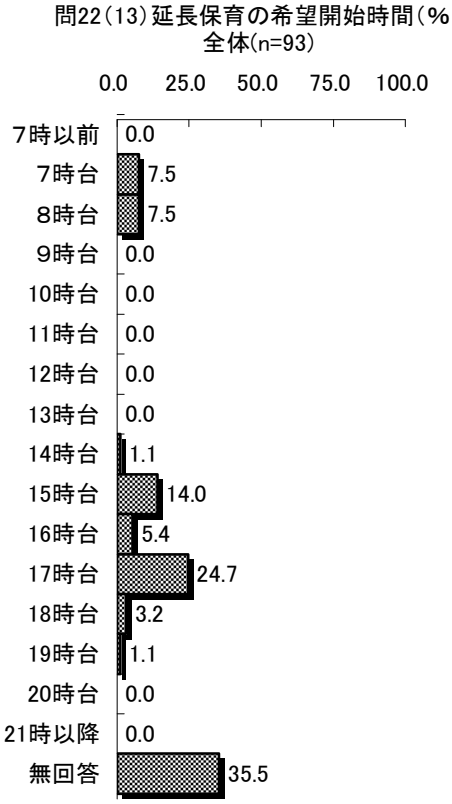


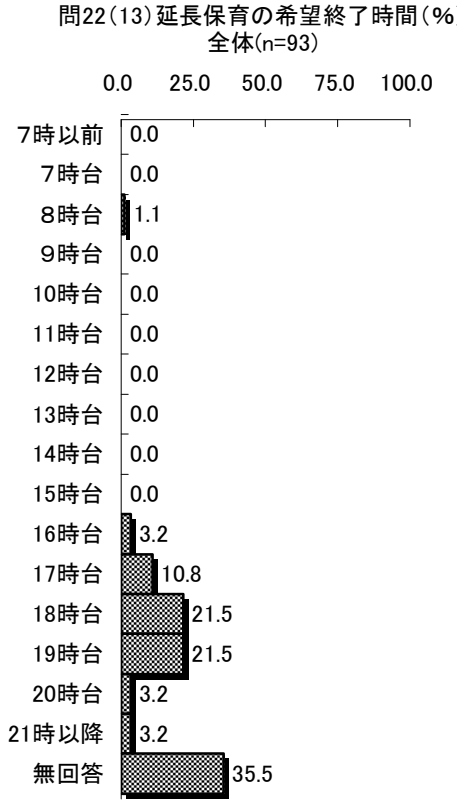
認定こども園（共通利用時間以上）





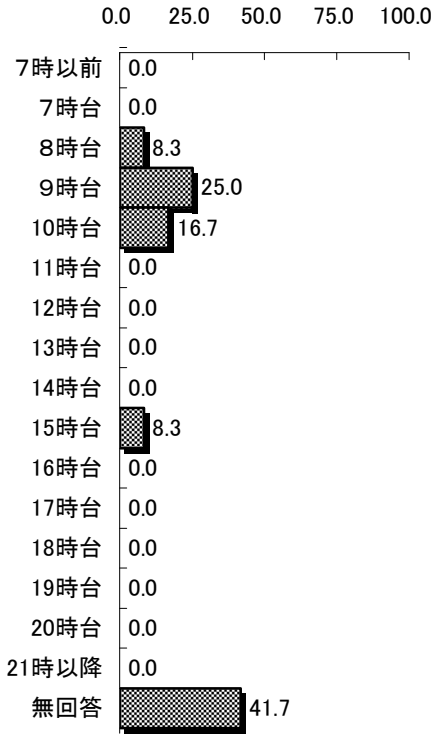
延長保育



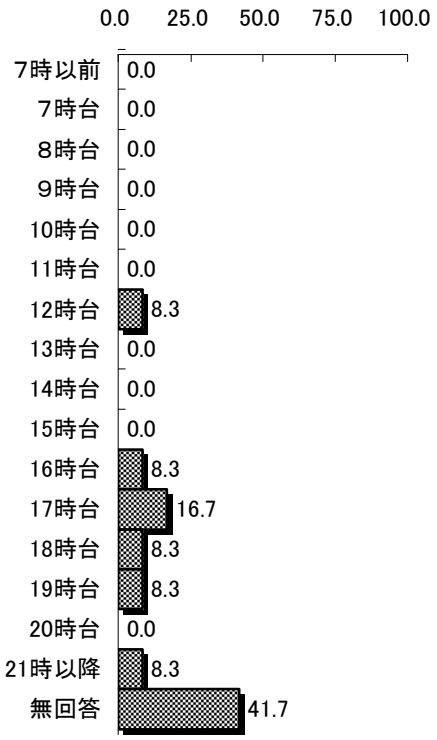


ベビーシッター

問22（14）ベビーシッターの希望開始時間（%）
全体(n=12)



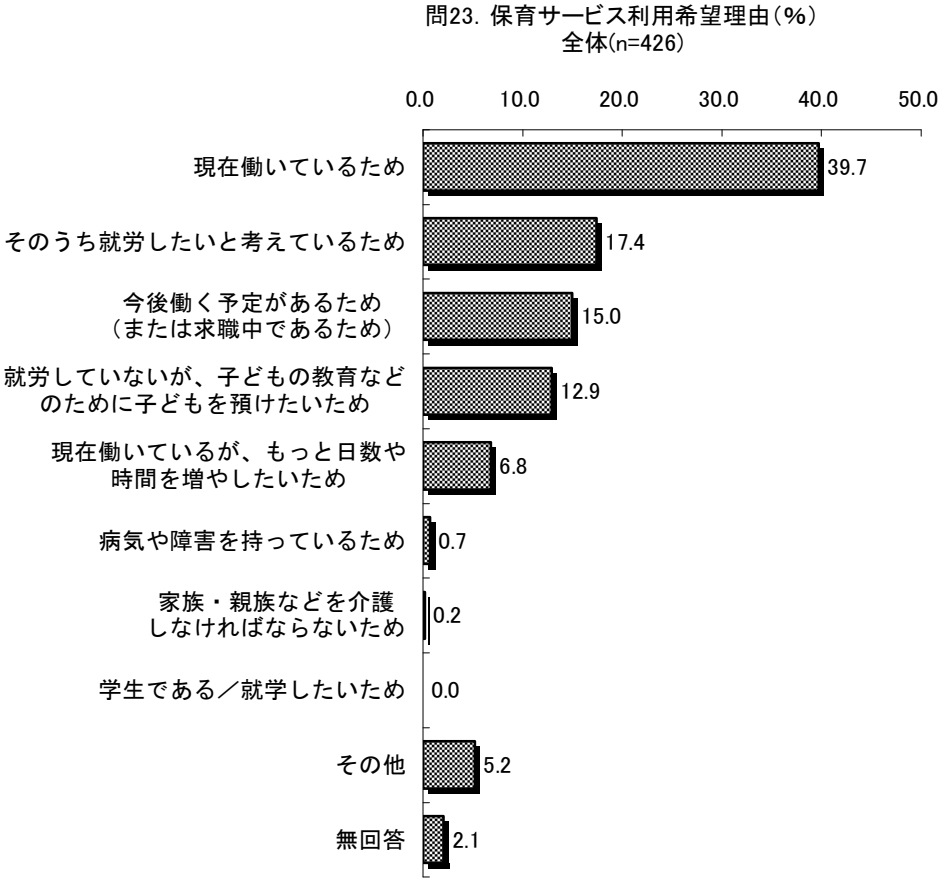
問22（14）ベビーシッターの希望終了時間（%）
全体(n=12)



３．保育サービス利用希望理由

問 23（問 22①で１～17 と回答された方に）保育サービスを利用したいと思う「最も大きな理由」をお答えください。（○印１つだけ）

◇保育サービス利用希望者におけるその理由については、「現在働いているため」が 39.7%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えているため」（17.4%）、「今後働く予定があるため（または求職中であるため）」（15.0%）などの順となっている。



◇希望する保育サービス別にみると、「公立保育所」「私立保育所」や「私立児童施設」希望者では「現在働いているため」といった就労に関する回答が多くみられ、「府中市内の幼稚園」希望者では「就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたいため」、「認定こども園（共通利用時間以上）」では「今後働く予定があるため（または求職中のため）」などが目立っている。

問23. 保育サービス利用希望理由（今後利用したい保育サービス別）

	現在働いているため	現在働いているが、もっと日数や時間を増やしたいため	今後働く予定があるため（または求職中であるため）	そのうち就労したいと考えているため	就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたいため	家族・親族などを介護しなければならないため	病気や障害を持っているため	学生である／就学したいため	その他
全体(n=426)	39.7	6.8	15.0	17.4	12.9	0.2	0.7	0.0	5.2
公立保育所（認可保育所）(n=220)	31.4	7.3	19.5	23.2	13.6	0.0	1.4	0.0	1.8
私立保育所（認可保育所）(n=64)	29.7	7.8	21.9	17.2	15.6	0.0	1.6	0.0	1.6
私立児童施設(n=37)	43.2	5.4	21.6	18.9	2.7	0.0	2.7	0.0	2.7
府中市内の幼稚園(n=40)	15.0	2.5	10.0	27.5	30.0	2.5	2.5	0.0	7.5
府中市内の幼稚園（延長保育）(n=30)	36.7	3.3	16.7	23.3	0.0	0.0	3.3	0.0	10.0
市外の幼稚園(n=9)	66.7	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1
市外の幼稚園（延長保育）(n=7)	42.9	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
事業所内保育施設(n=19)	36.8	5.3	15.8	36.8	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
認定こども園(n=2)	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
認定こども園（共通利用時間以上）(n=18)	27.8	11.1	27.8	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0
家庭的な保育(n=8)	50.0	37.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の保育施設(n=3)	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
延長保育(n=93)	39.8	11.8	20.4	20.4	3.2	0.0	1.1	0.0	2.2
ベビーシッター(n=12)	58.3	16.7	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
ファミリーサポート事業(n=33)	33.3	15.2	6.1	21.2	9.1	0.0	0.0	0.0	15.2
一時預かり(n=101)	33.7	7.9	11.9	25.7	7.9	0.0	1.0	0.0	7.9
病児・病後児保育(n=146)	53.4	7.5	20.5	13.7	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

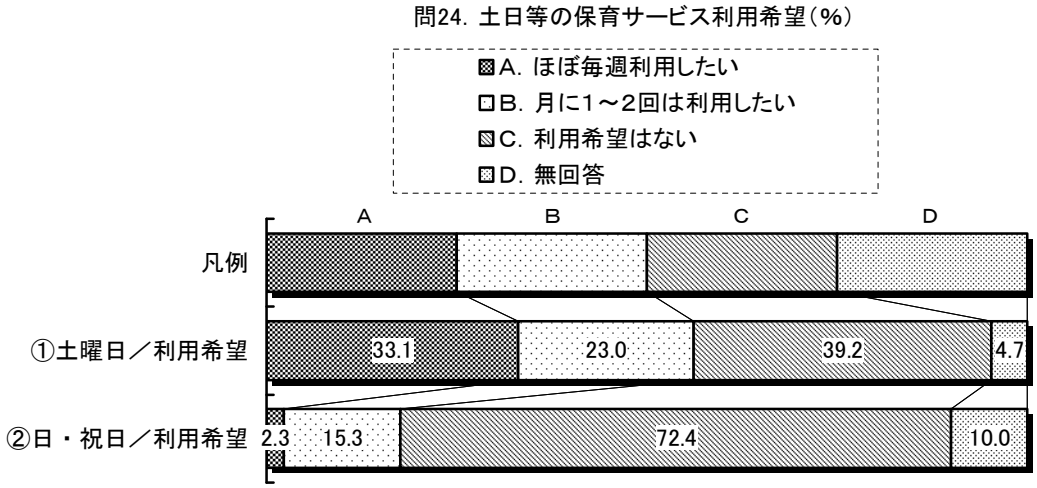
【6】土曜日・日曜日等の保育希望について

1．土日等の保育サービス利用希望

問 24．封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

（1）土日等の保育サービス利用希望

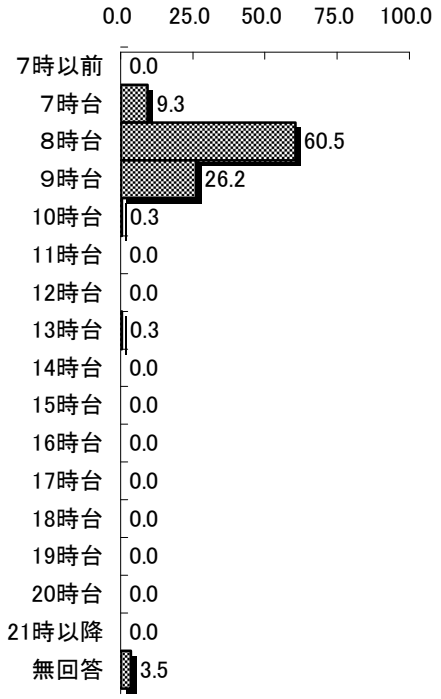
◇土日等の保育サービス利用希望について、「土曜日」は「ほぼ毎週利用したい」が 33.1%、「月に 1～2 回は利用したい」が 23.0%の内訳で、両者合計して過半数（56.1%）の意向がみられる。「日・祝日」については、同様に合計 17.6%の意向である。



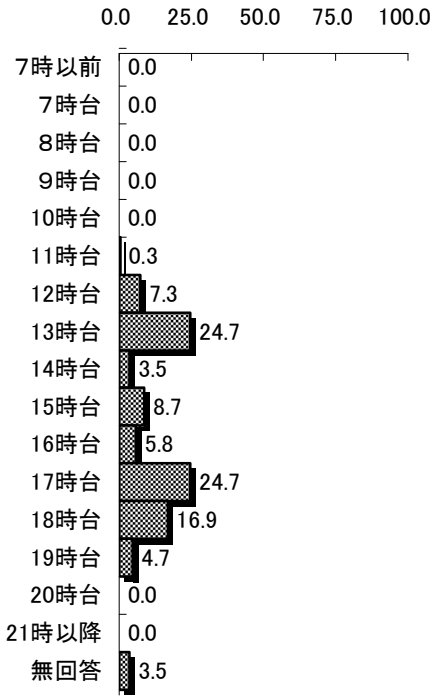
（2）利用希望開始～終了時間

◇土曜日の保育サービスの希望開始時間と希望終了時間については、最も割合の高い時間帯でみると「8 時～13 時台」及び「8 時～17 時台」、日曜日の場合は「8 時～17 時台」及び「8 時～18 時台」である。

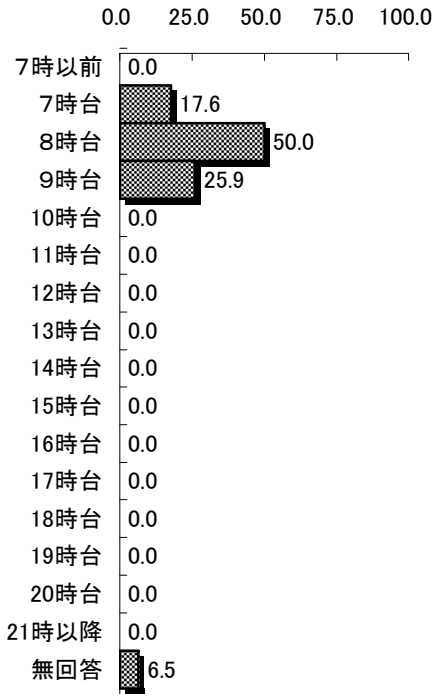
問24①土曜日の利用希望開始時間（%）
全体(n=344)



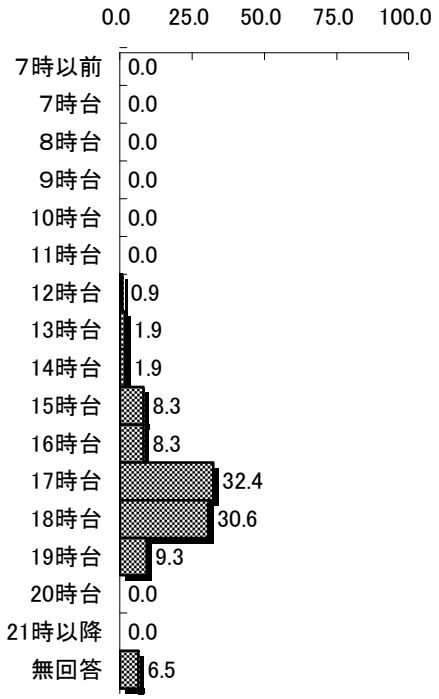
問24①土曜日の利用希望終了時間（%）
全体(n=344)



問24②日・祝日の利用希望開始時間（%）
全体(n=108)



問24②日・祝日の利用希望終了時間（%）
全体(n=108)

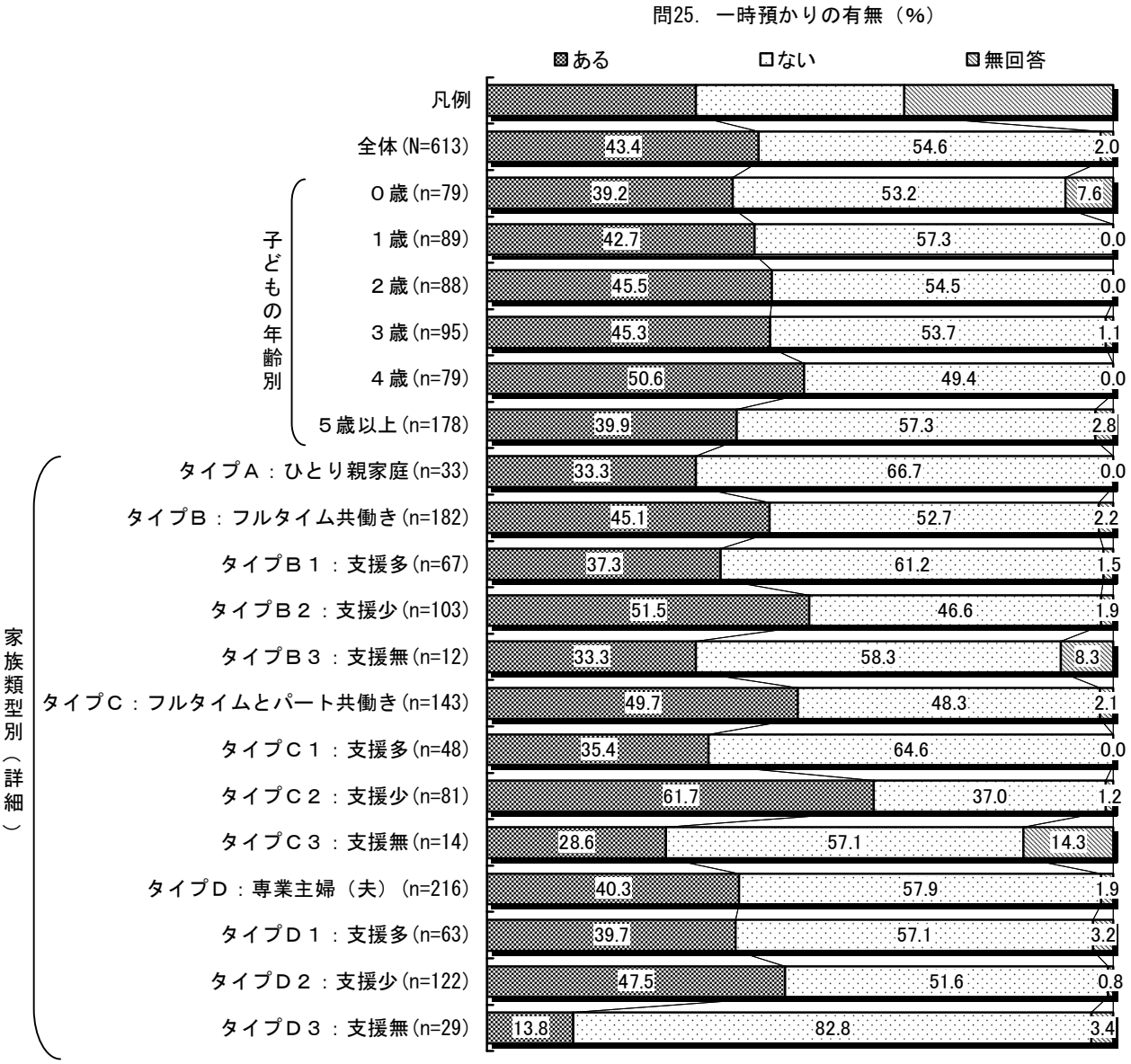


【7】一時預かりについて

1．一時預かりの有無

問 25．この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを同居のご家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

◇一時預かりについては、「ある」が 43.4%、「ない」が 54.6%の内訳となっている。
◇子どもの年齢が４歳で「ある」がやや多いが、年齢による大きな差はみられない。
◇家族類型別では、「タイプＢ：フルタイム共働き」「タイプＣ：フルタイムとパート共働き」のうち「支援少」で「ある」が多くみられる。

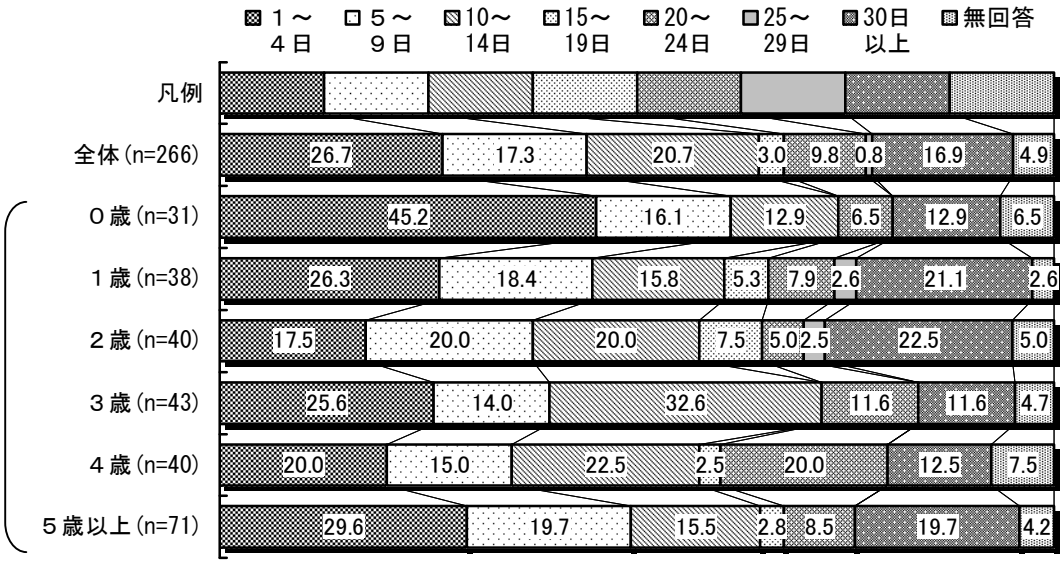


2．一時預かり（年間）日数

◇一時預かり経験者における（年間）日数については、「1～4 日」が３割近く（26.7%）と最も多く、次いで「10～14 日」（20.7%）、「5～9 日」（17.3%）の順で、平均は約 18 日であった。

◇子どもの年齢が「0 歳」において、他の年齢に比べ日数が比較的短い。

問25. 一時預かり（年間）日数（%）

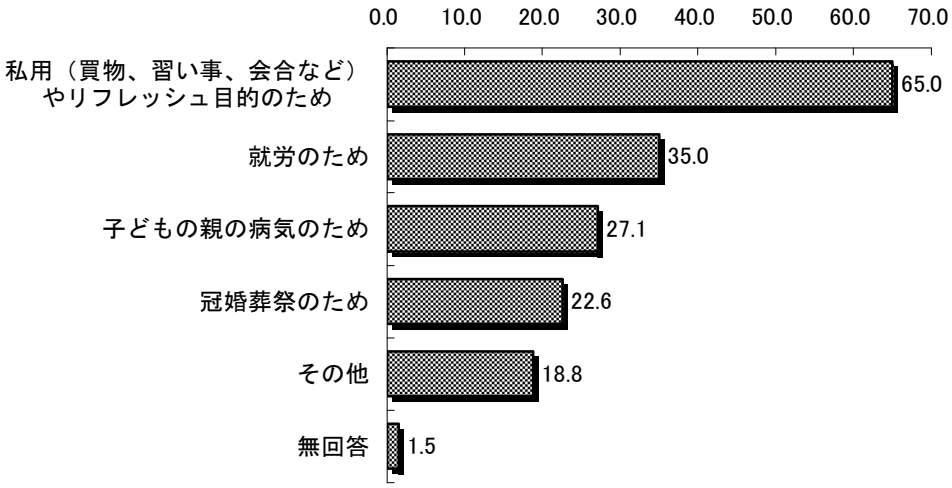


3．一時預かりの理由

問 26（問 25 で１と回答された方に）それは、どのような理由でしたか。また、その時の日数をお答え下さい。（○印いくつでも）

◇一時預かり経験者におけるその理由については、「私用（買物、習い事、会合など）やリフレッシュ目的のため」が 65.0%と突出して最も多く、以下「就労のため」（35.0%）、「子どもの親の病気のため」（27.1%）などが続く。

問26. 一時預けた理由（%）
全体(n=266)



◇理由別に日数をみると、最も回答が多かった「私用やリフレッシュ目的のため」の場合、最大で 60 日/年、平均は 8 日/年、「子どもの親の病気のため」では平均 2 日/年などとなっている。

問26. 一時預かり理由別日数（日/年）

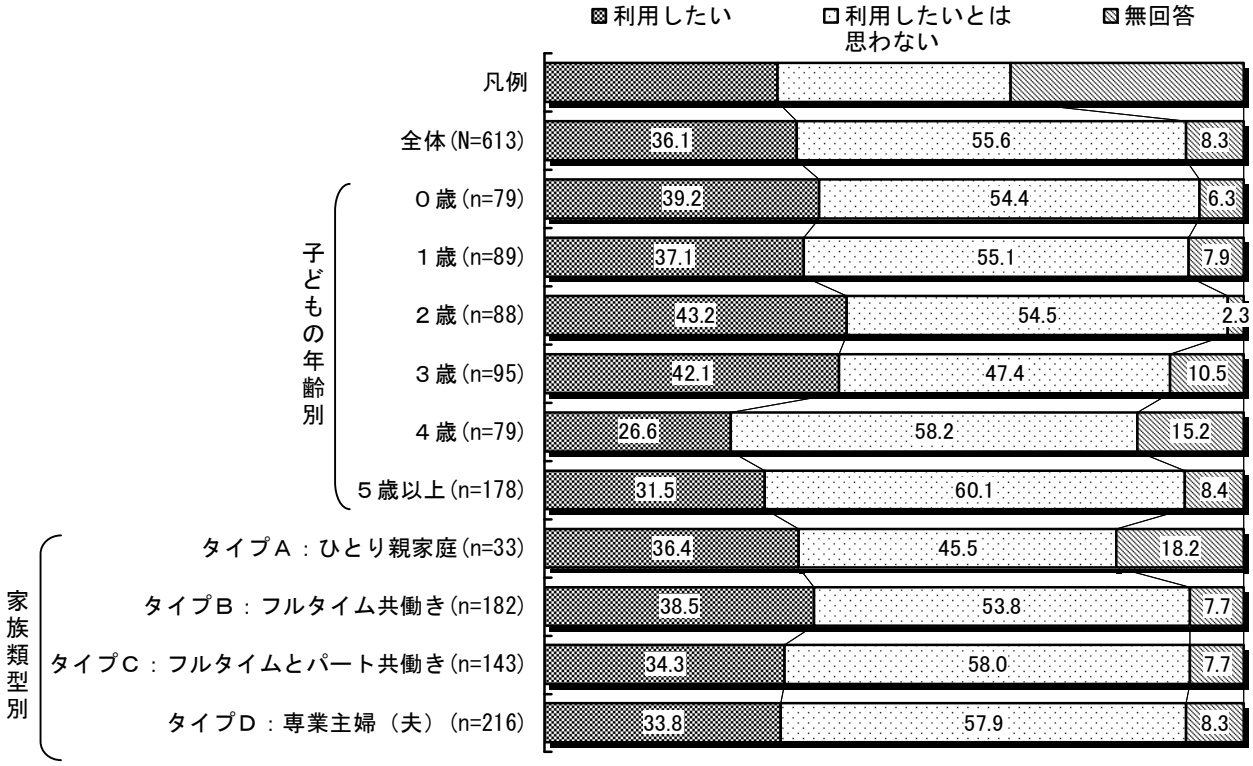
	その時の日数		
	最小	最大	平均
私用やリフレッシュ目的のため(n=173)	1	60	8
冠婚葬祭のため(n=60)	1	10	2
子どもの親の病気のため(n=72)	1	50	6
就労のため(n=93)	1	240	22
その他(n=50)	1	90	12

4．今後の一時預かり希望

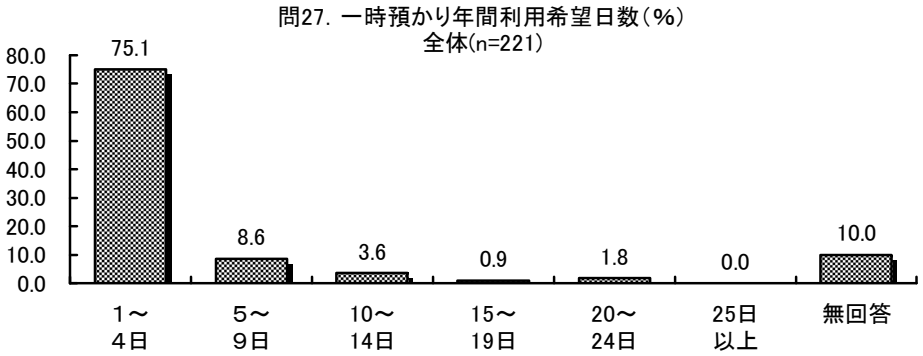
問 27.「利用日数・回数を増やしたい」または「今は利用していないが今後利用したい」と思いますか。（○印ひとつ、枠内には具体的な数字を記入）

◇今後の一時預かりの希望については、「利用したい」が 36.1%、「利用しない」が 55.6%の内訳となっている。
◇利用希望は、子どもの年齢が 3 歳以下で多い傾向がみられる。
◇家族類型別では「タイプＡ：ひとり親家庭」や「タイプＢ：フルタイム共働き」で、他の属性に比べやや多くみられるが、大きな傾向差はみられない。

問27. 今後の一時預かり希望（%）



◇今後の一時預かり希望者における年間利用希望日数については、「1～4 日」が最も多くみられる。



【8】宿泊を伴う一時預かりについて

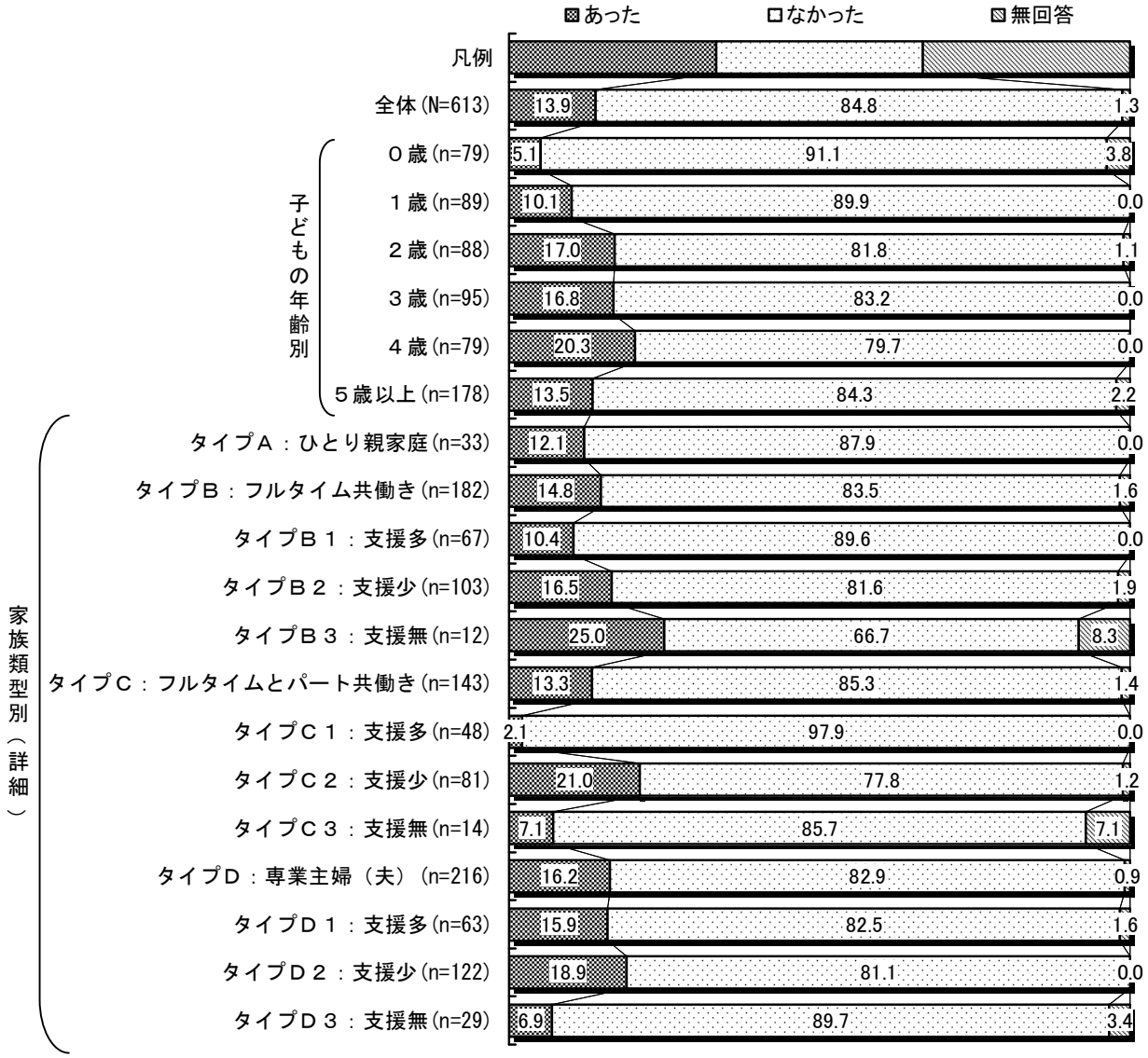
1．宿泊を伴う一時預かりの有無

問 28．この１年間に、保護者の緊急な用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで同居のご家族以外に預けなければならないことはありましたか。（○印１つ）

◇宿泊を伴う一時預かりの有無については、「ある」が 13.9%、「ない」が 84.8%の内訳である。

◇子どもの年齢が「1 歳」以上で「ある」が多くみられ、特に「4 歳」では２割を占める。また「タイプＢ：フルタイム共働き」のうち「支援無」で比較的多くみられる。

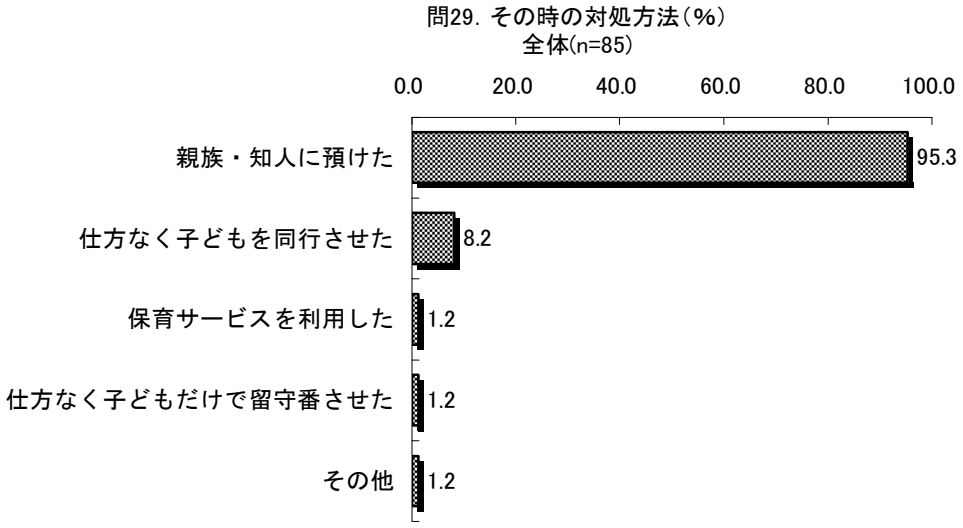
問28．宿泊を伴う一時預かりの有無（%）



2．その時の対処方法

問 29（問 28 で１と回答された方に）その時の①対処方法と②宿泊日数、③その時の困難度、についてお答えください。

◇宿泊を伴う一時預かり時の対処方法については、「親族・知人に預けた」が 95.3%と、これに特化している。



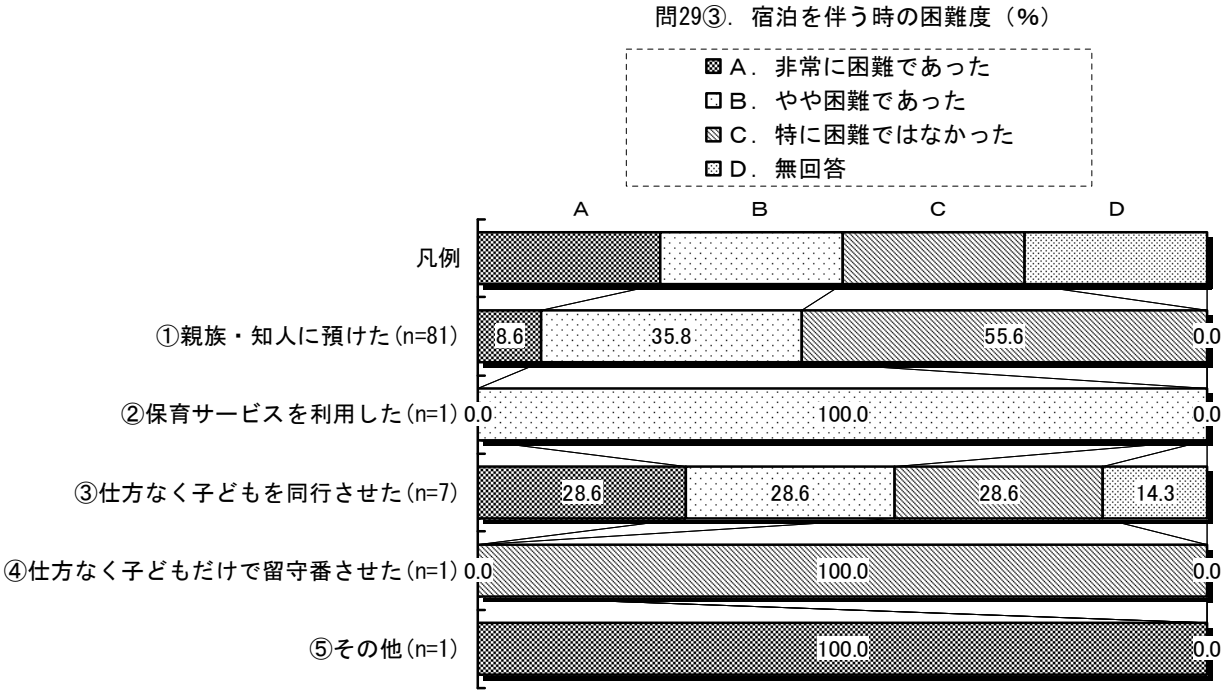
◇対処方法別の日数については、最も多かった「親族・知人に預けた」場合、「1～50 日/年」で、平均は５日/年となっている。

問29. 対処方法別日数（日/年）

	②その時の宿泊日数		
	最小	最大	平均
親族・知人に預けた(n=81)	1	50	5
保育サービスを利用した(n=1)	4	4	4
仕方なく子どもを同行させた(n=7)	1	10	3
仕方なく子どもだけで留守番させた(n=1)	1	1	1
その他(n=1)	12	12	12

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

◇宿泊の困難度については、最も多かった「親族・知人に預けた」場合、「特に困難ではなかった」が過半数（55.6%）を占めるが、「非常に困難であった」（8.6%）、「やや困難であった」（35.8%）の合計 44.4%が困難さを意識している。



【9】ベビーシッターについて

1．ベビーシッターの利用目的

問 30.（ベビーシッターを利用している方に）どのような目的でベビーシッターを利用していますか。（○印１つ）

2．ベビーシッター利用状況

問 31．どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

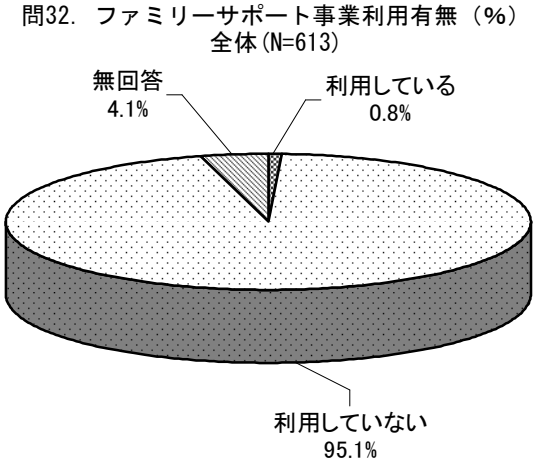
◇ベビーシッター利用者は出現しなかった。

【10】ファミリーサポート事業について

1．ファミリーサポート事業利用有無

問 32．ファミリーサポート事業を利用していますか。（○印１つ）

◇ファミリーサポート事業利用者は 0.8%（５件）みられた。



2．ファミリーサポート事業利用状況

問 33（問 32 で１の方に）どのような目的でファミリーサポート事業を利用していますか。（○印いくつでも） 問 34．どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。 問 35．利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

◇ファミリーサポート事業利用者５件における、利用目的については「主たる保育サービスとして利用している」「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している」への回答があげられた。

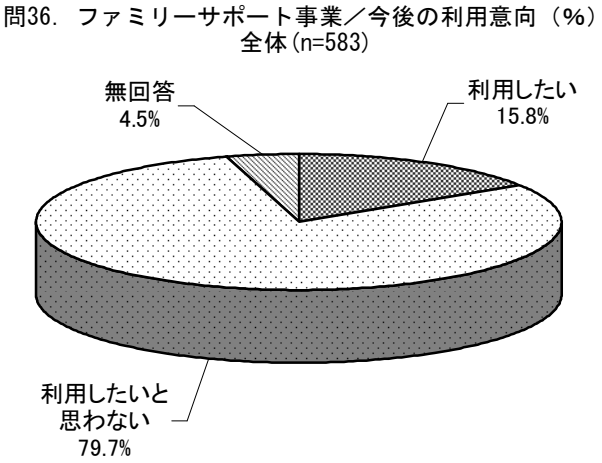
◇利用頻度は、月に 1～12 日（平均７日/月）、１回当たり 4～10 時間（平均６時間/回）であった。

◇利用日数・回数を増やしたいかどうかについては「無回答」であった。

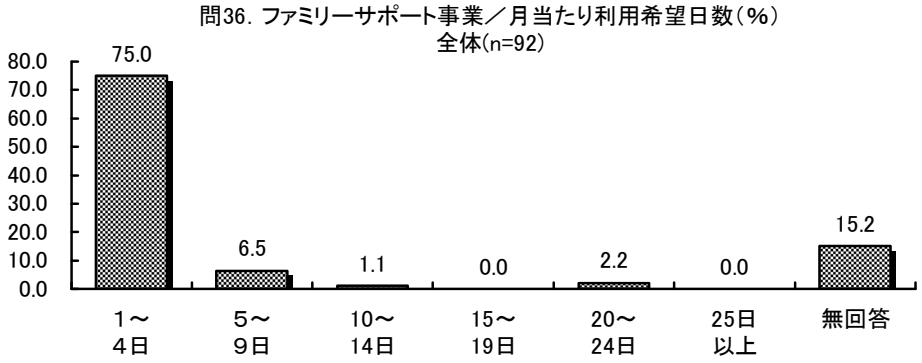
3．ファミリーサポート事業利用希望

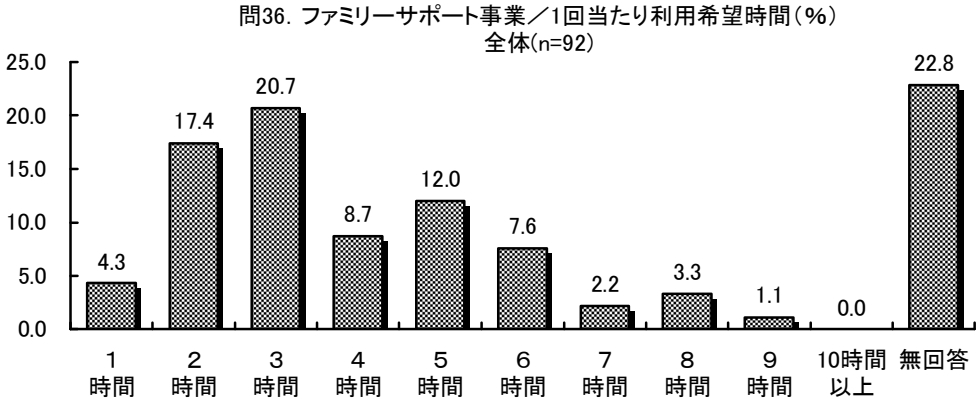
問 36（問 32 で２の方に）ファミリーサポート事業を今後、利用したいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

◇ファミリーサポート事業の利用希望については、「利用したい」が 15.8%みられた。



◇ファミリーサポート事業利用希望者における利用希望日数は、「1～4 日」に特化している。1 回当たり利用希望時間は、「2～3 時間」が多くみられる。（この場合の「無回答」は、設問内容からみて「利用希望が無い（利用に関心が低い）」と推察される。）





【11】子育て支援サービスについて

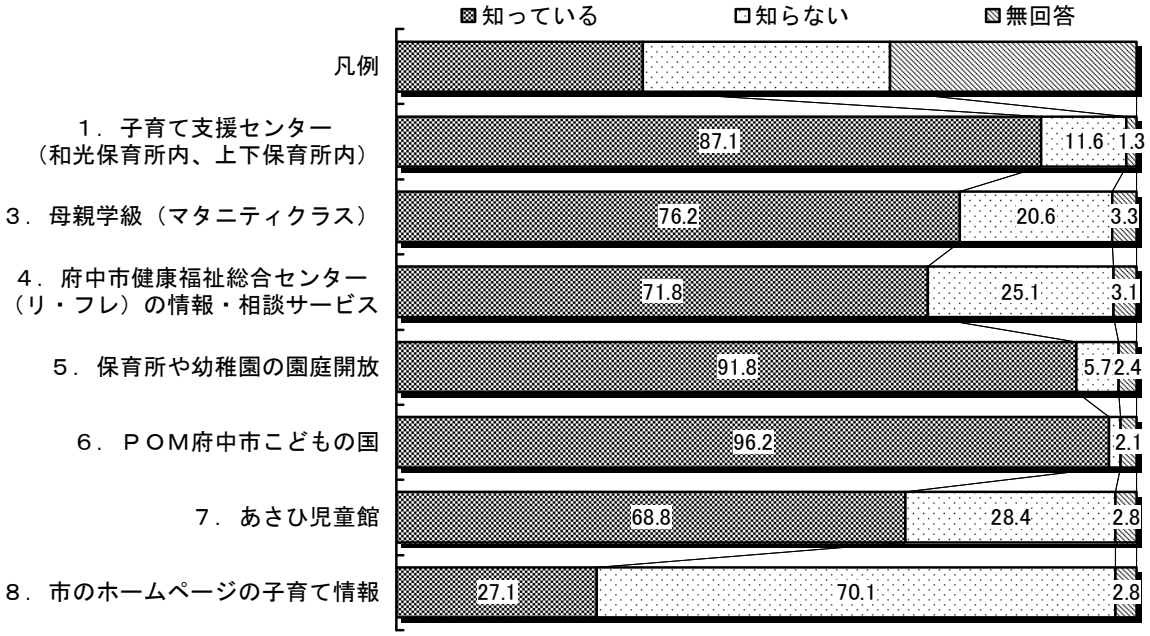
1．子育て支援サービスの認知・利用・利用意向

問 37．次にあげるサービスについて①ご存知ですか。また、②これまでに利用したことがありますか。さらに、③今後利用したいと思いますか。（○印１つずつ）

（１）子育て支援サービスの認知状況

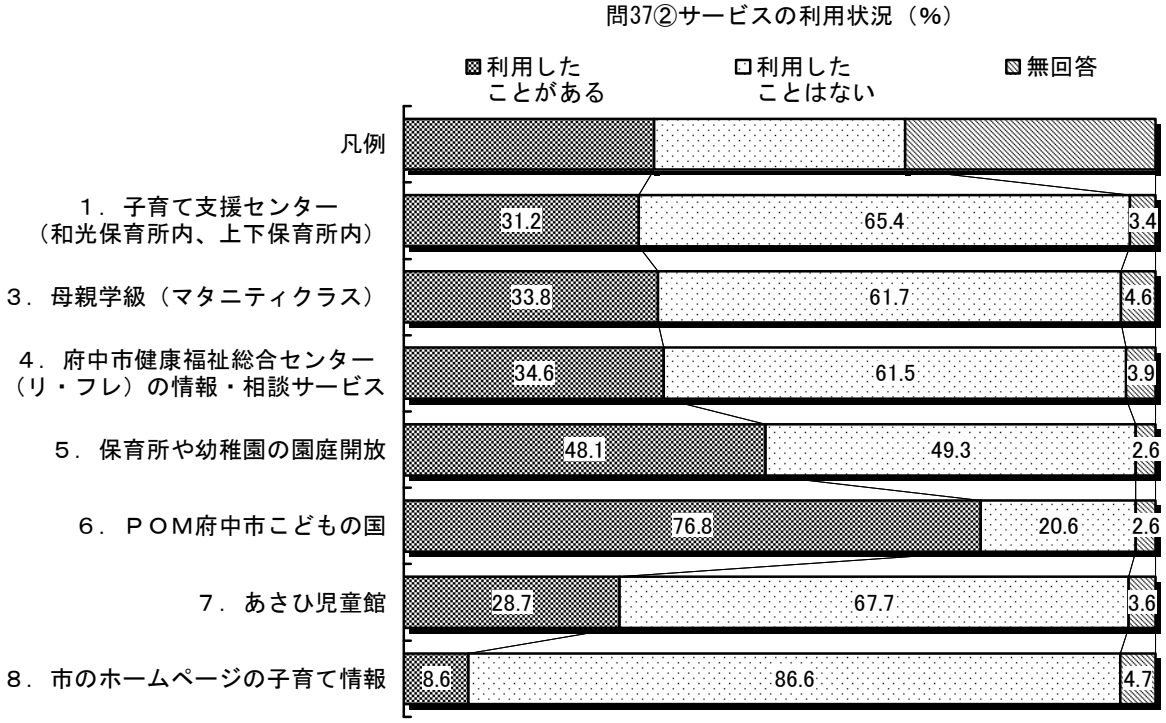
◇子育て支援サービスの認知については、「６．ＰＯＭ府中市こどもの国」（96.2%）、「５．保育所や幼稚園の園庭開放」（91.8%）をはじめ、いずれのサービスも認知率は高くみられるが、「８．市のホームページの子育て情報」については３割未満の認知となっている。

問37①サービスの認知状況（%）



（２）子育て支援サービスの利用状況

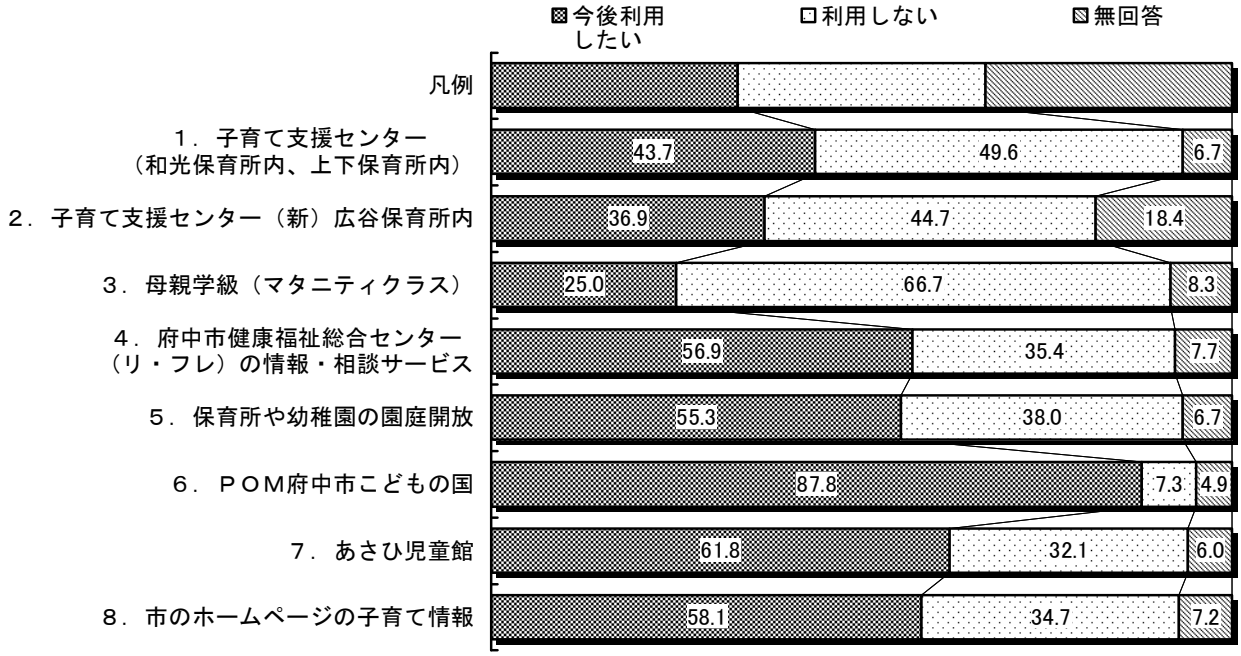
◇子育て支援サービスの利用状況については、最も認知率が高かった「６．ＰＯＭ府中市こどもの国」で 76.8%と最も多くなっている。次いで「５．保育所や幼稚園の園庭開放」（48.1%）が続き、「８．市のホームページの子育て情報」については１割以下の利用となっている。



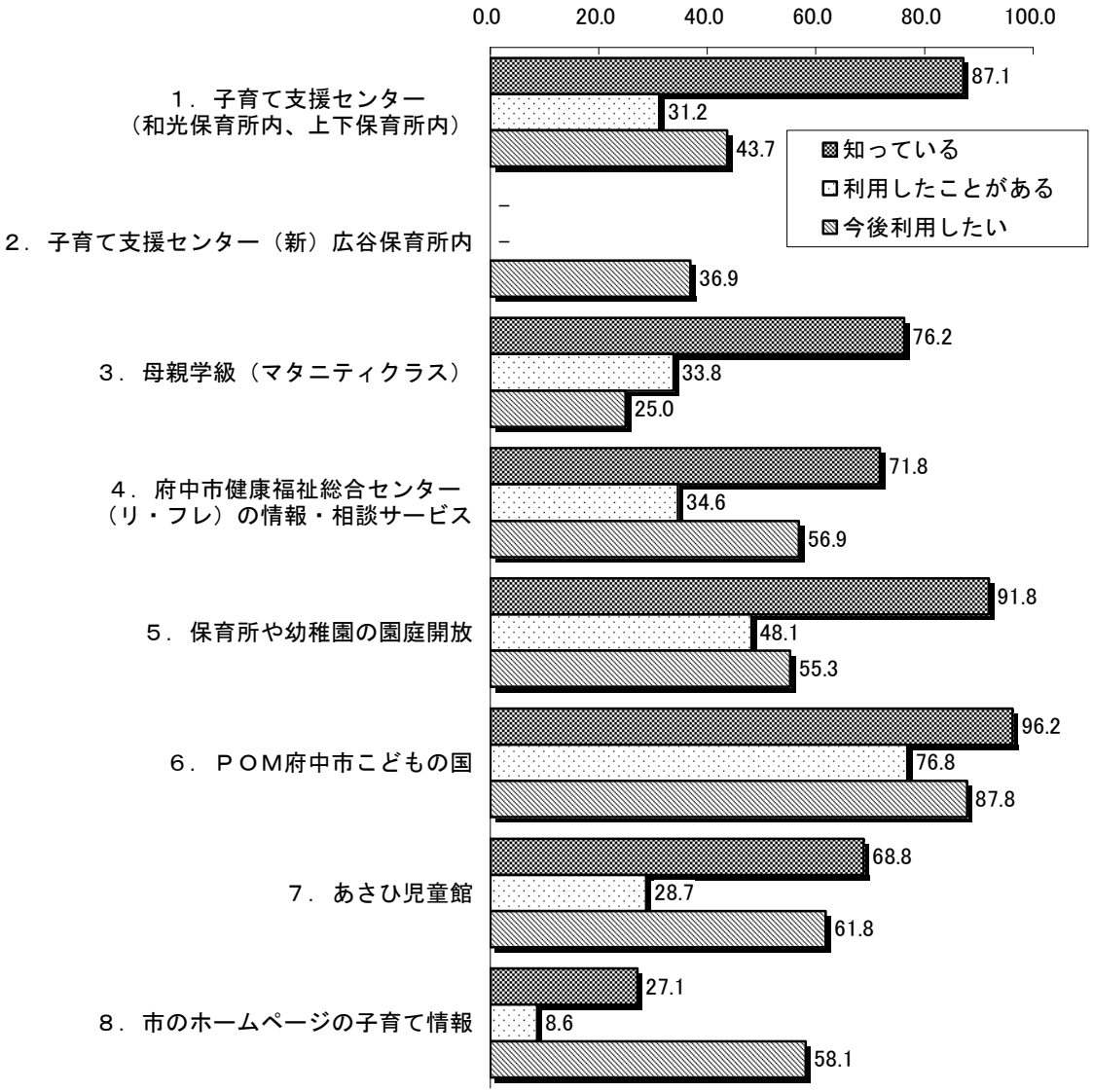
（３）子育て支援サービスの利用意向

◇子育て支援サービスの利用意向については、最も認知率が高かった「６．ＰＯＭ府中市こどもの国」で 87.8%と最も多くなっている。次いで「７．あさひ児童館」（61.8%）が続き、認知、利用ともに少なかった「８．市のホームページの子育て情報」については過半数（58.1%）の利用意向がみられた。また「２．子育て支援センター（新）広谷保育所内」は 36.9%の意向であった。

問37③サービスの利用意向（%）



再掲／問37①サービスの認知・利用・利用意向（%）

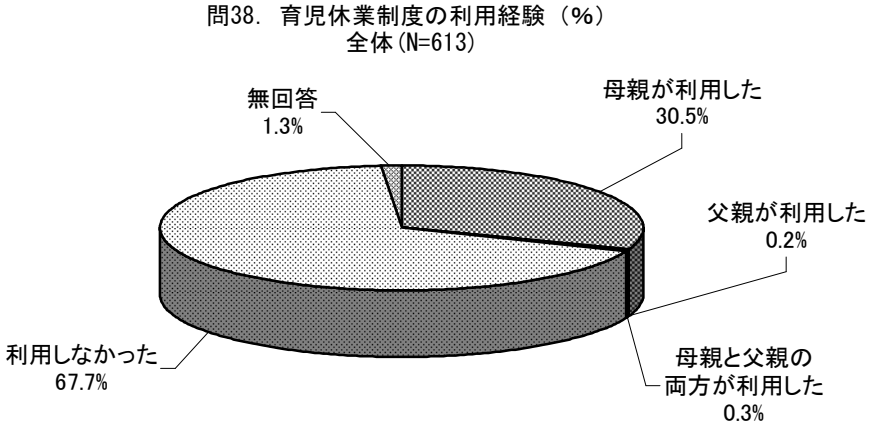


【12】育児休業制度について

1．育児休業制度の利用経験

問 38．あて名のお子さんについて、母親または父親が育児休業制度を利用しましたか。（○印１つ）

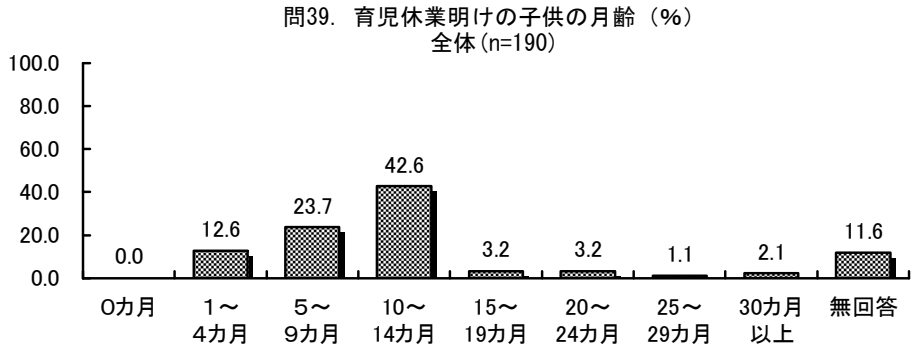
◇育児休業制度の利用経験については、「利用しなかった」が７割近く（67.7%）を占め、利用については「母親が利用した」が 30.5%、「母親と父親の両方が利用した」（0.3%）、「父親が利用した」（0.2%）の内訳となっている。



2．育児休業明けの子どもの月齢

問 39（問 38 で１～３と回答された方に）育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何か月でしたか。枠内に、具体的に数字でご記入ください。

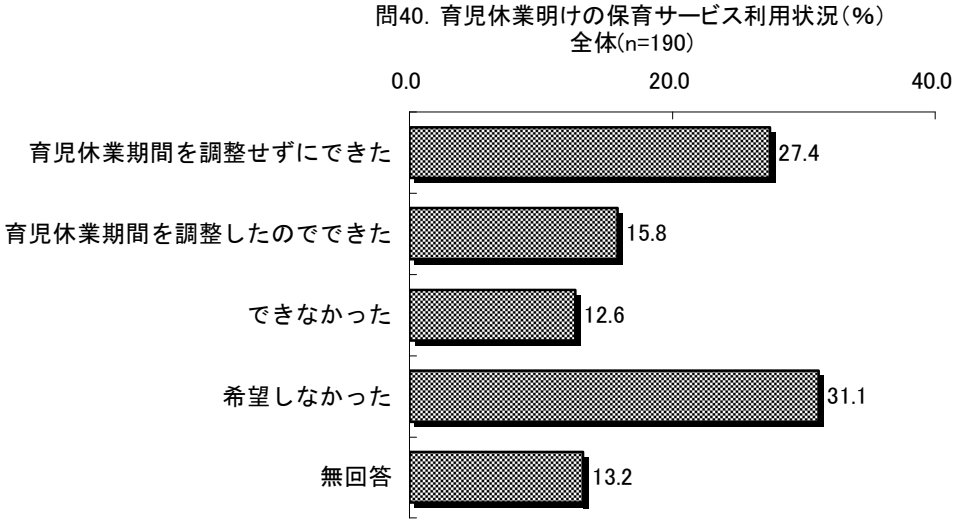
◇育児休業明けの子どもの月齢については、「10～14 カ月」が最も多くなっている。



３．育児休業明けの保育サービス利用状況

問 40（問 38 で１～３と回答された方に）育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。（○印１つ）

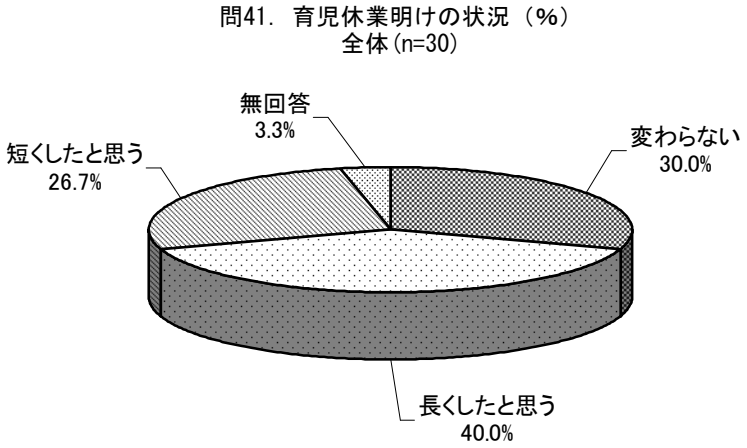
◇育児休業明けの保育サービス利用状況については、「育児休業期間を調整せずにできた」が27.4%と多くみられるが、「希望しなかった」が 31.1%で最も多くなっている。



４．育児休業明けの状況

問 41（問 40 で２と回答された方に）育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。（○印１つ、枠内には具体的な数字を記入）

◇上記設問で「育児休業期間を調整したのでできた」への回答者における育児休業明けの状況については、「長くしたと思う」が４割（40.0%）を占める。

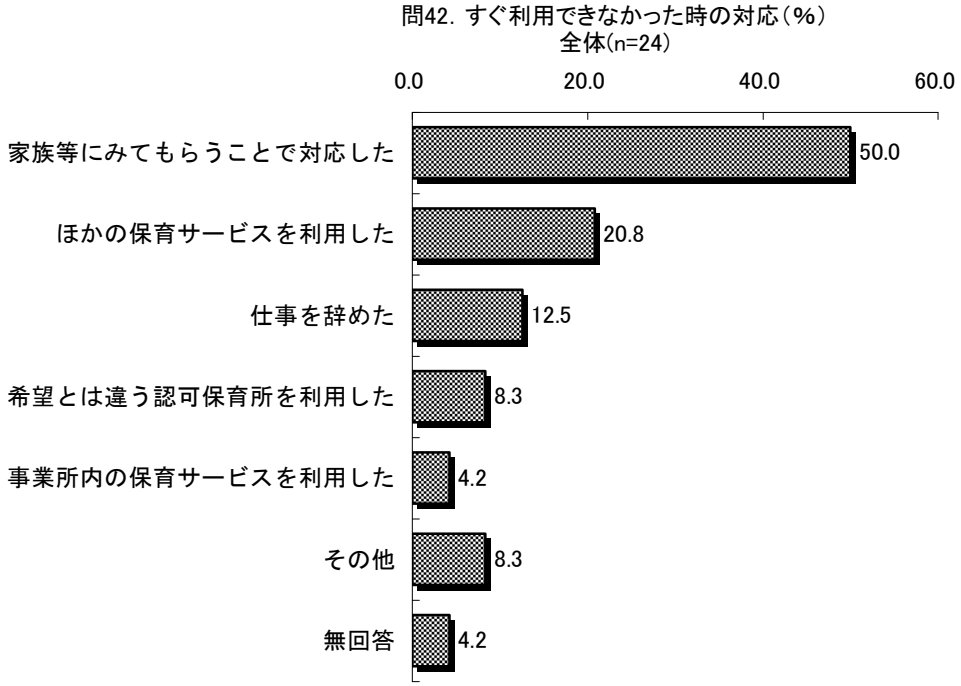


◇「長くしたと思う」への回答者における期間は、該当件数 12 件で「1～12 カ月」、平均は「6 カ月」であった。同様に「短くしたと思う」については、該当件数８件で「1～12 カ月」、平均は６カ月であった。

5．育児休業明けに保育サービスを利用できなかった時の対応

問 42（問 40 で３と回答された方に）その時、どのように対応されましたか。 （○印いくつでも）

◇育児休業明けに保育サービスを利用できなかった時の対応については、「家族等にみてもらうことで対応した」が 50.0%と主な理由となっており、「ほかの保育サービスを利用した」が 20.8%で続いている。



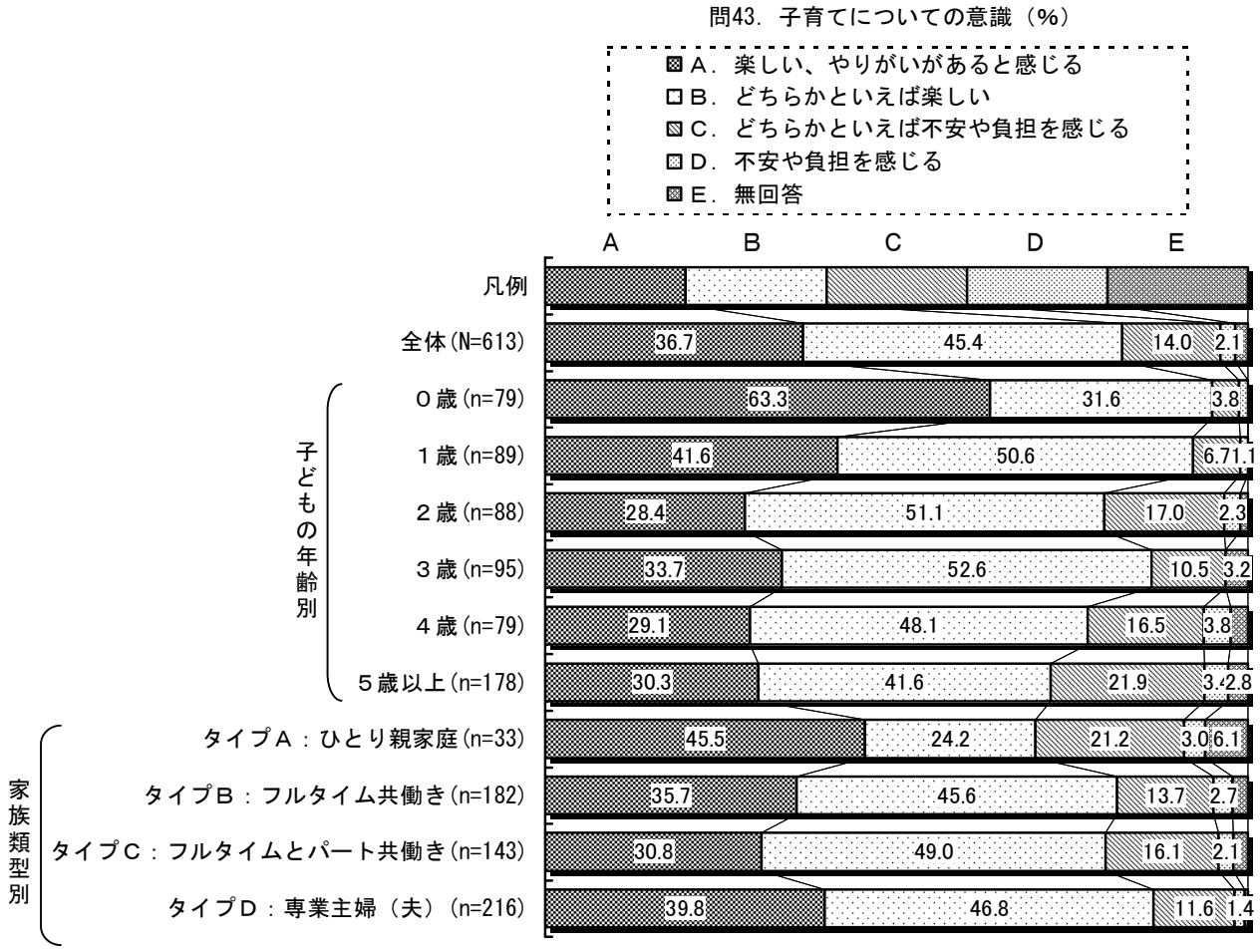
【13】子育てをめぐる悩みや不安感等について

1．子育てについての意識

問 43．子育てに関してどのようにお感じですか。（○印１つ）

◇子育てについての意識については、「楽しい、やりがいがあると感じる」が 36.7%、「どちらかといえば楽しい」が 45.4%で、両者合計して８割以上（82.1%）を占めている。

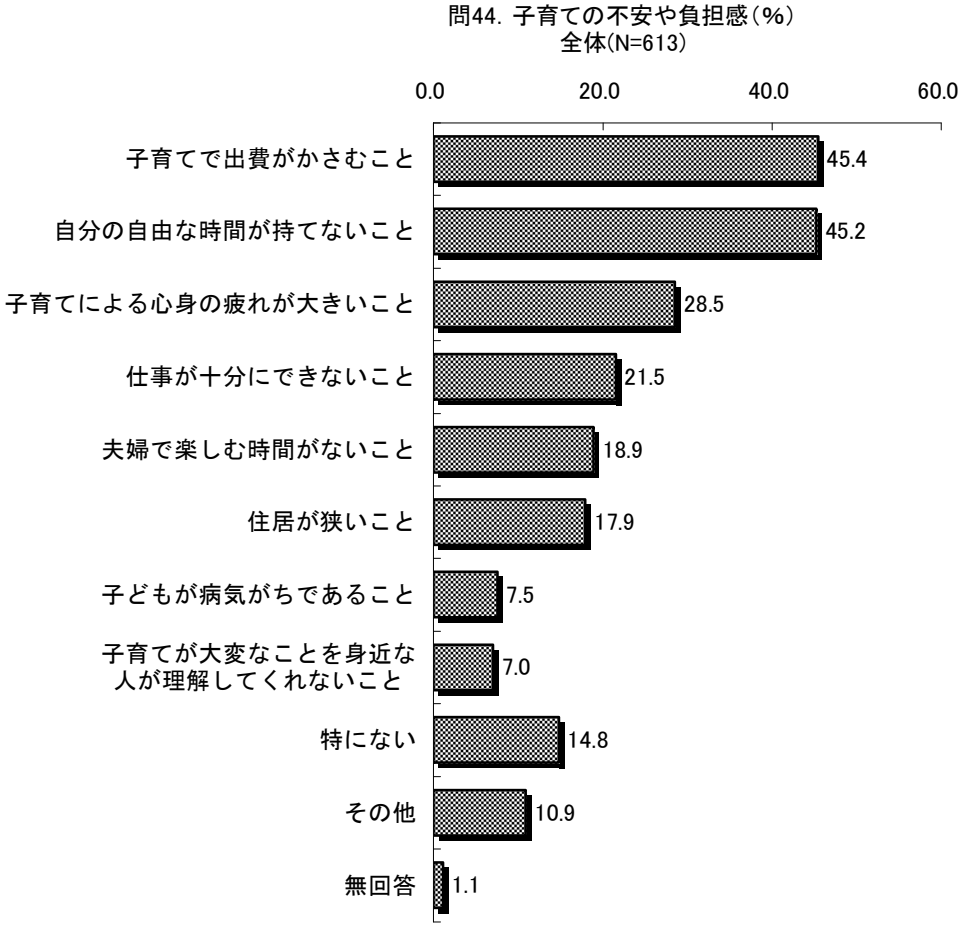
◇特に、子どもの年齢が「0 歳」で「楽しい、やりがいがあると感じる」が目立っている。家族類型別では、「タイプＡ：ひとり親家庭」において「どちらかといえば不安や負担を感じる」が、他の層に比べ多くみられる。



2．子育ての不安や負担感

問 44．子育てをする上で、特に不安や負担に感じていることや悩んでいることがありますか。（○印いくつでも）

◇子育ての不安や負担感については、「特にない」が 14.8%であることから、多くの保護者に何らかの不安や負担感があるとみられる。不安や負担感は「子育てで出費がかさむこと」が 45.4%と最も多く、ほぼ並んで「自分の自由な時間が持てないこと」（45.2%）があがる。次いで「子育てによる心身の疲れが大きいこと」（28.5%）、「仕事が十分にできないこと」（21.5%）などの順となっている。

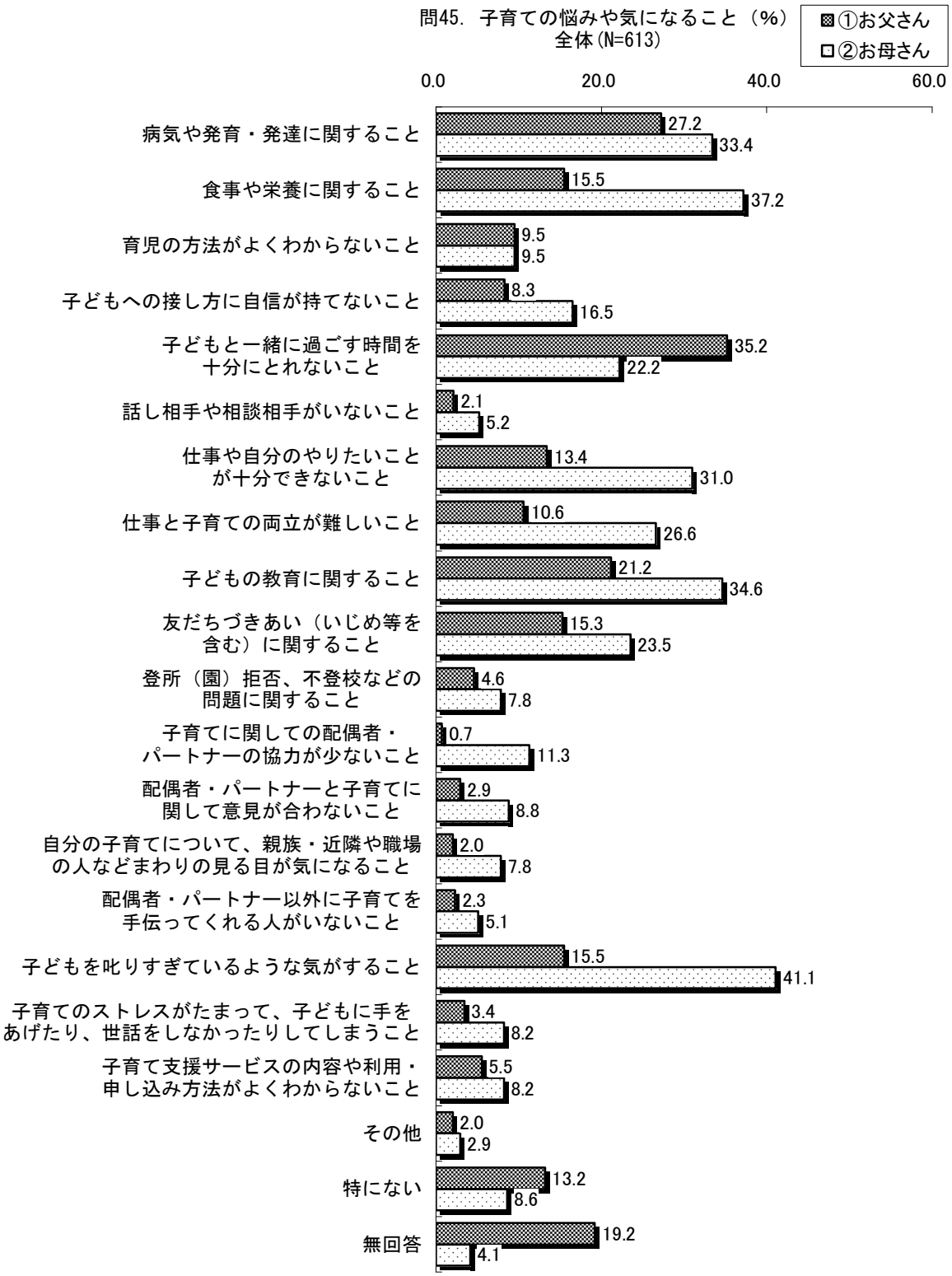


３．子育ての悩みや気になること

問 45．子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

◇子育ての悩みや気になることについては、父親の場合「子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれないこと」（35.2%）、「病気や発育・発達に関すること」（27.2%）、「子どもの教育に関すること」（21.2%）などの順となっている。一方、母親については、「子どもを叱りすぎているような気がすること」（41.1%）、「食事や栄養に関すること」（37.2%）、「子どもの教育に関すること」（34.6%）、「病気や発育・発達に関すること」（33.4%）、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」（31.0%）などの順となっている。

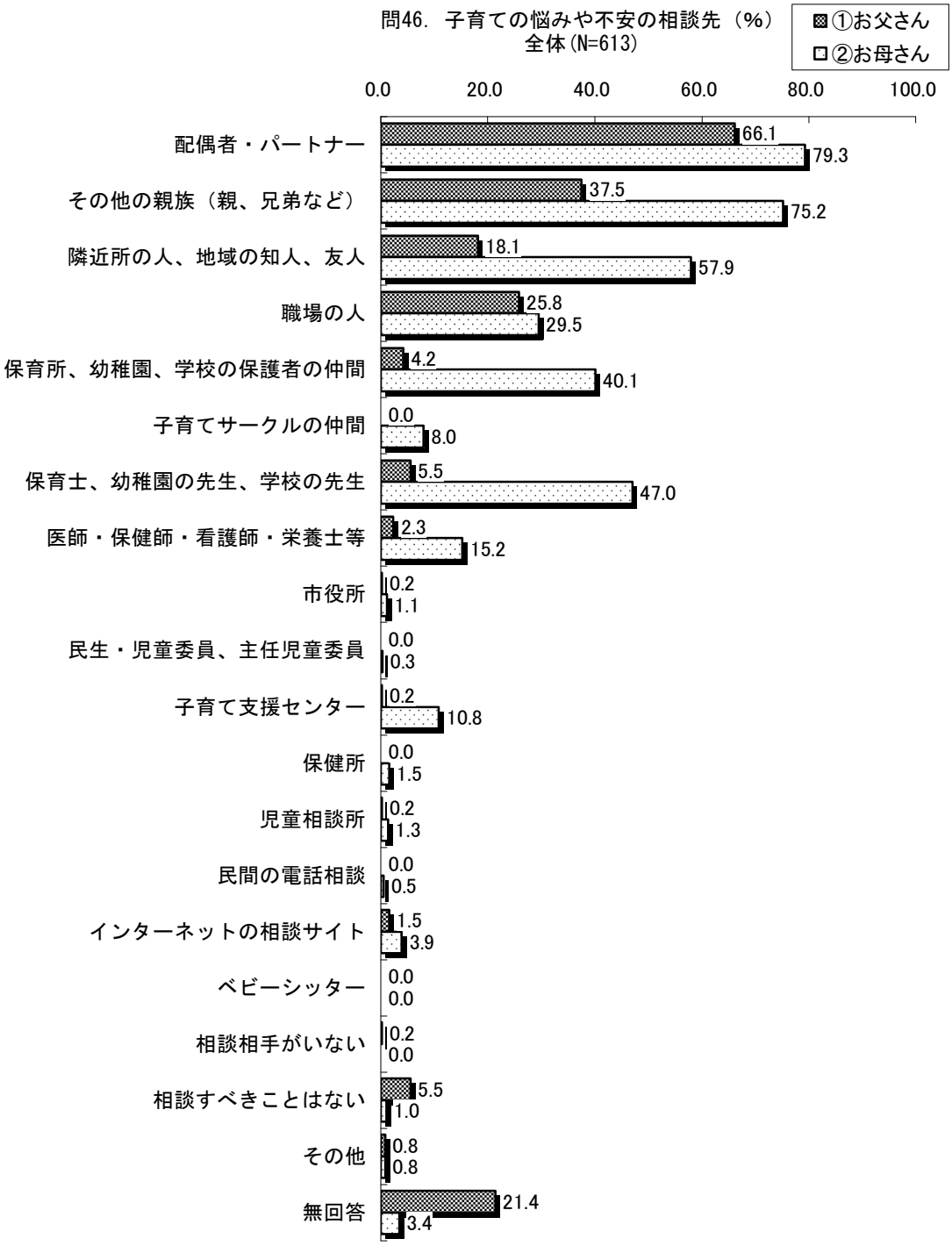
問45. 子育ての悩みや気になること（%）
全体(N=613)



４．子育ての悩みや不安の相談先

問 46．身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた（どこ）に相談していますか。お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

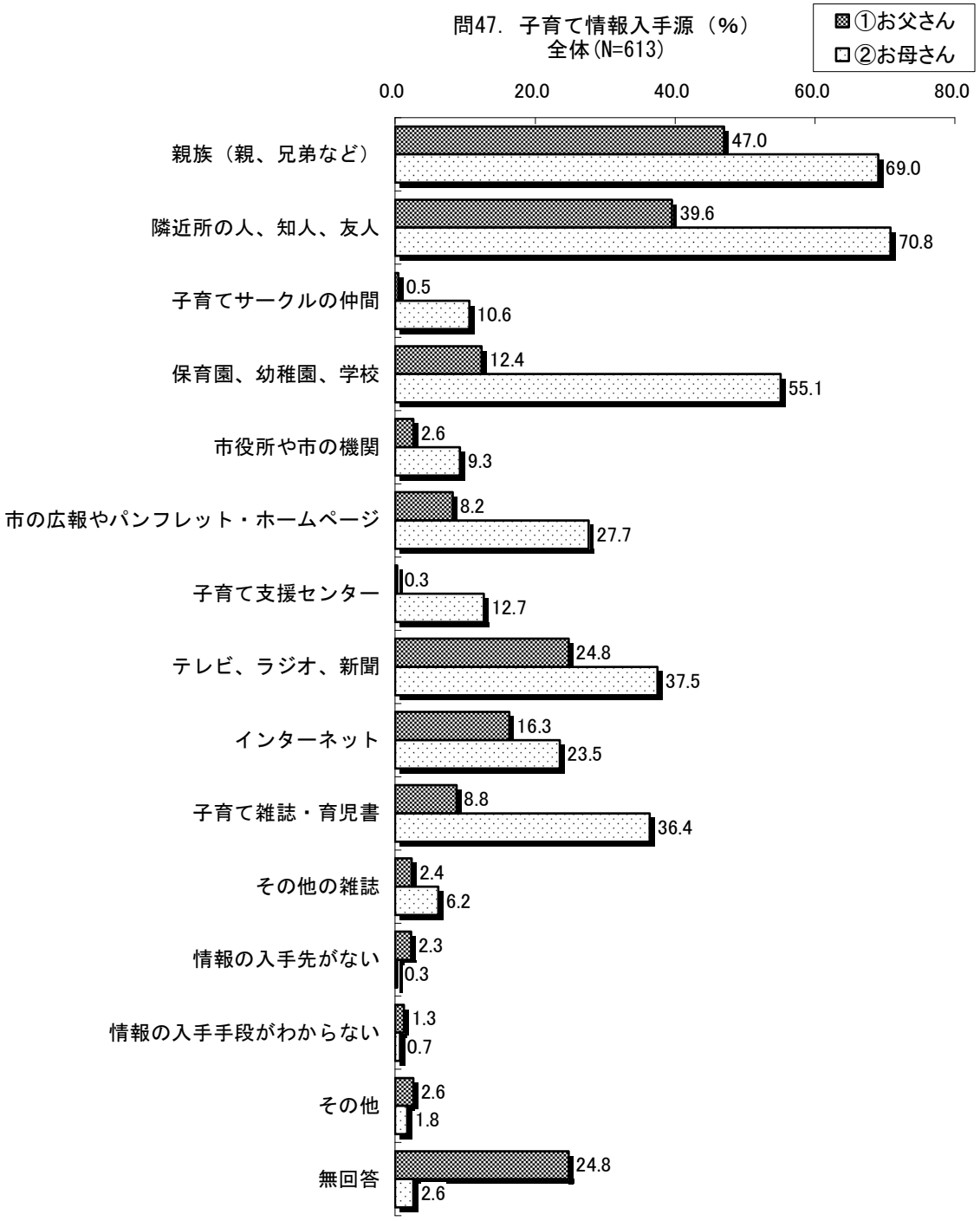
◇子育ての悩みや不安の相談先については、父親、母親ともに「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、兄弟など）」が上位にあがっている。次いで父親では「職場の人」、母親では「隣近所の人、地域の知人、友人」「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」「保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間」が続き、母親の方が多岐にわたる。



5．子育て情報入手源

問 47．日ごろ、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

◇子育て情報の入手源については、父親の場合、「親族（親、兄弟など）」（47.0%）、「隣近所の人、知人、友人」（39.6%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（24.8%）、「インターネット」（16.3%）などの順となっている。一方、母親については、「隣近所の人、知人、友人」（70.8%）、「親族（親、兄弟など）」（69.0%）、「保育園、幼稚園、学校」（55.1%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（37.5%）、「子育て雑誌・育児書」（36.4%）などの順となっており、全体的に父親の割合を上回る項目が目立つ。

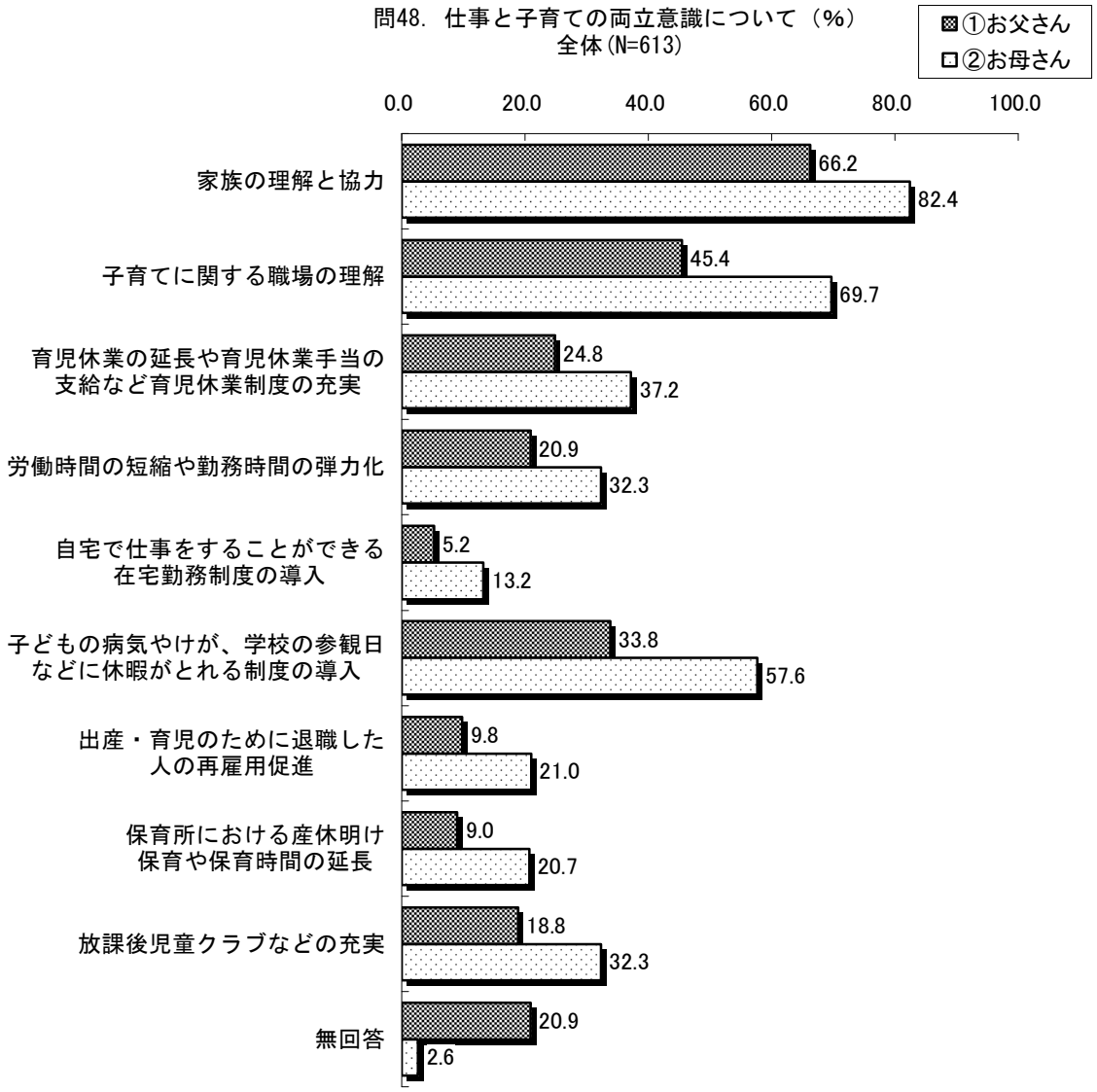


【14】子育て全般について

1．仕事と子育ての両立意識について

問 48．仕事と子育てを両立させるために、特に必要だと思う項目をお父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれ３つまで）

◇仕事と子育ての両立意識については、父親、母親ともに「家族の理解と協力」「子育てに関する職場の理解」「子どもの病気やケガ、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」「育児休業の延長や育児休業手当の支給など育児休業制度の充実」などが上位にあがっている

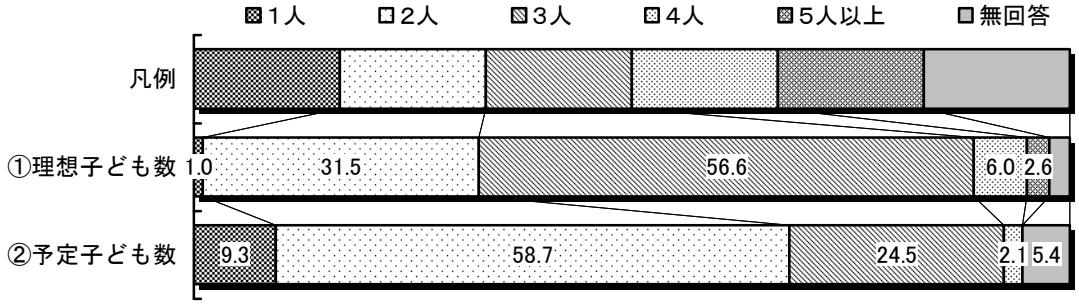


2．理想の子ども数と予定子ども数

問 49．あなたが理想とする子どもの数（理想子ども数）は何人ですか。また、現在のお子さんを含め、今後何人の子どもを持つ予定（予定子ども数）ですか。（○印１つずつ）

◇理想の子ども数は「3 人」が過半数（56.6%）を占め最も多いが、予定子ども数は「2 人」が過半数を占めており、理想と現状における差がみられる。

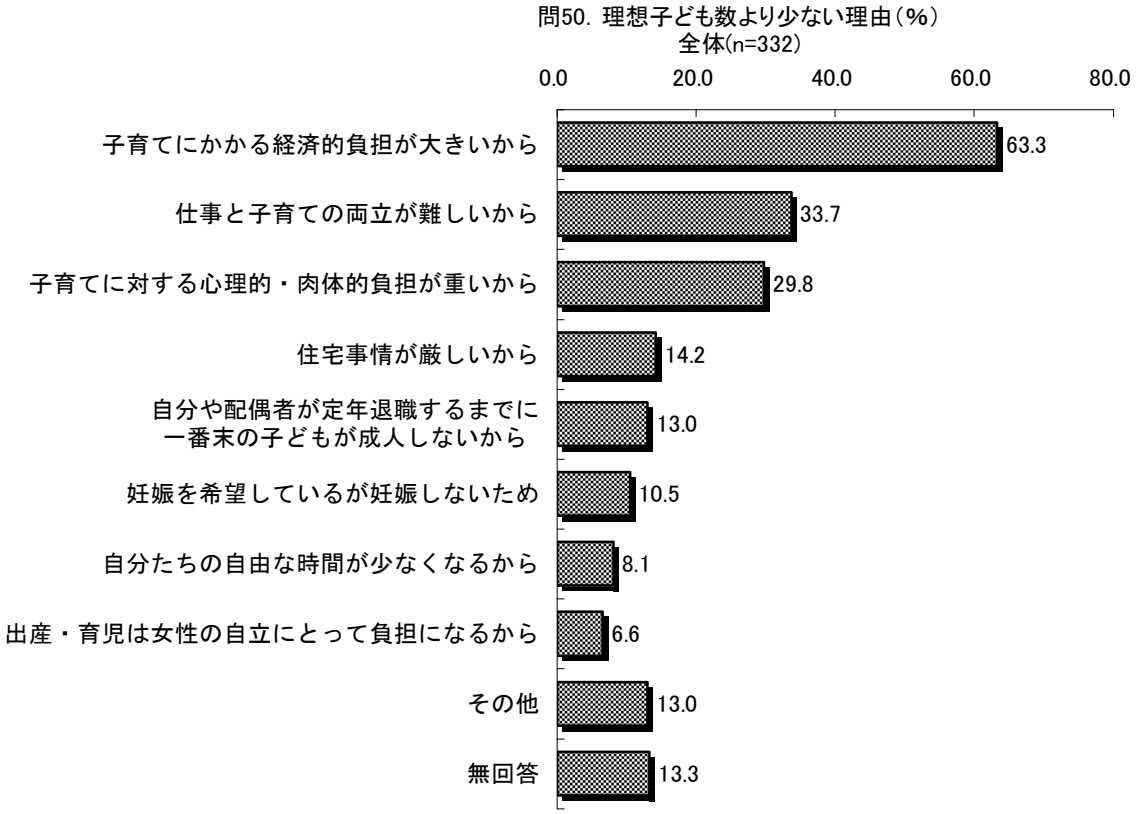
問49. 理想子ども数と予定子ども数（%）
全体(N=613)



3．理想子ども数より少ない理由

問 50．理想子ども数より予定子ども数が少ない方におうかがいします。理想とする数の子どもを持つ予定がない理由はどのようなことですか。（○印いくつでも）

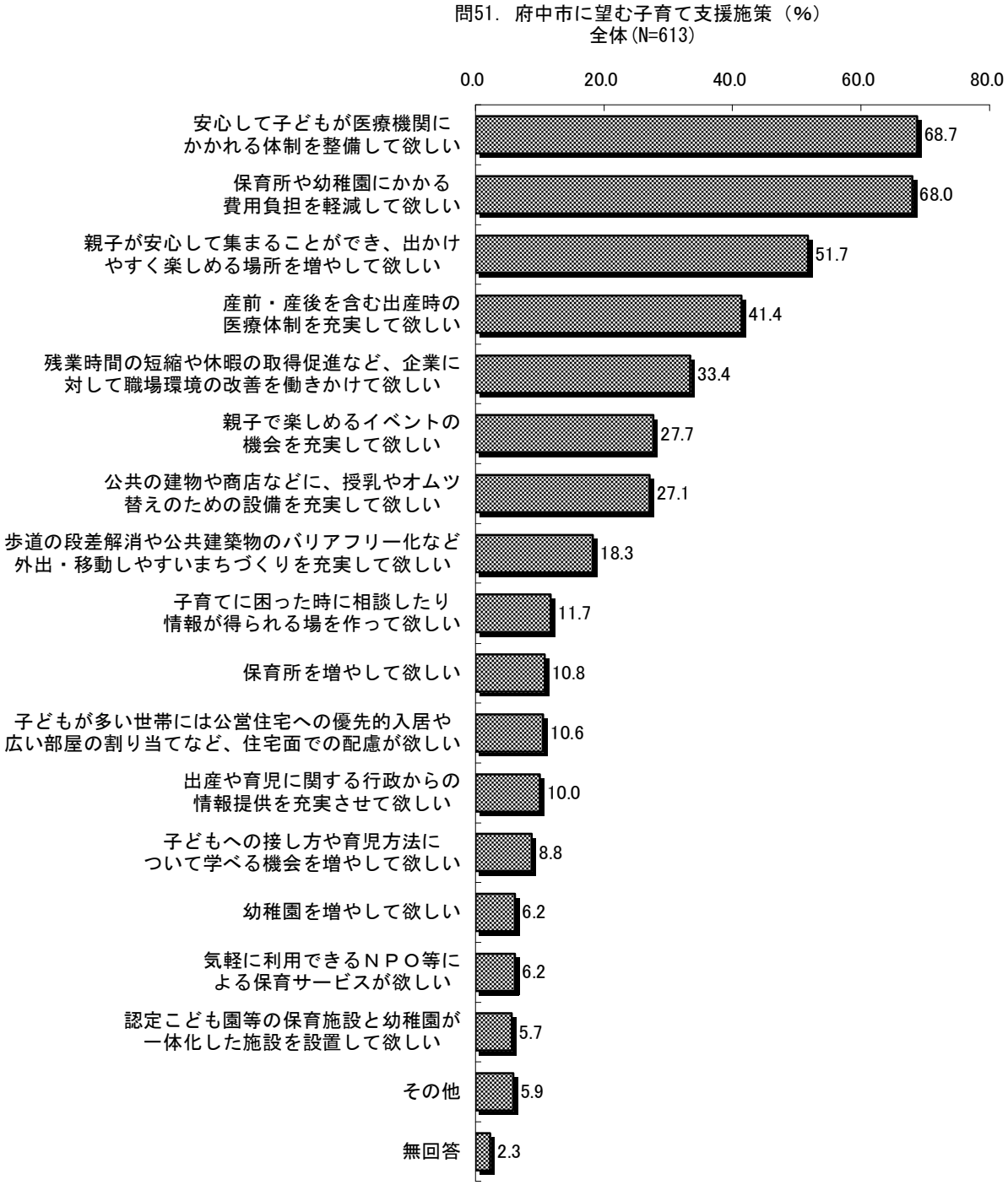
◇理想子ども数より予定子ども数が少ない理由については、「子育てに係わる経済的負担が大きいから」が 6 割以上（63.3%）と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」（33.7%）、「子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから」（29.8%）などの順となっている。


問50. 理想子ども数より少ない理由（%）
全体(n=332)
0.0
20.0
40.0
60.0
80.0
子育てにかかる経済的負担が大きいから
63.3
仕事と子育ての両立が難しいから
33.7
子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから
29.8
住宅事情が厳しいから
14.2
自分や配偶者が定年退職するまでに
一番末の子どもが成人しないから
13.0
妊娠を希望しているが妊娠しないため
10.5
自分たちの自由な時間が少なくなるから
8.1
出産・育児は女性の自立にとって負担になるから
6.6
その他
13.0
無回答
13.3

４．府中市に望む子育て支援施策

問 51．府中市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させて欲しいと思うことを５つまでお答え下さい。（○印は５つまで）

◇府中市に充実を望む子育て支援施策については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が 68.7%と最も多く、ほぼ並んで「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」（68.0%）が主な希望とされている。次いで「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」（51.7%）、「産前・産後を含む出産時の医療体制を充実して欲しい」（41.4%）、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」（33.4%）などの順となっている。



Ⅲ　『小学校児童』調査結果

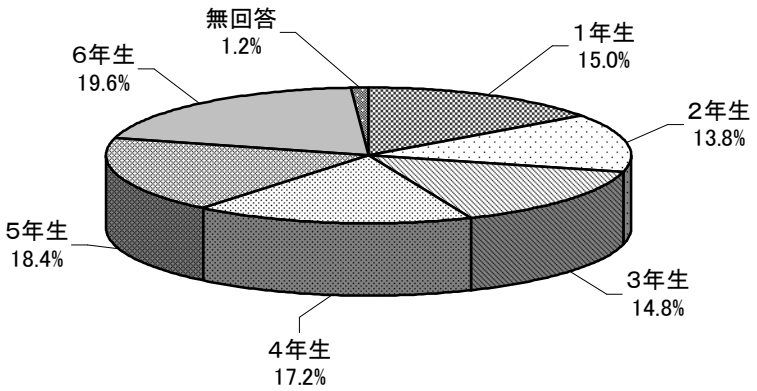
【１】属性及び家族の状況

１．児童の学年

問１．封筒のあて名のお子さんは何年生ですか。（○印１つ）

◇児童の学年は「6 年生」が 19.6%と最も多く、次いで「5 年生」（18.4%）、「4 年生」（17.2%）と続くが、おおむね均等に調査対象となっている。

問１．児童の学年（%）
全体(N=581)



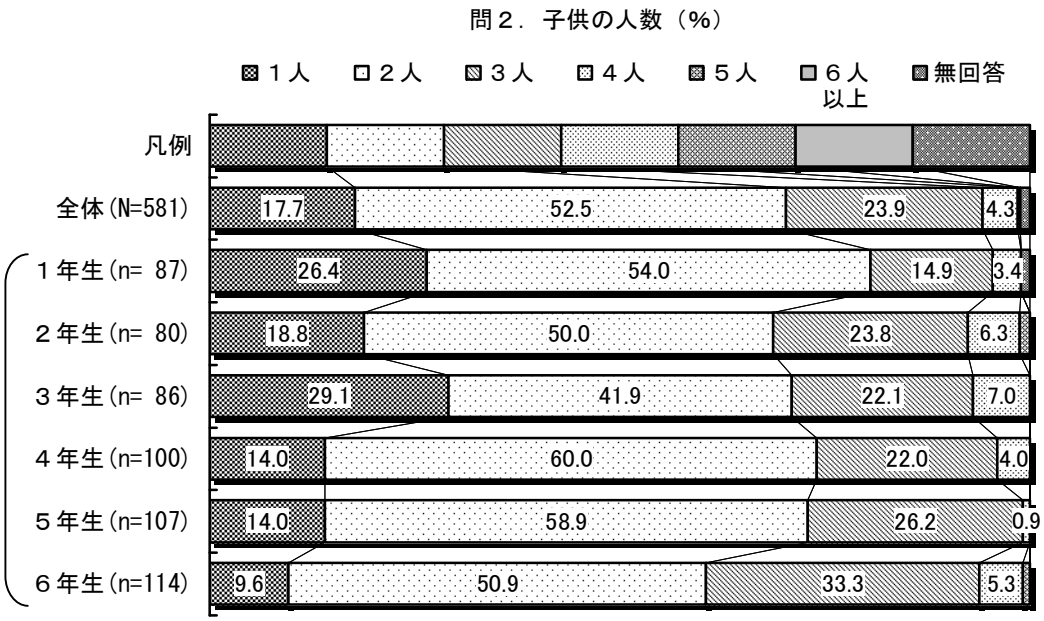
２．子どもの人数と末子の年齢

問２．封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。２人以上いらっしゃる場合は末子の年齢（平成 21 年１月１日現在）をお答えください。（○印１つずつ）

（１）子どもの人数

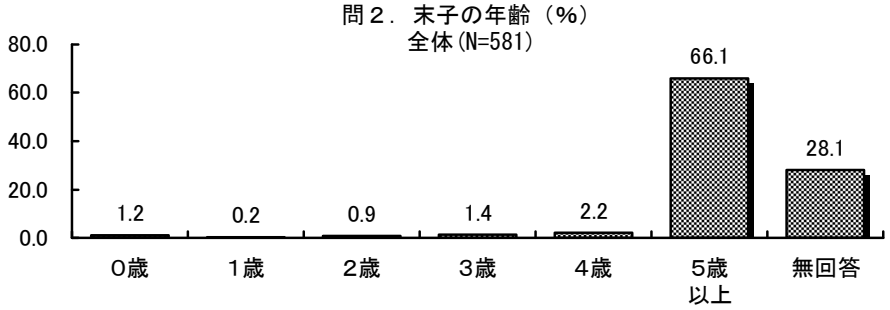
◇子どもの人数は、「2 人」が過半数（52.5%）を占め最も多く、次いで「3 人」（23.9%）、「1 人」（17.7%）と続き、これらで全体の大半（94.1%）を占めている。

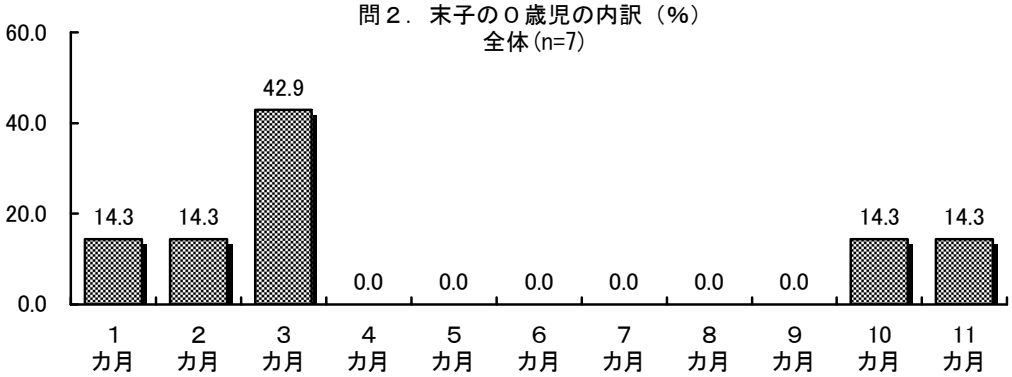
◇児童の学年が「6 年生」で、子どもの人数が多くみられ、「3 年生」では「1 人」が多くなっている。



（２）末子の年齢

◇末子の年齢、及び「（末子の）０歳児」の内訳については、以下のとおりである。



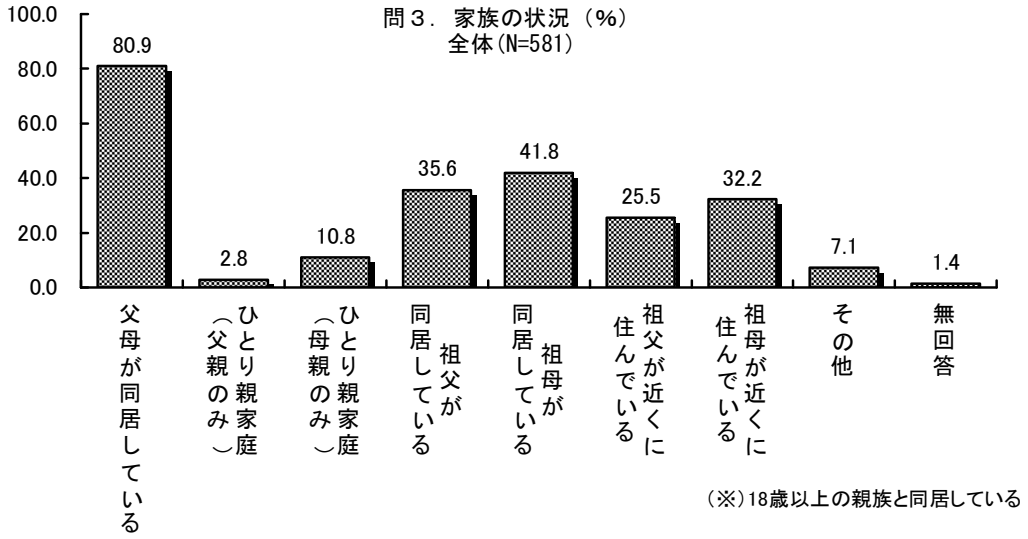


（注）当該設問は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

３．家族の状況

問３．あて名のお子さんからみた、ご家族の状況についてあてはまるものをすべてお答えください。（○印いくつでも）

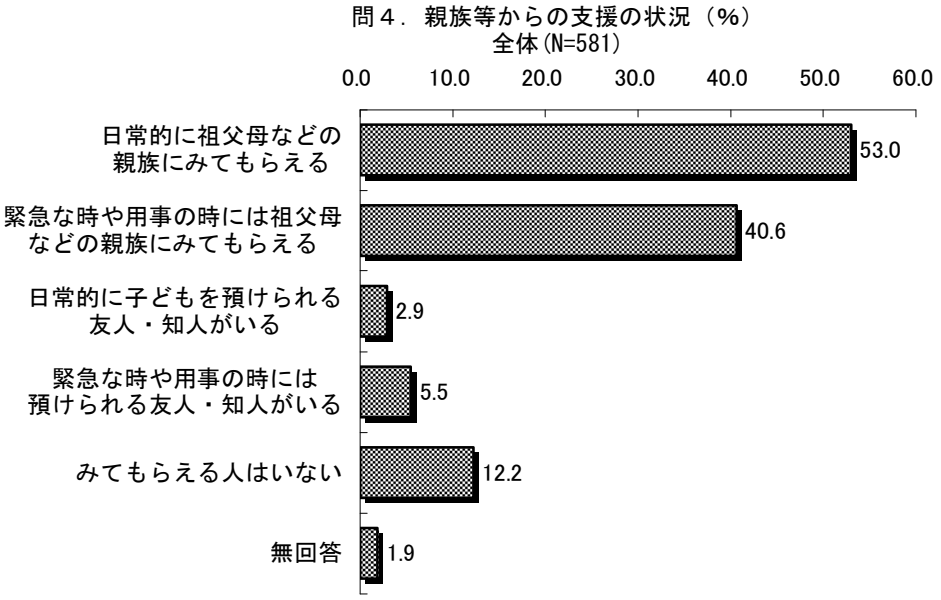
◇家族の状況については、「父母が同居している」が 80.9%と大半を占める。以下「祖母が同居している」（41.8%）、「祖父が同居している」（35.6%）の順で、「ひとり親家庭（母親のみ）」は 10.8%、「ひとり親家庭（父親のみ）」は 2.8%みられた。



４．親族等からの支援の状況

問４．日ごろ、お子さんをみてもらえる人はいますか。（○印いくつでも）

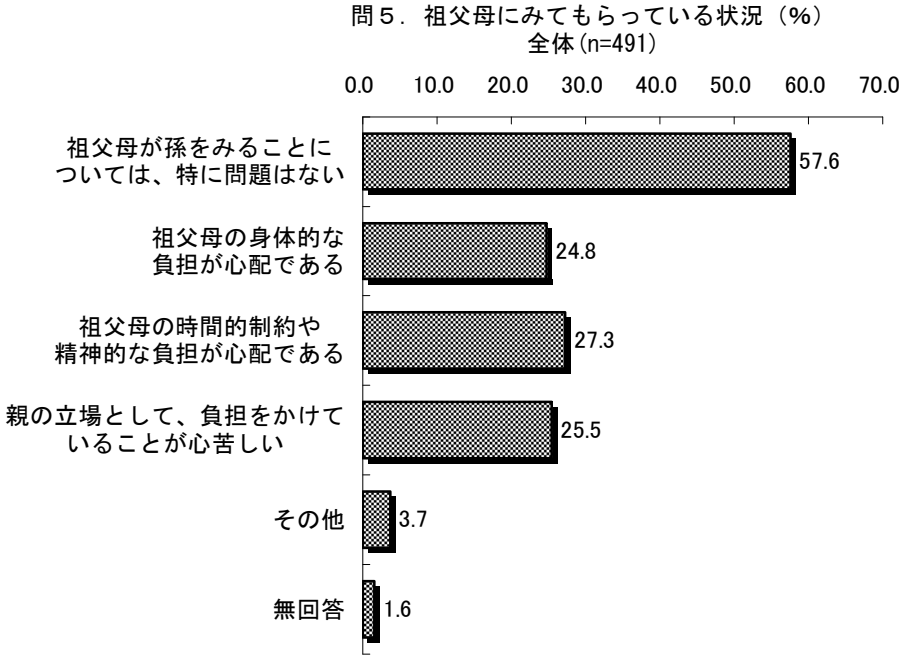
◇親族等からの支援の状況については、「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」が 53.0%と最も多く、次いで「緊急な時や用事の時には祖父母などの親族にみてもらえる」（40.6%）がそれに続く。「みてもらえる人はいない」は 12.2%みられた。



５．祖父母にみてもらっている状況

問５（問４で１～２と回答された方に）祖父母にみてもらっている状況について、どのようにお感じになっていますか。（○印いくつでも）

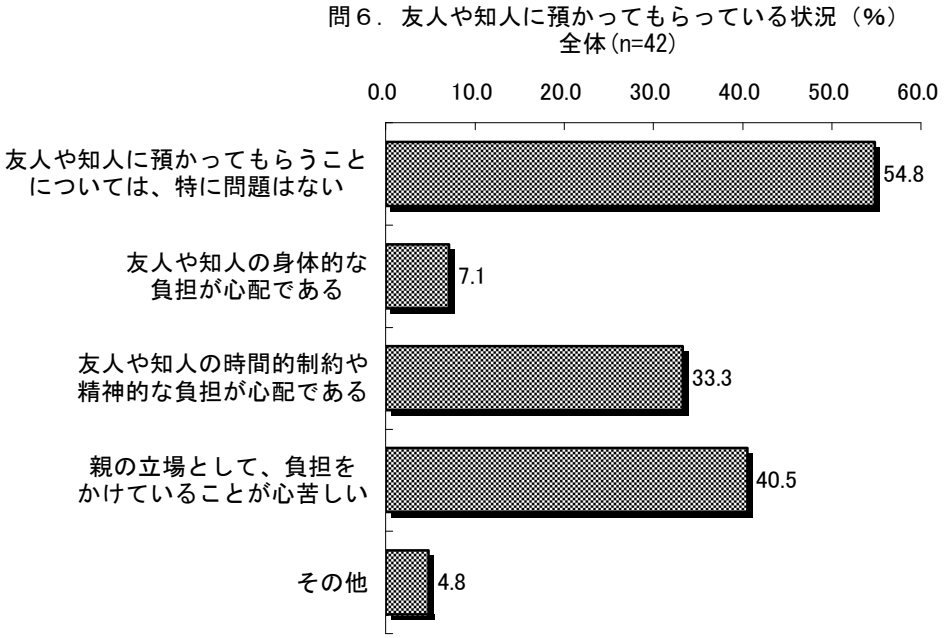
◇祖父母にみてもらっている状況については、「祖父母が孫をみることについては、特に問題はない」がおよそ半数以上（57.6%）と最も多く、おおむね問題がないと意識されている。次いで「祖父母の時間的制約や精神的な負担が心配である」（27.3%）、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（25.5%）の順となっている。



６．友人や知人に預かってもらっている状況

問６（問４で３～４と回答された方に）友人や知人に預かってもらっている状況について、どのようにお感じになっていますか。（○印いくつでも）

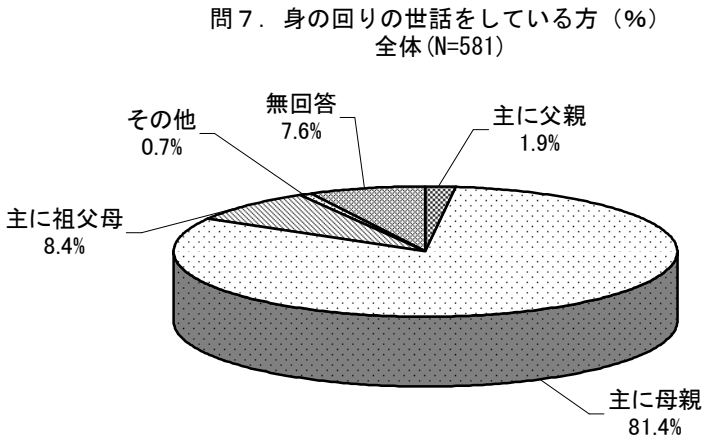
◇友人や知人に預かってもらっている状況については、「友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が半数以上（54.8%）みられるが、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（40.5%）や「友人や知人の時間的制約や精神的な負担が心配である」（33.3%）も多くみられる。



７．身の回りの世話をしている方

問７．主に、あて名のお子さんの身の回りの世話をしている方は、どなたですか（続柄はあて名のお子さんからみた関係です）。（○印１つ）

◇身の回りの世話をしている方については、「主に母親」が81.4%と大半を占める。「主に父親」は1.9%、「主に祖父母」は8.4%の内訳である。



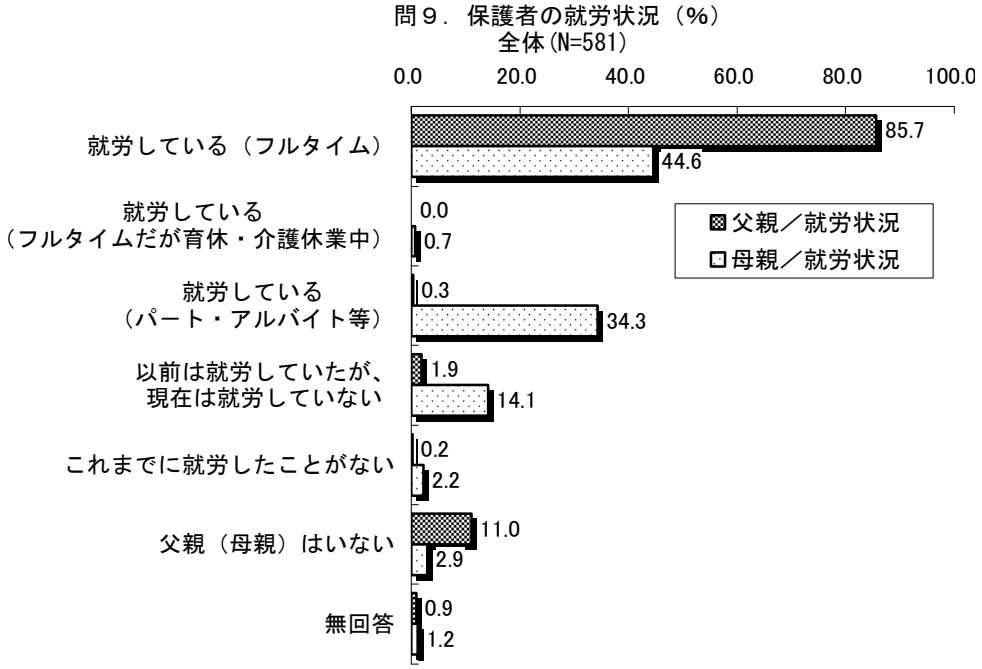
【２】保護者の就労状況等について

１．保護者の就労状況

問９．あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。（○印１つずつ、該当か所には数字を記入）

（１）就労状況

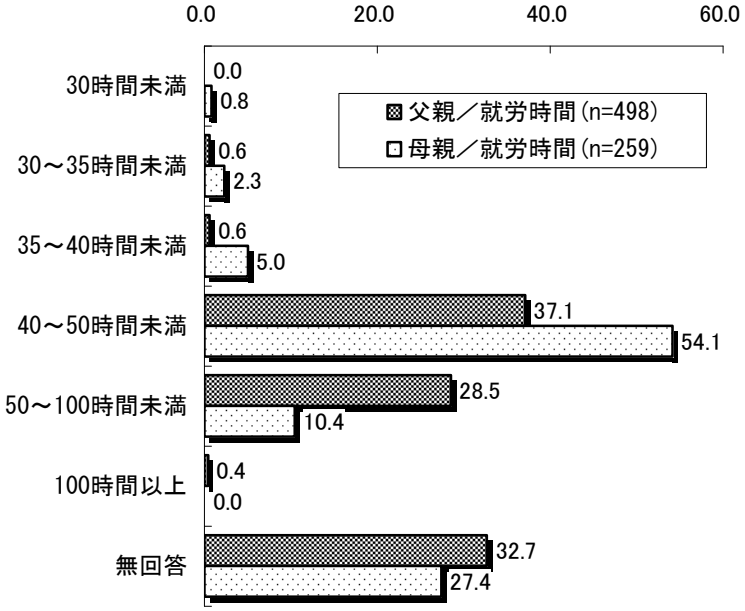
◇保護者の就労状況については、父親は「就労している（フルタイム）」が 85.7%と主流、母親は「就労している（フルタイム）」が 44.6%、「就労している（パート・アルバイト等）」が 34.3%と、合計８割近く（78.9%）が就労している。



（２）フルタイムの場合／週当たり平均就労時間

◇フルタイムの場合における週当たり平均就労時間は、父親では「40～50 時間未満」が 37.1%と最も多く、「50～100 時間未満」（28.5%）がそれに続く。母親では「40～50 時間未満」（54.1%）が最も多くなっている。

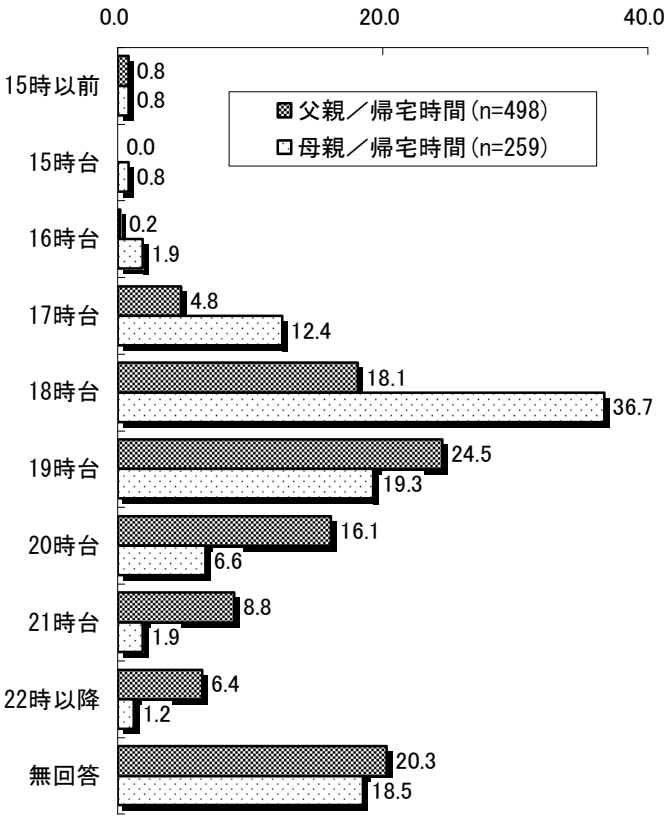
問９．フルタイムの場合／週当たり平均就労時間（%）



（３）フルタイムの場合／平均的な帰宅時刻

◇フルタイムの場合における平均的な帰宅時刻は、父親では「18～20 時台」が多く、相対的に「19 時台」（24.5%）が最も多い。母親では「18 時台」（36.7%）が最も多くなっている。

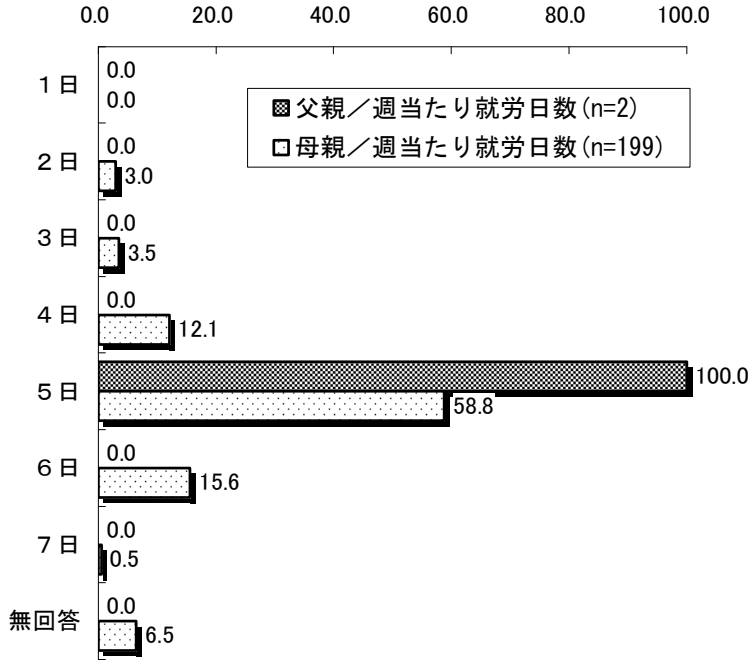
問９．フルタイムの場合／平均的な帰宅時刻（%）



（4）パート・アルバイト等の場合／週当たり就労日数

◇パートタイム、アルバイト等の場合における週当たり就労日数は、母親で「5 日」（58.8%）が最も多くなっている。

問９．パート・アルバイト等の場合／週当たり就労日数（%）

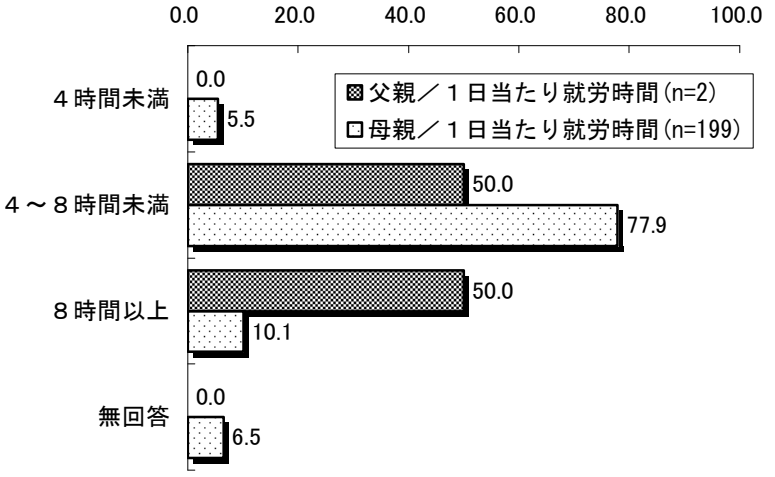


（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

（5）パート・アルバイト等の場合／1 日当たり就労時間

◇パート・アルバイト等の場合における 1 日当たり就労時間は、母親で「4～8 時間未満」（77.9%）が最も多くなっている。

問９．パート・アルバイト等の場合／1日当たり就労時間（%）

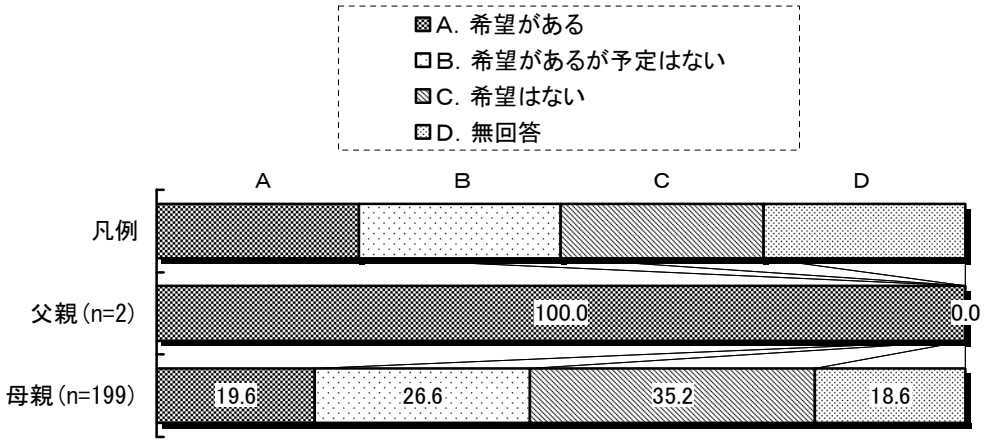


（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

（6）パート・アルバイト等の場合／フルタイムへの転換希望

◇「就労している（パート・アルバイト等）」の回答者におけるフルタイムへの転換希望については、母親の場合「希望がある」が 19.6%、「希望があるが予定はない」が 26.6%で、両者合計した転換希望者は半数近く（46.2%）を占める。「希望はない」は 35.2%であった。

問９．パート・アルバイト等の場合／フルタイムへの転換希望（%）



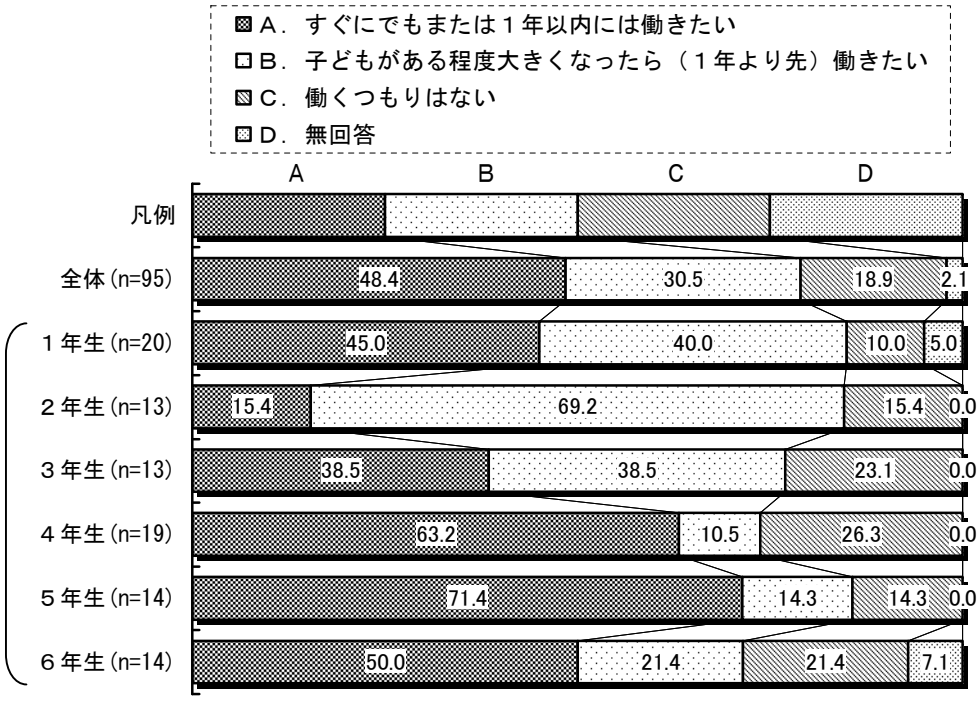
（注）当該設問では「父親」は基数(n=)が少ないため、参考値として参照してください。

２．母親の就労希望

問 10.（問９②母親で４～５と回答された方に）今後、母親の就労希望はありますか。
（○印１つ、枠内には具体的な数字を記入）

◇母親の就労希望については、「すぐにでもまたは１年以内には働きたい」が半数近く（48.4%）を占め最も多く、「子どもがある程度大きくなったら（１年より先）働きたい」が 30.5%で続く。児童の学年が上がるほど「すぐにでもまたは１年以内には働きたい」への回答が多い傾向にある。

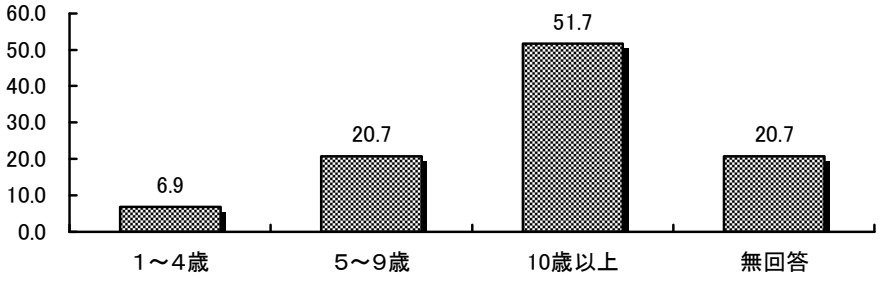
問10. 母親の就労希望（%）



３．末子が何歳になったくらいに働きたいか

◇上記において「子どもがある程度大きくなったら（１年より先）働きたい」への回答者における、末子が何歳になったくらいに働きたいか、については「10 歳以上」が 51.7%と半数を占めている。

問10. 末子が何歳になったくらいに働きたいか（%）
全体(n=29)



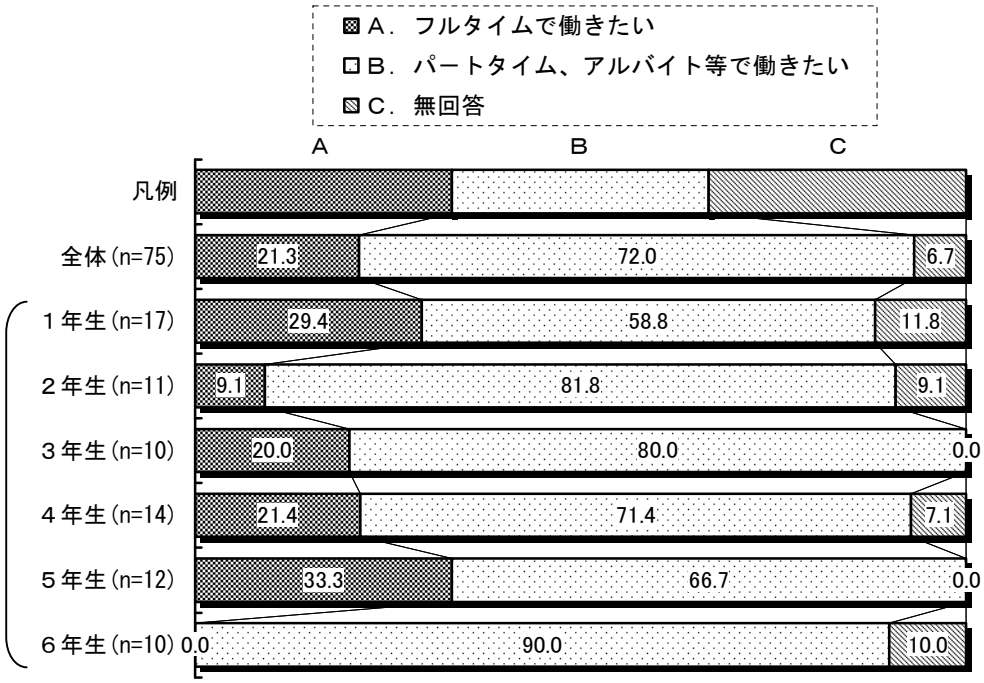
４．母親の就労希望形態

問 11（問 10 で１～２と回答された方に）どのような形態で働きたいとお考えですか。 （○印１つ、枠内には具体的な数字を記入）

（１）就労希望形態

◇就労希望のある母親における就労希望形態については、「パートタイム、アルバイト等で働きたい」が７割（72.0%）を占め主流となっており、「フルタイムで働きたい」が 21.3%みられた。児童の学年が上がるほど「フルタイムで働きたい」への希望が相対的に多くみられる。

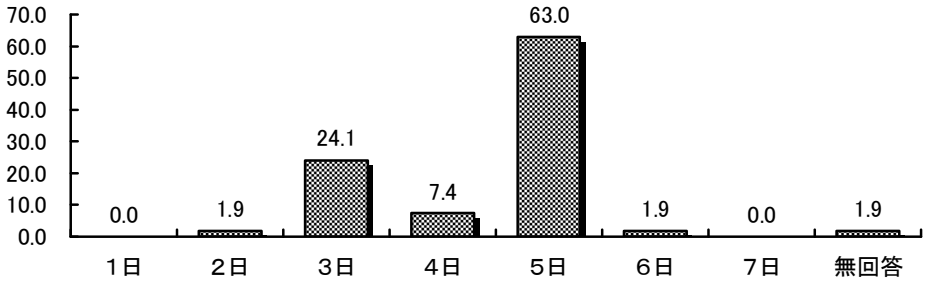
問11. 母親の就労希望形態（%）



（2）パート・アルバイト希望者／週当たり就労希望日数

◇パート・アルバイト希望者における週当たり就労希望日数については、「5 日」が 6 割以上（63.0%）を占め最も多く、次いで「3 日」（24.1%）、「4 日」（7.4%）が続く。これら「3 日以上（合計）」で大半（94.5%）を占める。

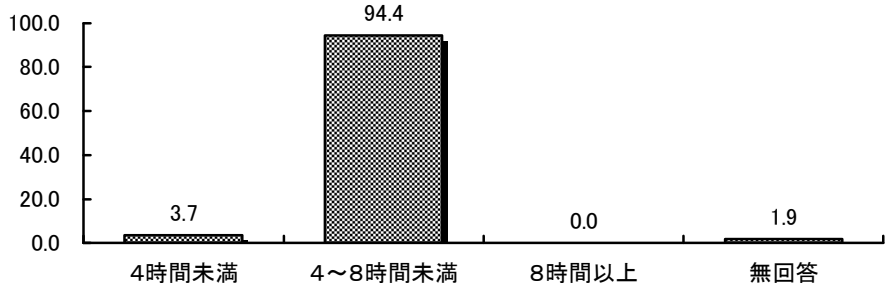
問11. パート・アルバイト希望者／週当たり就労希望日数（%）
全体(n=54)



（3）パート・アルバイト希望者／パート等で働きたい時間（1日当たり）

◇パート・アルバイト希望者におけるパート等で働きたい時間（1日当たり）については、「4～8 時間未満」が 94.4%と大半を占めている。

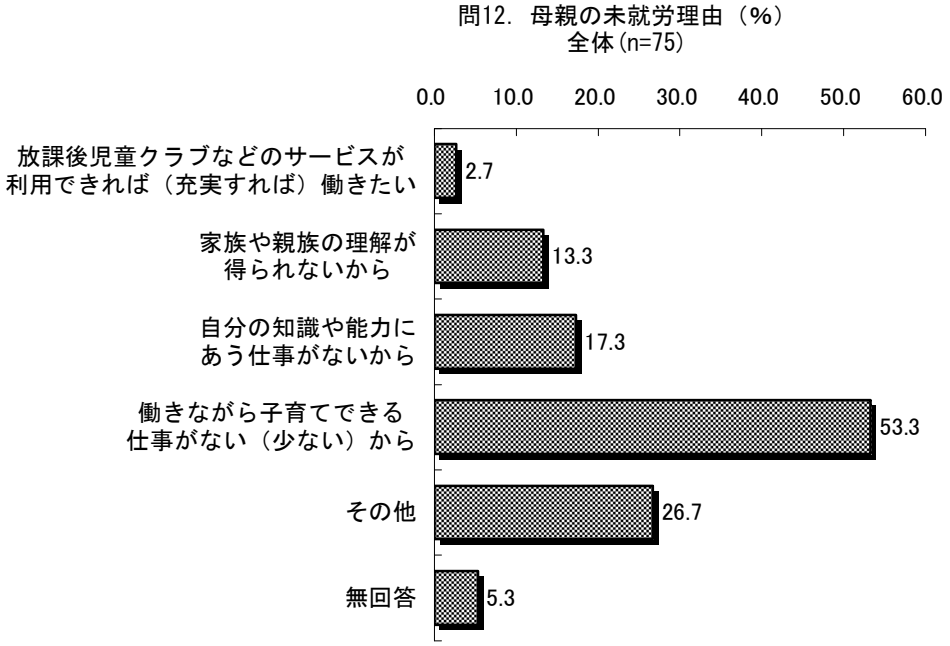
問11. パート・アルバイト希望者／
パート等で働きたい時間（1日当たり）（%）
全体(n=54)



５．母親の未就労理由

問 12（問 10 で１～２と回答された方に）現在働いていない理由をお答えください。
（○印いくつでも）

◇母親の未就労理由については、「働きながら子育てできる適当な仕事がない（少ない）から」といった就労条件に関することが 53.3%と最も多く、これにほぼ特化している。



◇なお、「その他」が３割近くみられるが、典型的な回答として「希望に沿う仕事先がなかなかないので」「子どもが病気になりやすいため」「体調不良のため、できる仕事が限られる」「リストラされたばかりだから」といった内容があげられている。

【３】放課後児童クラブについて

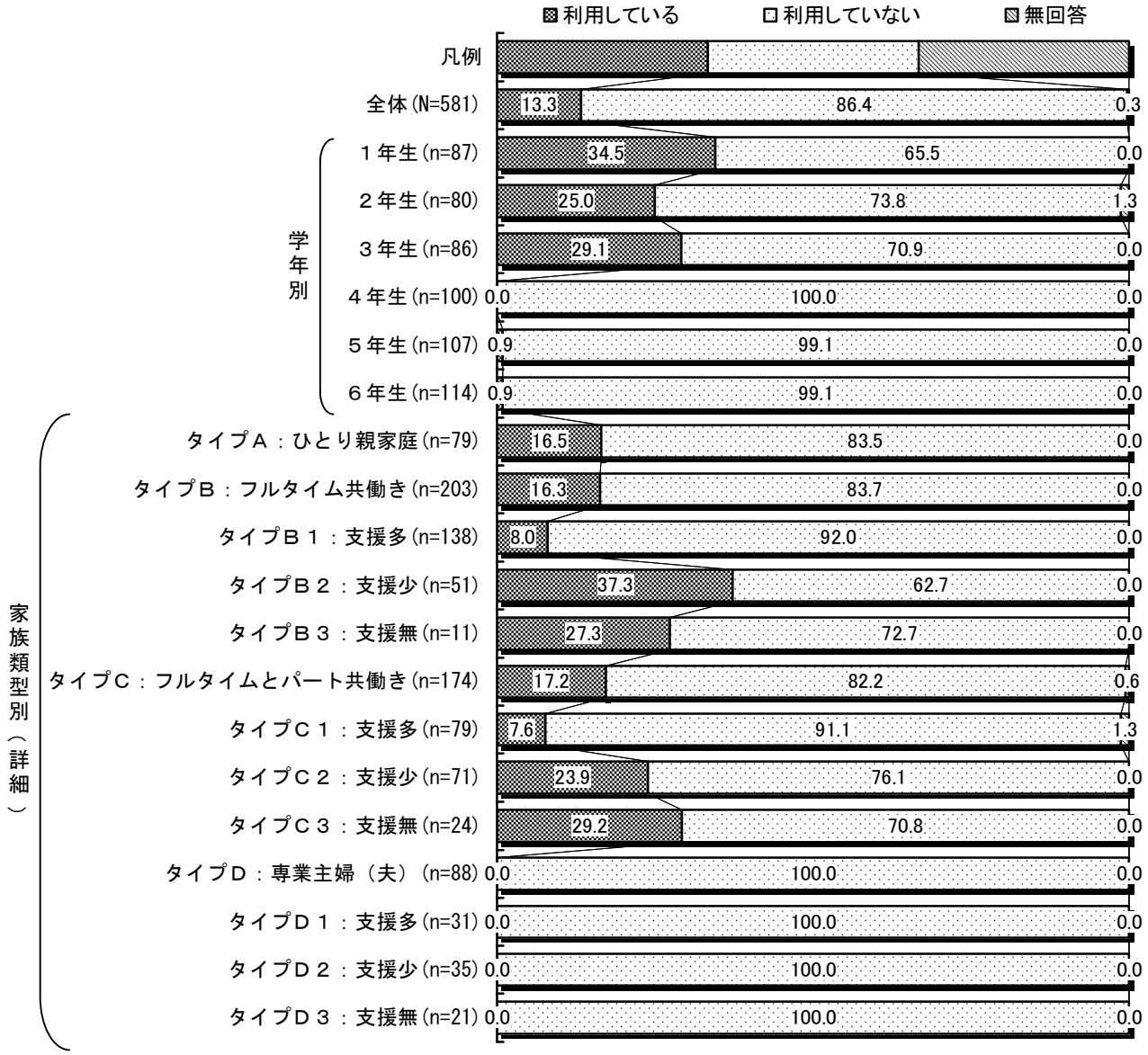
１．放課後児童クラブの利用有無

問 13. あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。（○印１つ）

◇放課後児童クラブの利用者は、全体で 13.3%である。

◇児童の学年が低いほど利用者は多く、特に「１年生」では 34.5%と３人に１人以上の割合で利用している。家族類型別では「タイプＡ：ひとり親家庭」で 16.5%、「タイプＢ：フルタイム共働き」で 16.3%、「タイプＣ：フルタイムとパート共働き」で 17.2%の内訳となっており、いずれの層も支援が少ない（または無い）層で利用も多い傾向がみられる。

問13. 放課後児童クラブの利用状況（%）

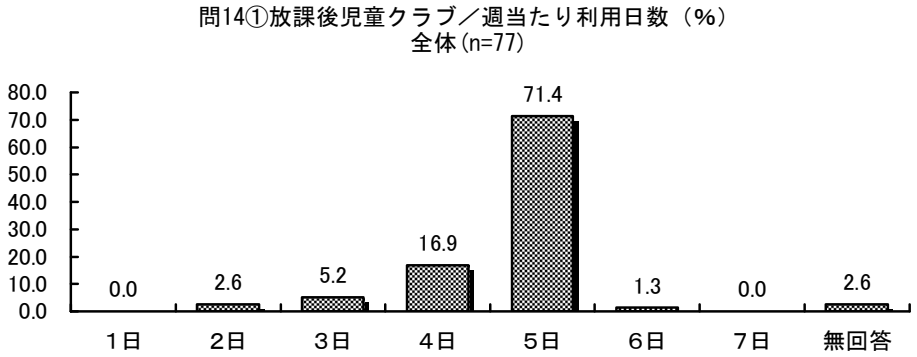


２．放課後児童クラブの利用状況

問 14.（問 13 で１と回答された方に）あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。（枠内に具体的な数字を記入、○印は１つ）

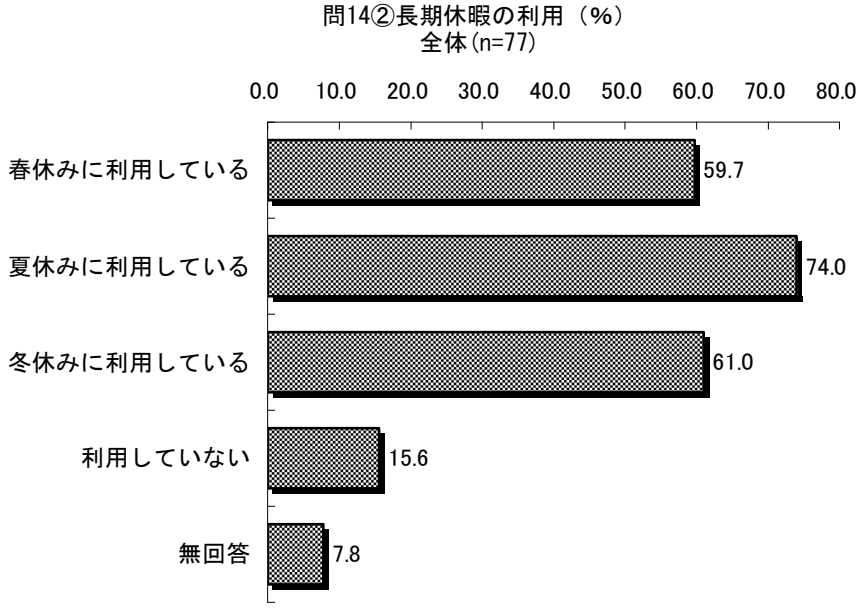
（１）週当たり利用日数

◇週当たり利用日数については、「５日」が７割（71.4%）を占め最も多くなっている。



（２）長期休暇の利用

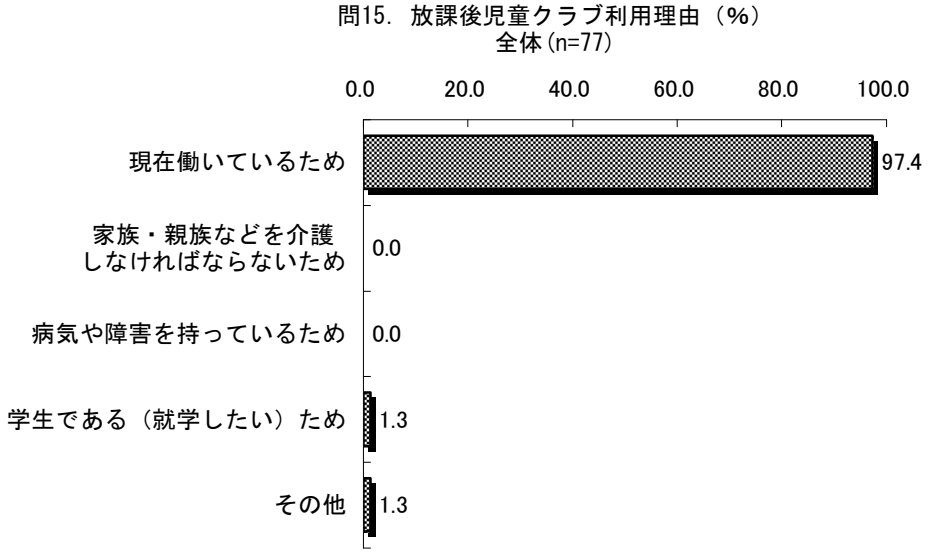
◇長期休暇の利用については、「夏休みに利用している」が 74.0%と最も多く、以下「冬休みに利用している」（61.0%）と「春休みに利用している」（59.7%）がほぼ並んで続いている。



３．放課後児童クラブ利用理由

問 15.（問 13 で１と回答された方に）放課後児童クラブを利用している「最も大きな理由」を１つだけお答えください。（○印１つ）

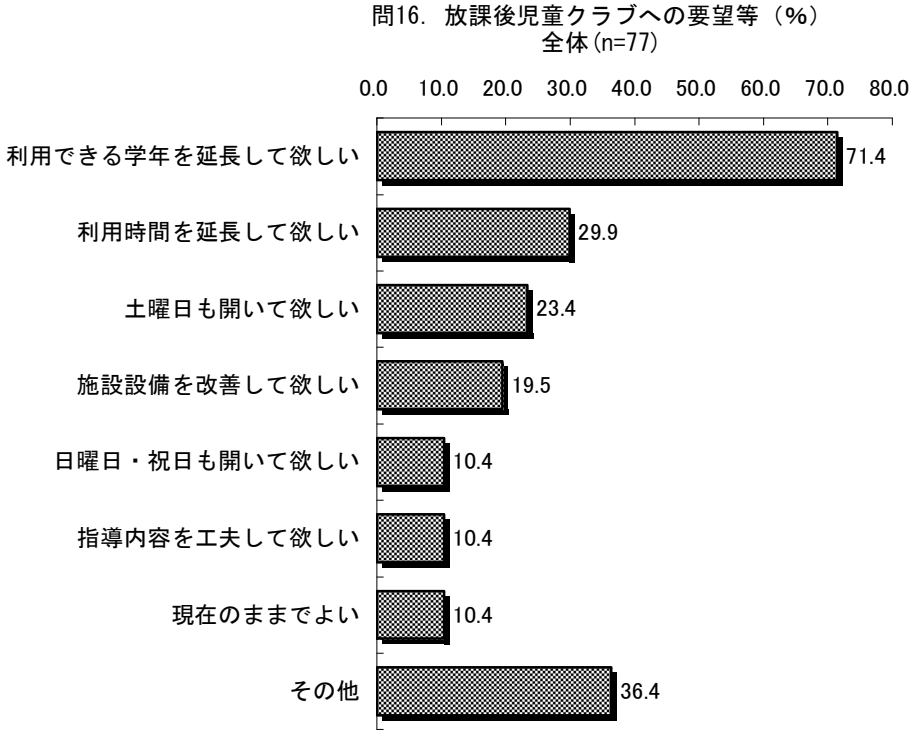
◇放課後児童クラブを利用している理由としては、「現在働いているため」が 97.4％と主流となっている。



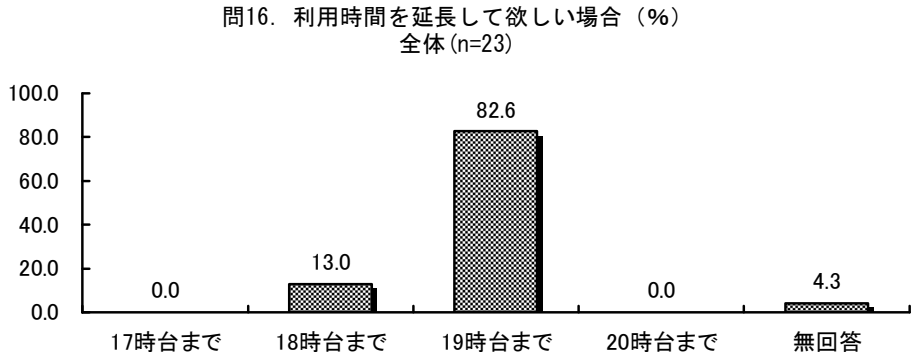
４．放課後児童クラブへの要望等

問 16.（問 13 で１と回答された方に）現在通っている放課後児童クラブに対して、どのように感じていますか。（○印いくつでも）

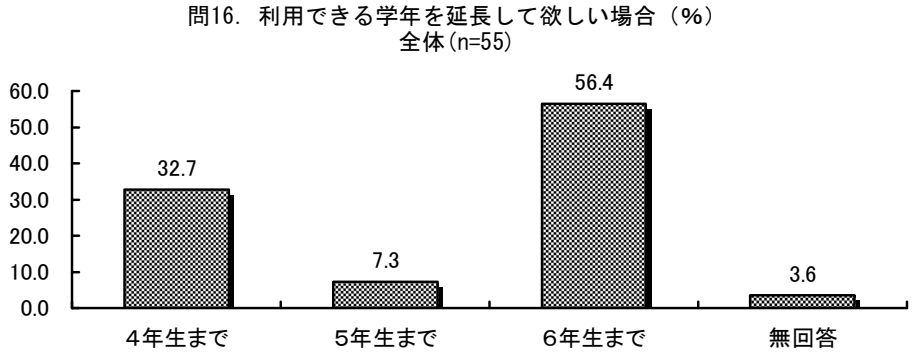
◇放課後児童クラブについては、「利用できる学年を延長してほしい」が 71.4％と 7 割を超え最も多く、次いで「利用時間を延長してほしい」（29.9％）が続く。「現在のままでよい」は 10.1％みられた。



◇上記設問において「利用時間を延長してほしい」の回答者においては、「19 時台まで」が 82.6％と最も多くなっている。



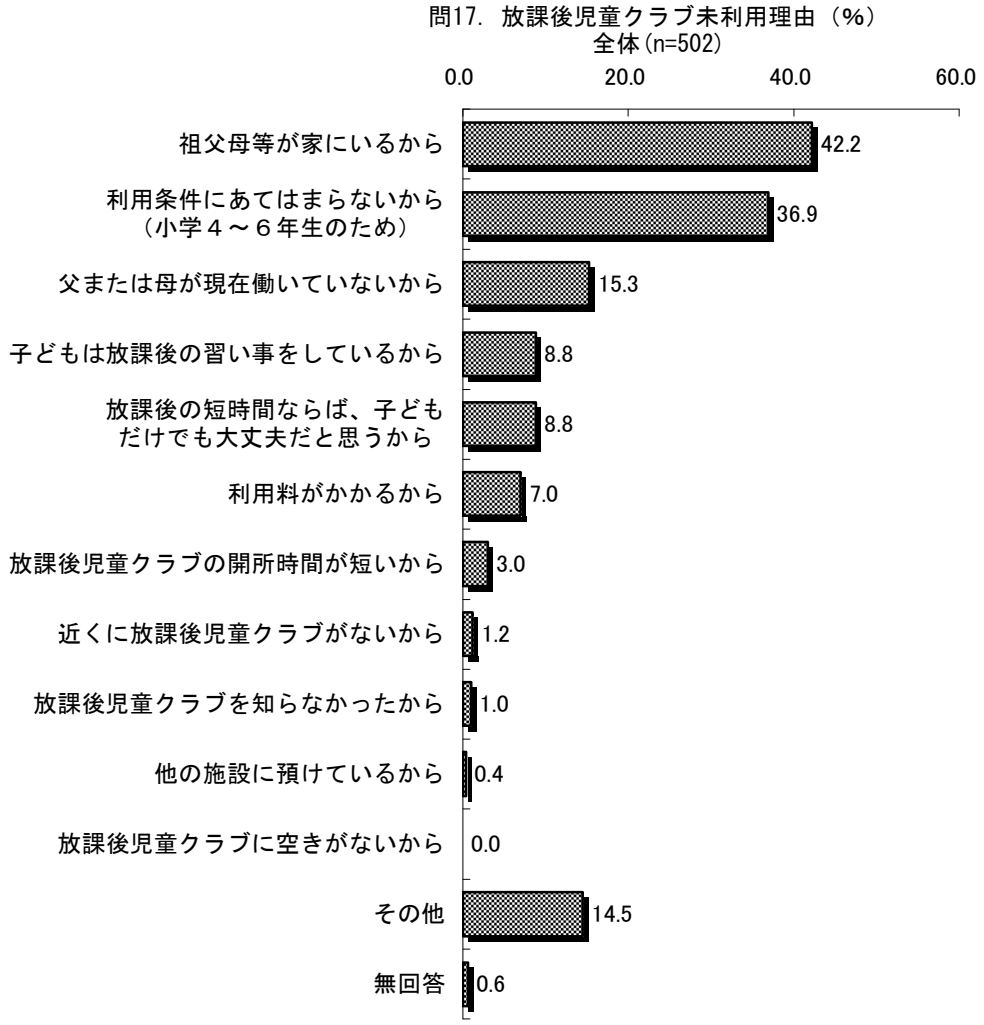
◇上記設問において「利用できる学年を延長してほしい」の回答者においては、「6 年生まで」が 56.4%と最も多く、「4 年生まで」（32.7%）がそれに続く。



5．放課後児童クラブ未利用理由

問 17.（問 13 で２と回答された方に）放課後児童クラブを利用していない理由について、「最も大きな理由」をお答えください。（○印いくつでも）

◇放課後児童クラブを利用していない理由としては、「祖父母等が家にいるから」が 42.2%と最も多く、「利用条件にあてはまらないから（小学４～６年生のため）」（36.9%）がほぼ並んで多くなっている。以下「父または母が現在働いていないから」（15.3%）が続く。この他の理由をあげる割合はそれぞれ少ない。



６．放課後児童クラブの利用意向

問 18.（問 13 で２と回答された方に）あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。（○印１つ）

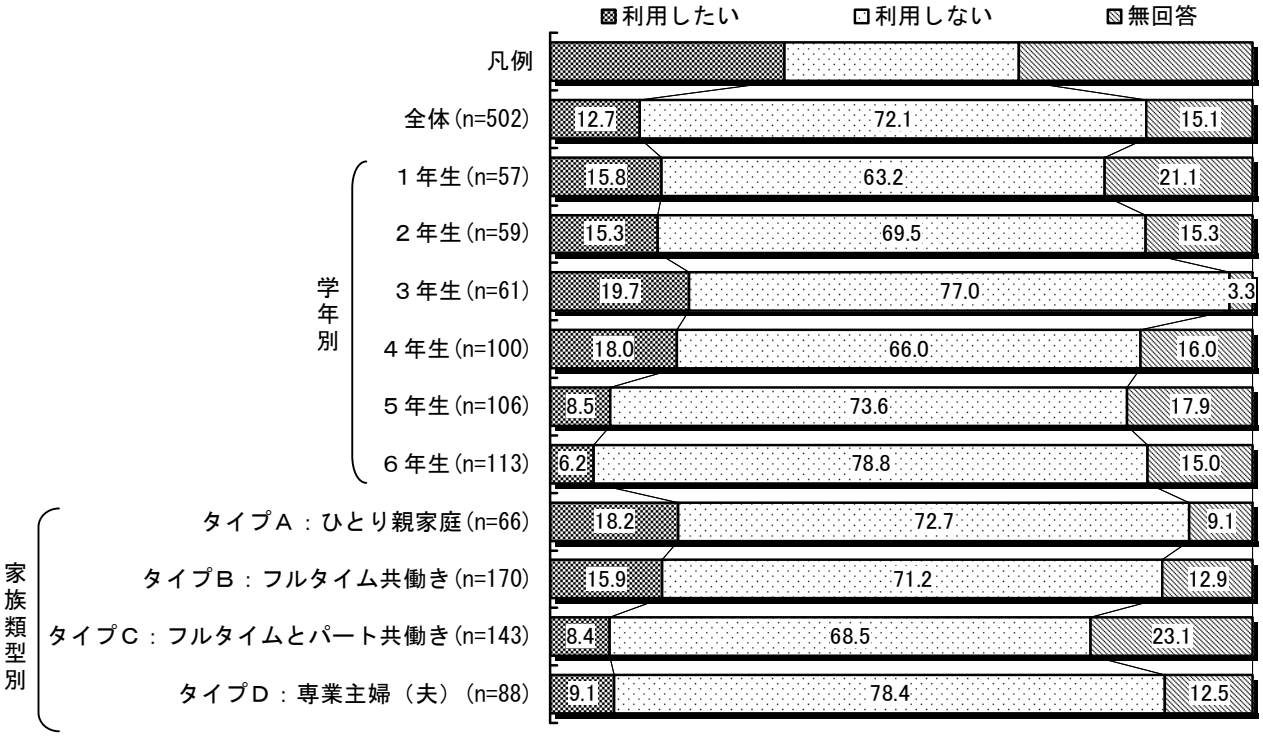
（１）放課後児童クラブの利用意向

◇放課後児童クラブの利用意向については、「利用したい」は 12.7%と１割強で、「利用しない」が７割を占めている。

◇学年別では、「3～4 年生」で「利用したい」が多くみられる。

◇家族類型別では、「タイプＡ：ひとり親家庭」及び「タイプＢ：フルタイム共働き」で希望者が相対的に多くみられる。

問18. 放課後児童クラブの利用意向（%）

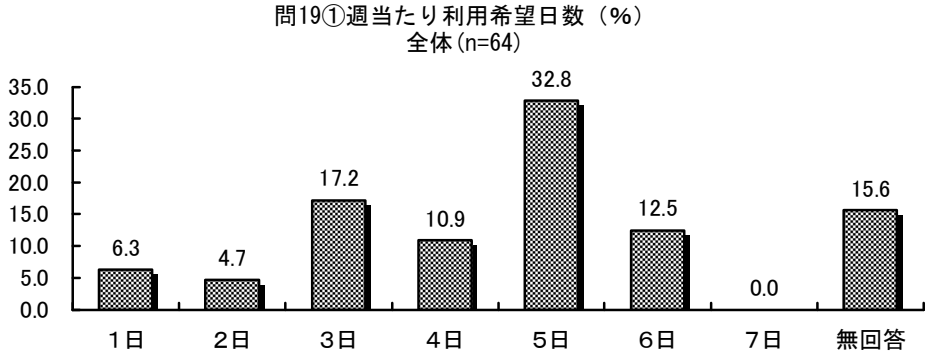


７．放課後児童クラブ利用希望内容

問 19.（問 18 で１と回答された方に）利用したい場合の日数と利用についてお答えください。
（枠内に具体的な数字を記入、○印１つ）

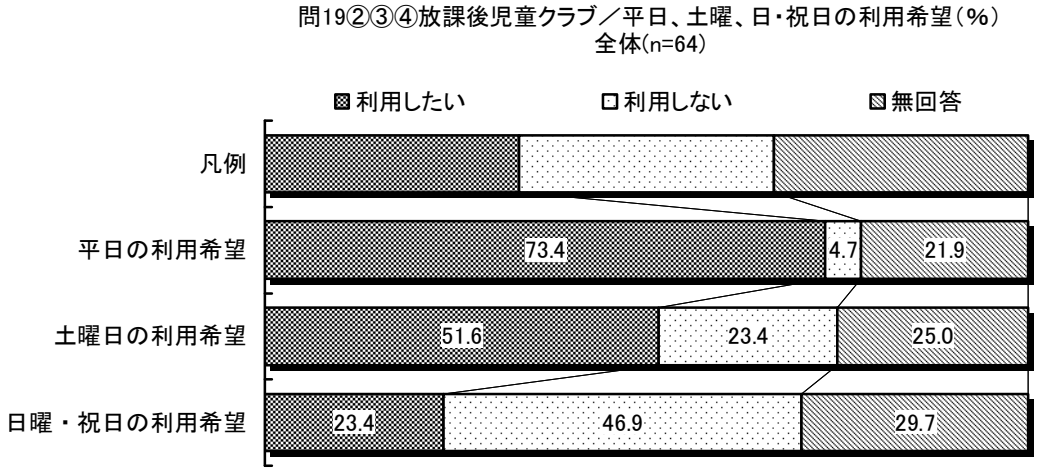
（１）週当たり利用希望日数

◇週当たり利用希望日数については、「５日」が 32.8%と最も多く、「3 日」（17.2%）がそれに続く。



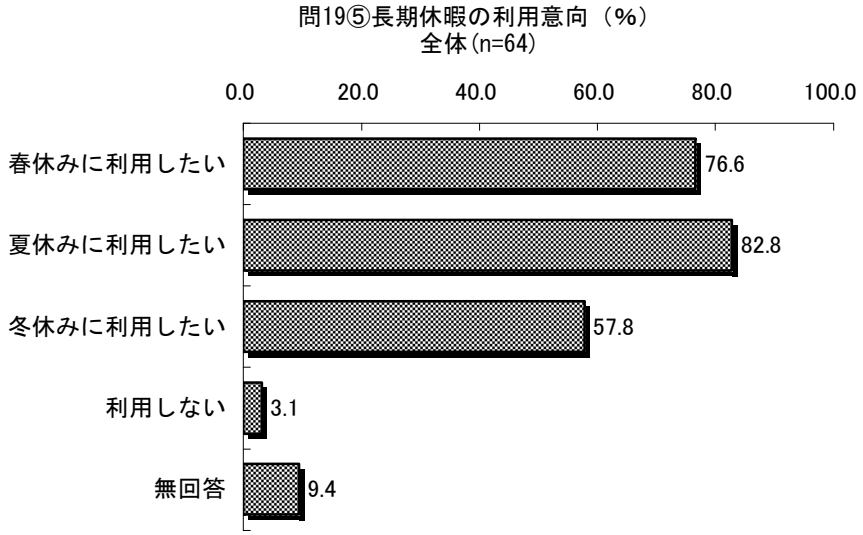
（２）平日、土曜、日・祝日の利用希望

◇平日の利用希望は 73.4%、土曜日では 51.6%、日曜・祝日では 23.4%の内訳である。



（３）長期休暇の利用意向

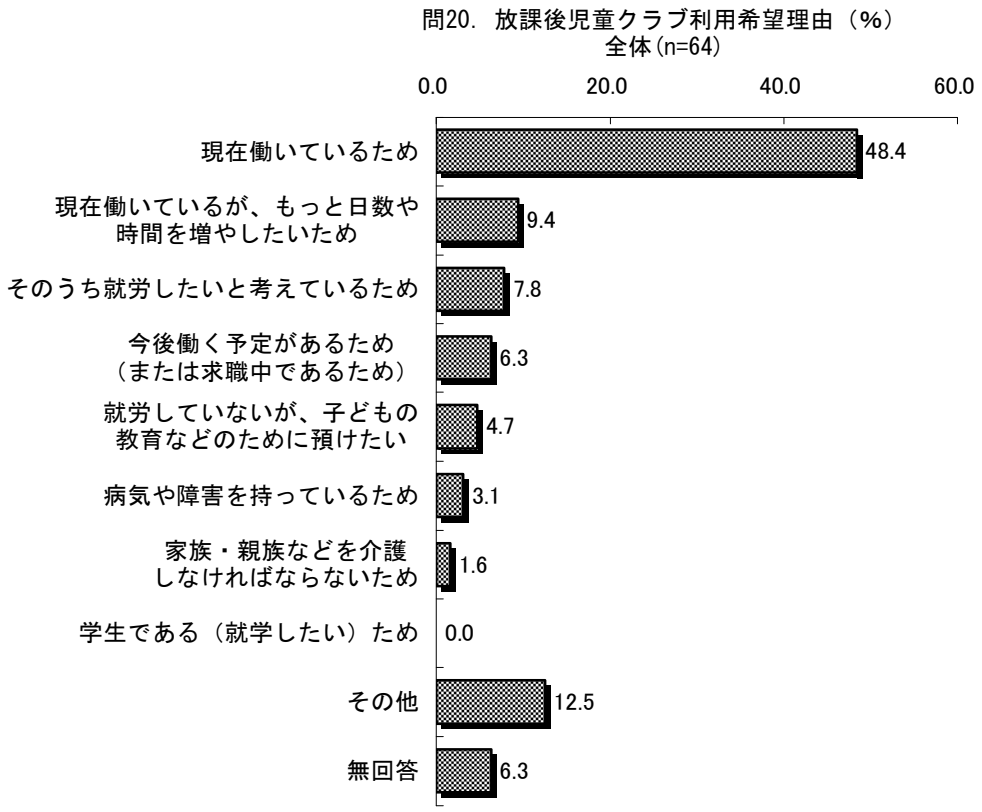
◇長期休暇の利用希望については、「夏休みに利用したい」が 82.8%と最も多く、次いで「春休みに利用したい」（76.6%）、「冬休みに利用したい」（57.8%）の順となっており、いずれの長期休暇においても希望者は多くみられる。



８．放課後児童クラブ利用希望理由

問 20.（問 18 で１と回答された方に）今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、「最も大きな理由」を１つだけお答えください。（○印１つ）

◇放課後児童クラブを利用したい理由としては「現在働いているため」が 48.4%と最も多く、次いで「現在働いているが、もっと日数や時間を増やしたいため」及び「そのうち就労したいと考えているため」がほぼ１割近くで続く。この他の理由は少ない。

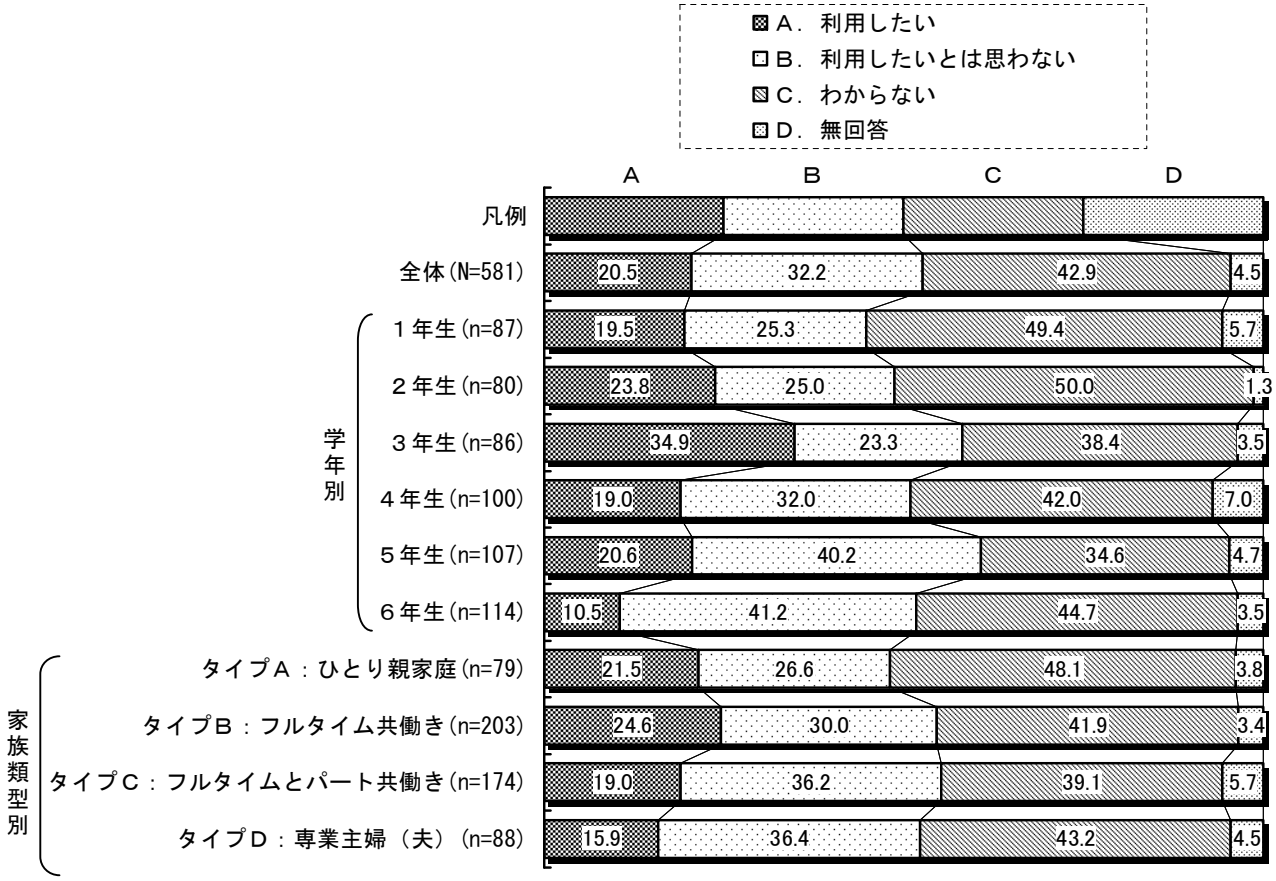


９．放課後子ども教室の利用希望

問 21．地域によっては、放課後児童クラブと連携して行うサービスとして『放課後子ども教室』がありますが、その利用意向はありますか。（○印１つ、枠内に数字を記入）

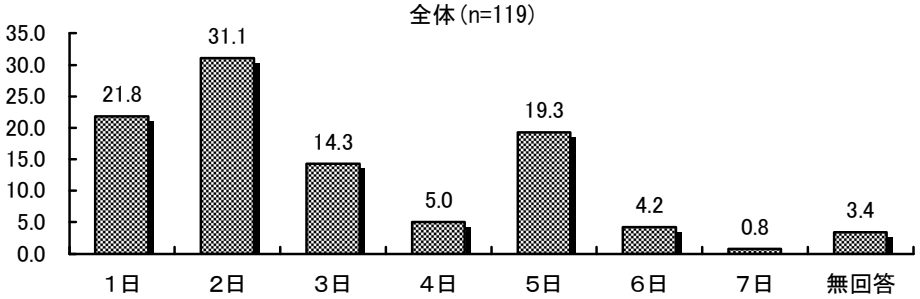
◇放課後子ども教室の利用希望については、「利用したい」が約２割（20.5%）みられる。
◇学年別でみると、「1～3 年生」で希望者が多くみられ、特に「3 年生」では最も多くなっている。高学年になるほど「利用したいと思わない」が多くなる傾向にある。
◇家族類型別では、「タイプＡ：ひとり親家庭」「タイプＢ：フルタイム共働き」で希望者が比較的多くみられる。

問21．放課後子ども教室の利用希望（%）



◇週当たり希望日数としては、「2 日」が 31.1%と最も多く、「1～3 日（合計）」で全体の７割近く（67.2%）を占めている。

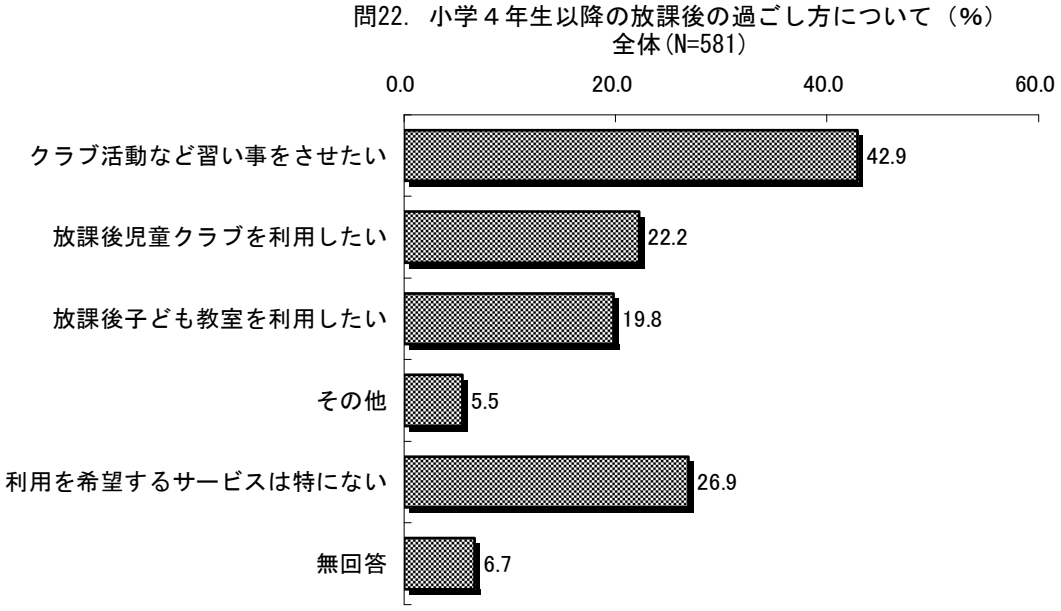
問21．週当たり利用希望日数（%）
全体(n=119)



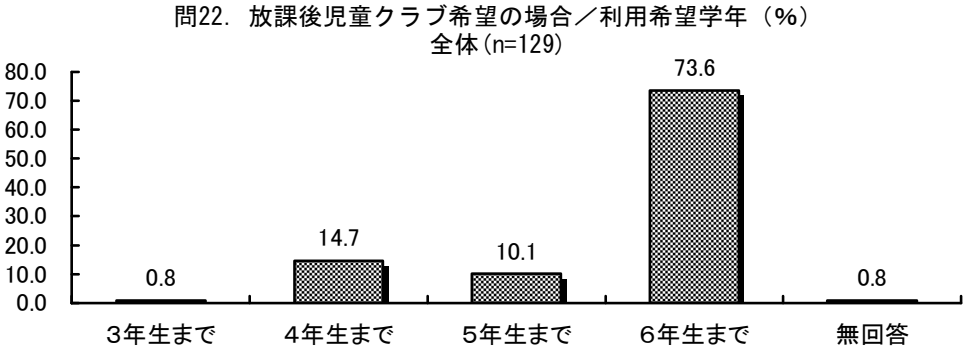
10．小学４年生以降の放課後の過ごし方について

問 22．あて名のお子さんについておうかがいします。小学４年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（○印いくつでも）

◇小学４年生以降の放課後の過ごし方については、「利用を希望するサービスは特にない」が26.9%と３割程度であることから、全体の７割程度に何らかの希望があるとみられる。希望内容は「クラブ活動など習い事をさせたい」が 42.9%と最も多く、以下「放課後児童クラブを利用したい」（22.2%）、「放課後子ども教室を利用したい」（19.8%）が続いている。



◇上記設問において「放課後児童クラブ」を利用したい場合の、利用希望学年としては、「６年生まで」が７割以上（73.6%）を占め主流となっている。



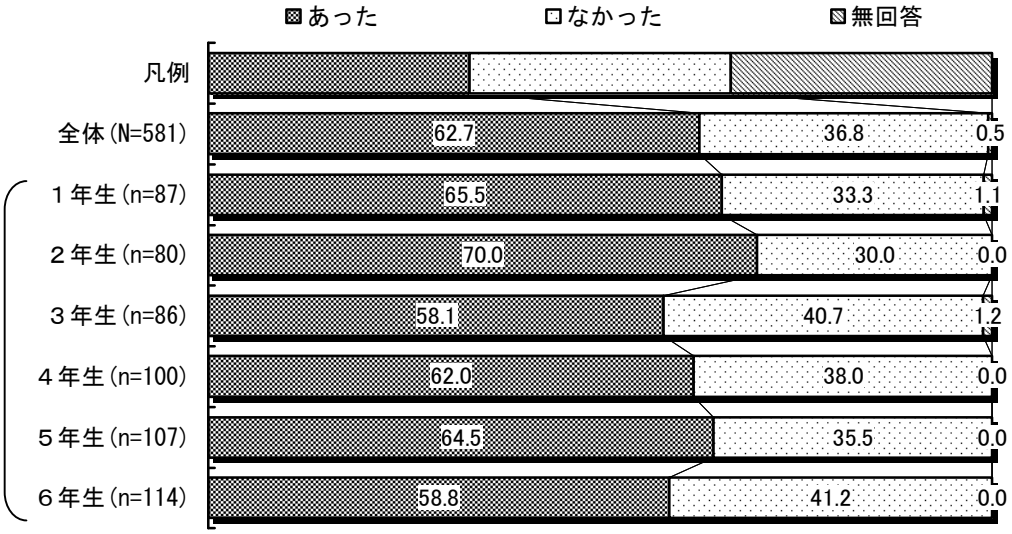
【4】病児・病後児の対応について

1．病気やケガの状況

問 23．この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。（○印１つ）

◇病気やケガで学校を休まなければならなかったことの有無については、「あった」が 62.7%、「なかった」が 36.8%の内訳となっている。低学年ほど「あった」への回答が相対的に多くみられる。

問23．病気やけがで学校を休んだことの有無（%）

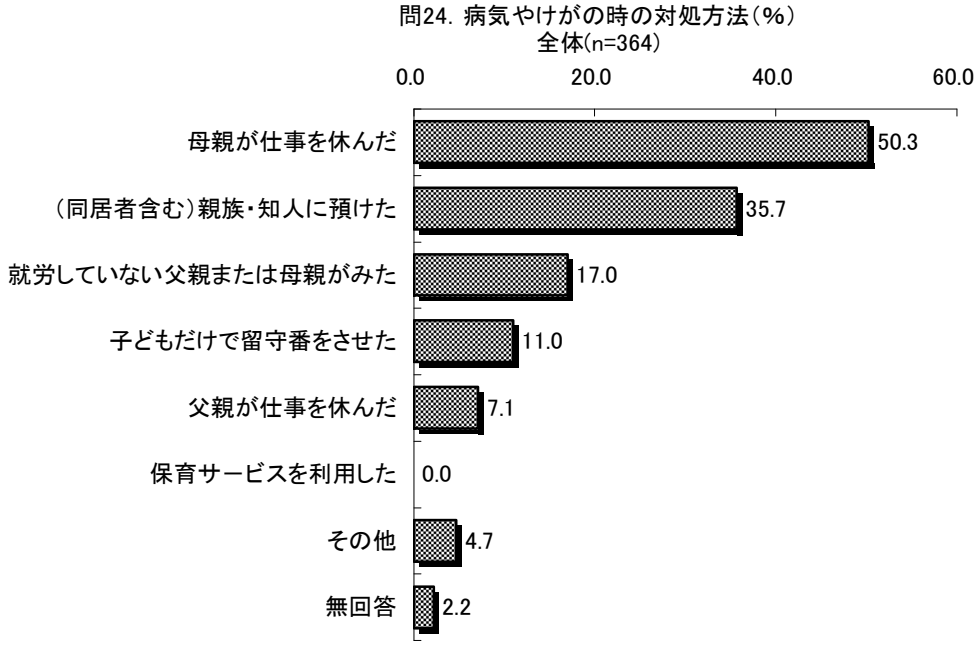


２．病気やケガの時の対処状況

問 24（問 23 で１と回答された方に）その時の①対処方法と②日数、③施設等に預けたいと思った日数についてお答えください。

（１）対処状況

◇病気やケガの時の対処状況については、「母親が仕事を休んだ」が半数（50.3%）と最も多くなっており、以下「(同居者含む）親族・知人に預けた」(35.7%)、「就労していない父親または母親がみた」（17.0%）の順となっている。



（２）対処方法別日数

◇対処方法別日数については、最も多かった「母親が仕事を休んだ」場合、最大 31 日/年で、平均は３日/年である。

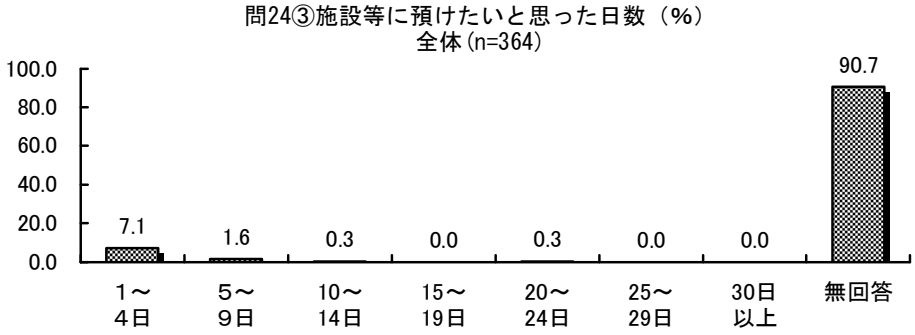
問24. 対処方法別日数（日/年）

	②その時の日数		
	最小	最大	平均
父親が仕事を休んだ(n=26)	1	10	2
母親が仕事を休んだ(n=183)	1	31	3
(同居者含む)親族・知人に預けた(n=130)	1	25	3
就労していない父親または母親がみた(n=62)	1	10	4
保育サービスを利用した(n=0)	－	－	－
子どもだけで留守番をさせた(n=40)	2	7	2
その他(n=17)	1	5	2

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

（３）施設等に預けたいと思った日数

◇施設に預けたいと思った日数については、「1～4 日」が 7.1％みられるが、それ以上の日数についてはそれぞれ少ない。（この場合の「無回答」には、設問内容からみて「預ける必要がなかった」という意見が多数含まれていると推察される。）

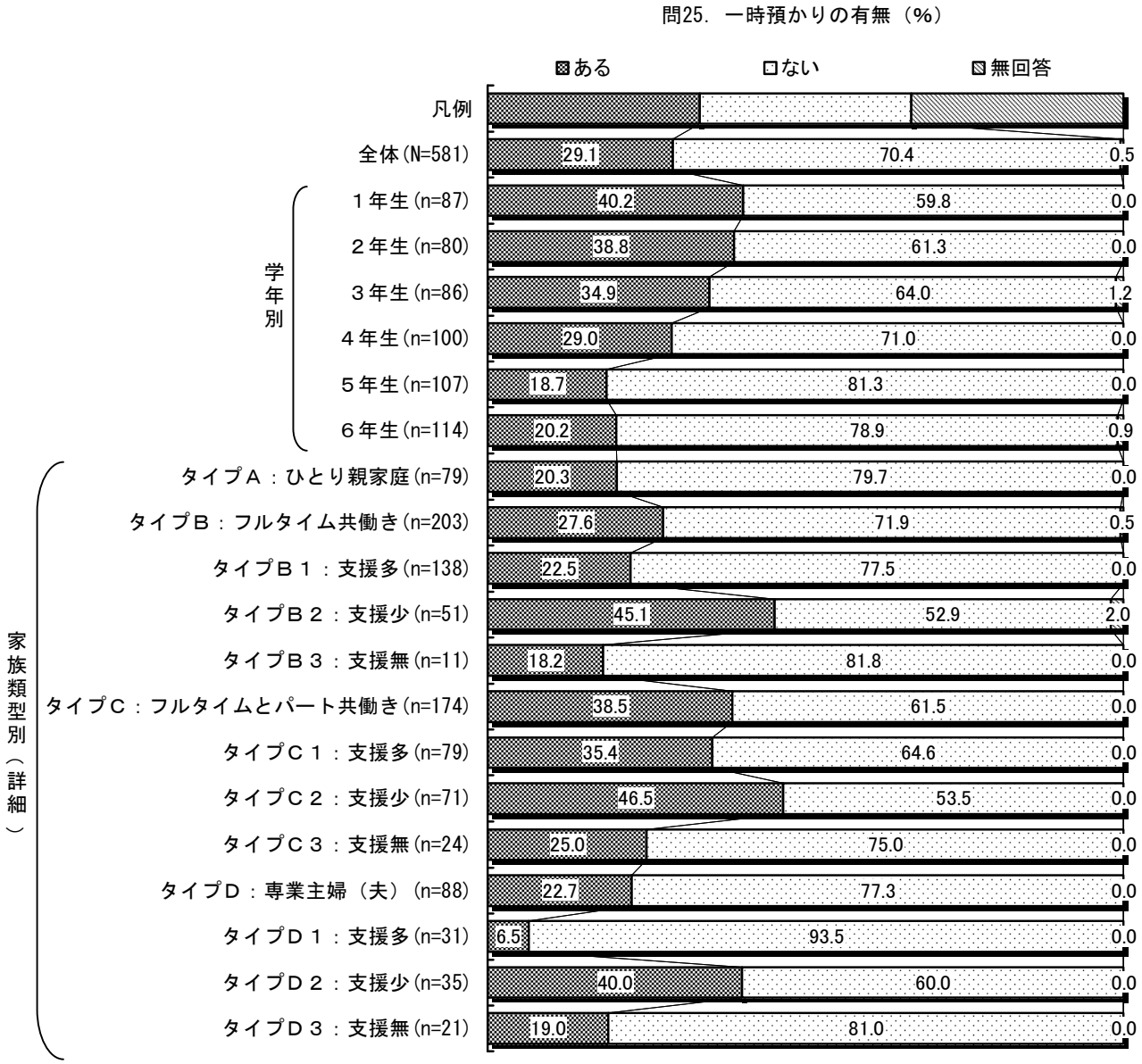


【5】一時預かりについて

1．一時預かりの有無

問 25．この１年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを同居のご家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

◇一時預かりについては、「ある」が 29.1%、「ない」が 70.4%の内訳となっている。
◇低学年ほど「ある」が多い傾向にある。
◇家族類型別では、「タイプB：フルタイム共働き」「タイプC：フルタイムとパート共働き」「タイプD：専業主婦（夫）」のうち「支援少」で「ある」が多くみられる。

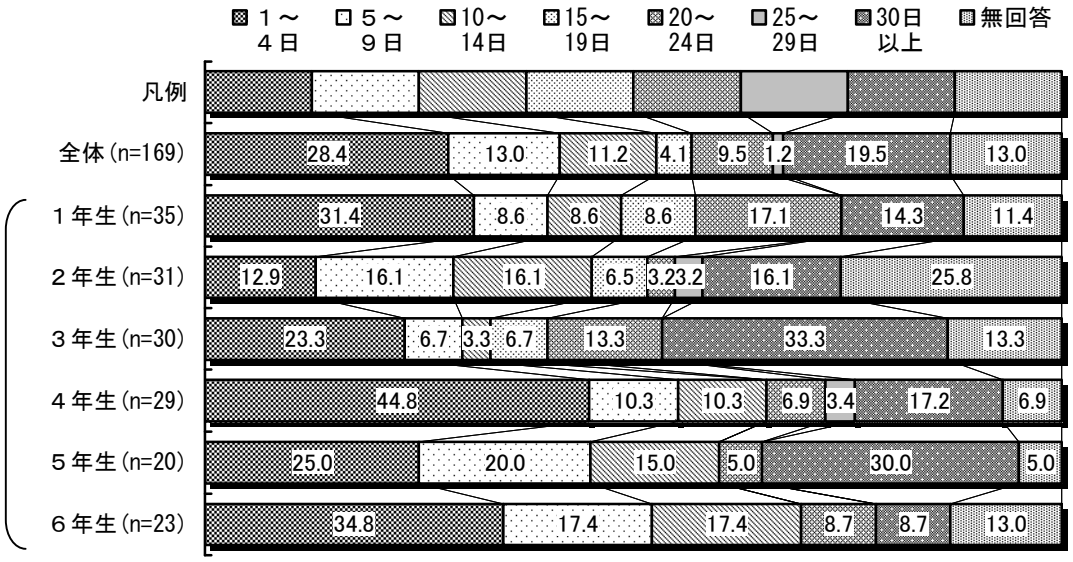


2．一時預かり（年間）日数

◇一時預かり経験者における（年間）日数については、「1～4 日」が３割近く（28.4%）と最も多く、次いで「30 日以上」（19.5%）、「5～9 日」（13.0%）の順で、平均は約 24 日であった。

◇児童の学年が「3 年生」において、他の学年に比べ日数が比較的短い。

問25. 一時預かり（年間）日数（%）

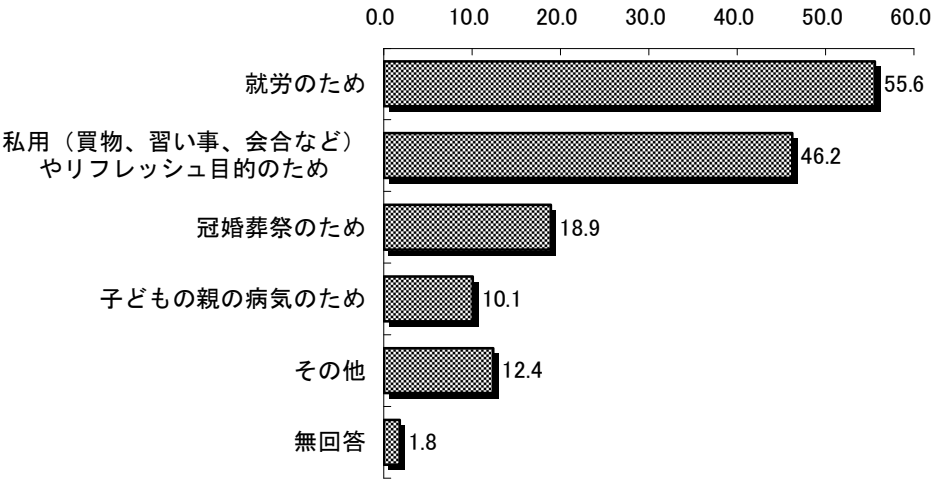


3．一時預かりの理由

問 26（問 25 で１と回答された方に）それは、どのような理由でしたか。また、その時の日数をお答え下さい。（○印いくつでも）

◇一時預かり経験者におけるその理由については、「就労のため」が 55.6%と最も多く、以下「私用（買物、習い事、会合など）やリフレッシュ目的のため」（46.2%）、「冠婚葬祭のため」（18.9%）などが続く。

問26. 一時預けた理由（%）
全体(n=169)



◇理由別に日数をみると、最も回答が多かった「就労のため」の場合、最大で 300 日、平均は 27 日/年、「私用やリフレッシュ目的のため」の場合、最大で 108 日/年、平均は 8 日/年、「冠婚葬祭のため」では平均 3 日/年などとなっている。

問26. 一時預かり理由別日数（日/年）

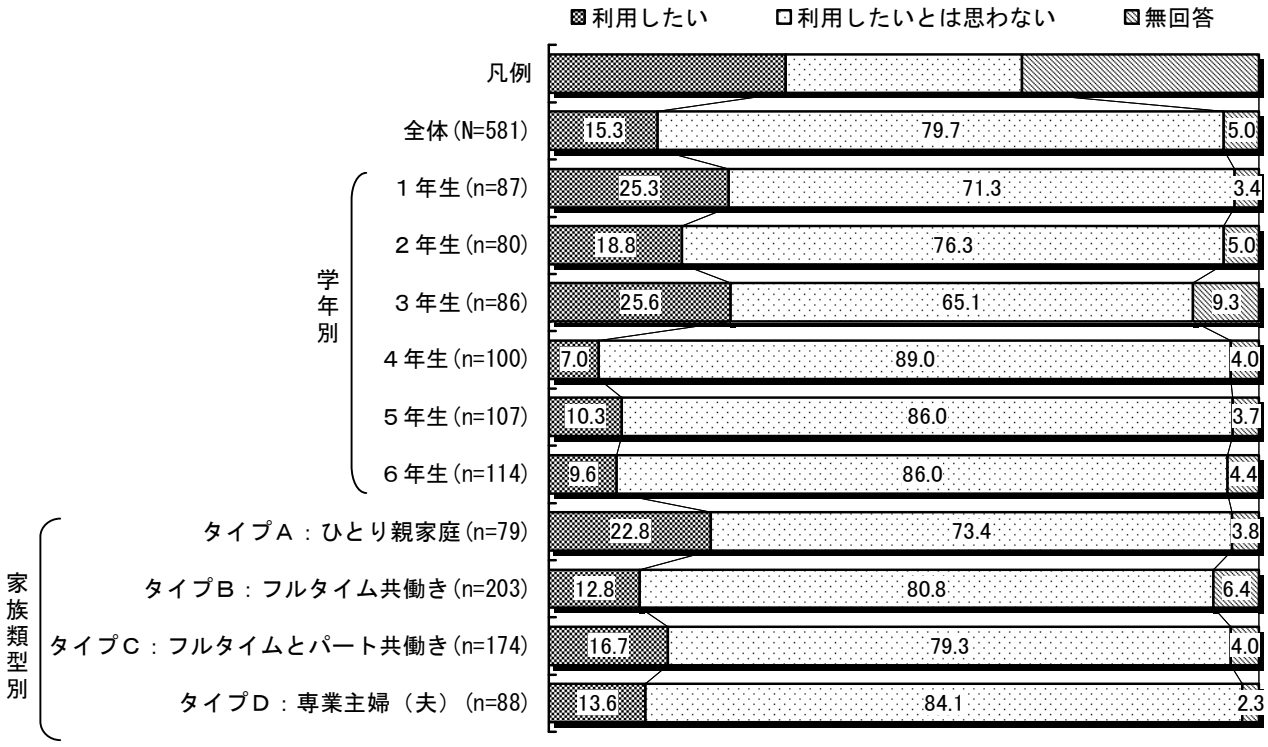
	その時の日数		
	最小	最大	平均
私用やリフレッシュ目的のため(n=78)	1	108	8
冠婚葬祭のため(n=32)	1	18	3
子どもの親の病気のため(n=17)	1	15	4
就労のため(n=94)	1	300	27
その他(n=21)	1	72	12

4．今後の一時預かり希望

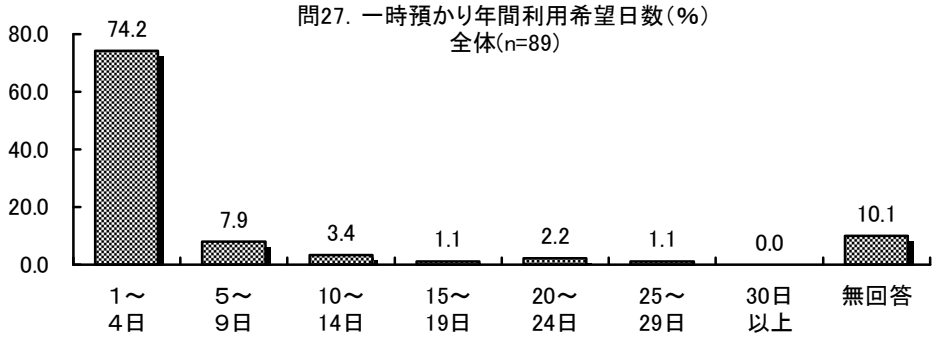
問 27．一時預かりについて、今後、利用したいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

◇今後の一時預かりの希望については、「利用したい」が 15.3%、「利用しない」が 79.7%の内訳となっている。
◇利用希望は、1～3 年生で多くなっている。
◇家族類型別では「タイプＡ：ひとり親家庭」において、他の属性に比べやや多くみられる。

問27. 今後の一時預かり希望（%）



◇今後の一時預かり希望者における年間利用希望日数については、「1～4 日」が最も多くみられる。

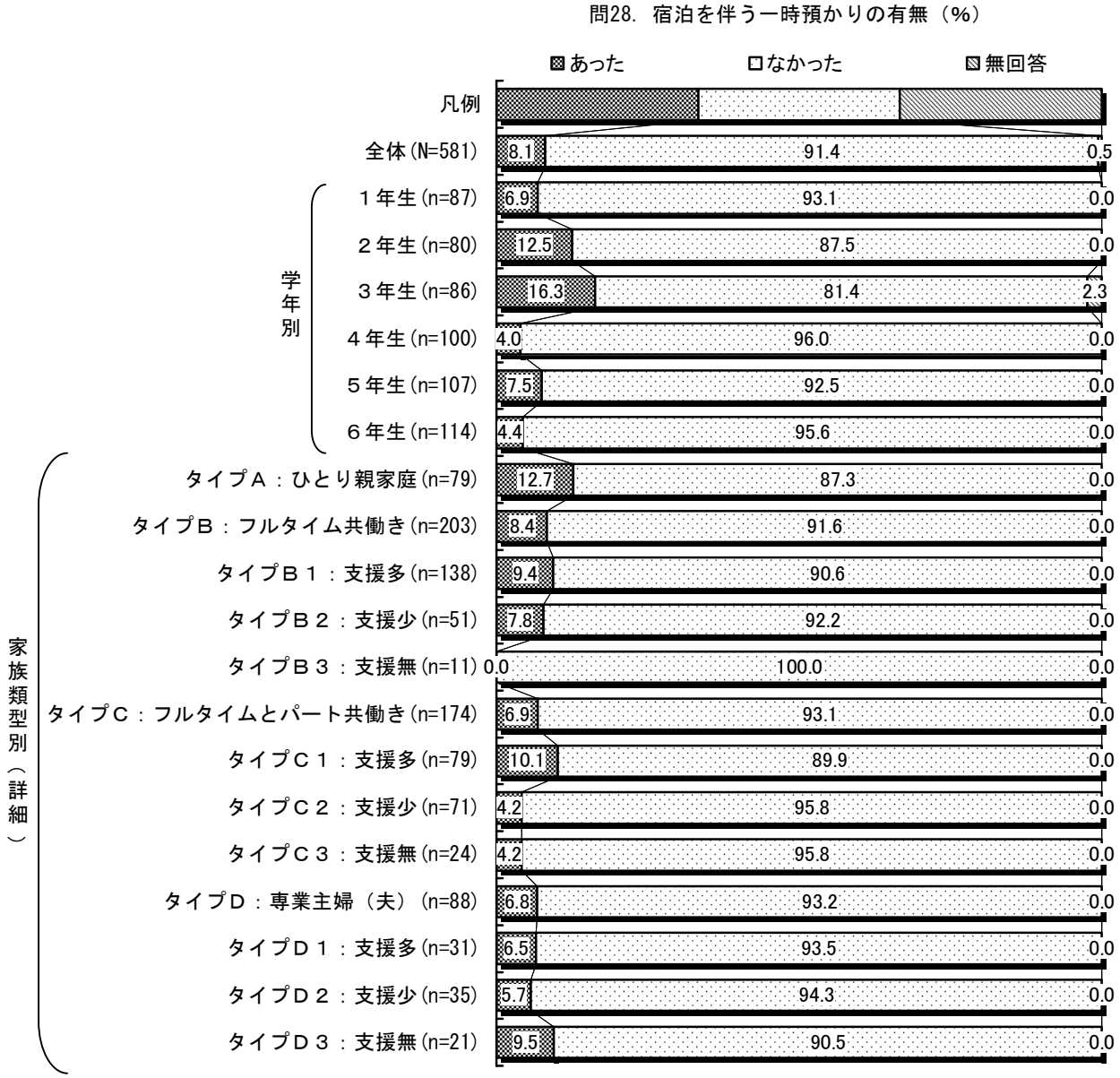


【6】宿泊を伴う一時預かりについて

1．宿泊を伴う一時預かりの有無

問 28．この１年間に、保護者の緊急な用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで同居のご家族以外に預けなければならないことはありましたか。（○印１つ）

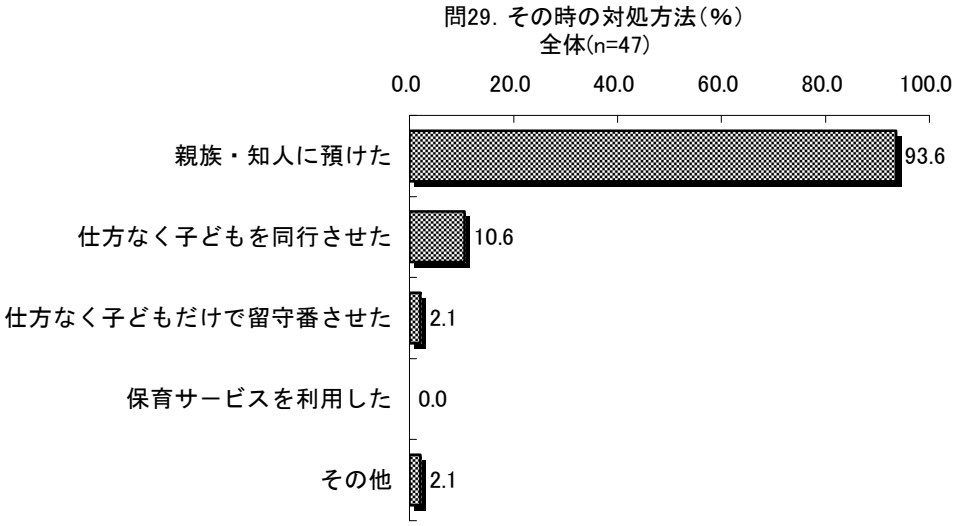
◇宿泊を伴う一時預かりの有無については、「ある」が 8.1%、「ない」が 91.4%の内訳である。
◇「1～3 年生」で「ある」が多くみられ、特に「3 年生」で比較的多い。また「タイプＡ：ひとり親家庭」で比較的多くみられる。



2．その時の対処方法

問 29（問 28 で１と回答された方に）その時の①対処方法と②宿泊日数、③その時の困難度、についてお答えください。

◇宿泊を伴う一時預かり時の対処方法については、「親族・知人に預けた」が 93.6%と、これに特化している。



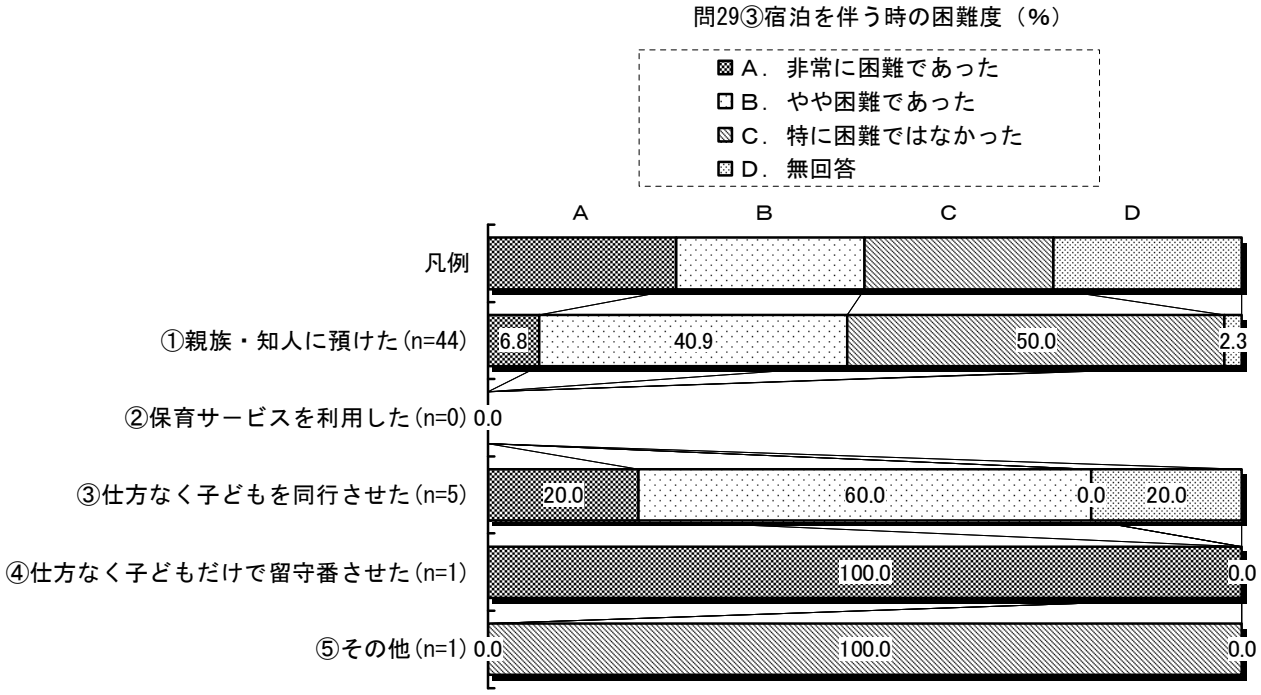
◇対処方法別の日数については、最も多かった「親族・知人に預けた」場合、「1～10 日/年」で、平均は３日/年となっている。

問29. 対処方法別日数（日/年）

	②その時の宿泊日数		
	最小	最大	平均
親族・知人に預けた(n=44)	1	10	3
保育サービスを利用した(n=0)	–	–	–
仕方なく子どもを同行させた(n=5)	1	2	1
仕方なく子どもだけで留守番させた(n=1)	1	1	1
その他(n=1)	10	10	10

（注）基数(n=)が少ない項目（目安として n=10 未満）については、参考値として参照してください。

◇宿泊の困難度については、最も多かった「親族・知人に預けた」場合、「特に困難ではなかった」が半数（50.0%）を占めるが、「非常に困難であった」（6.8%）、「やや困難であった」（40.9%）の合計 47.7%が困難さを意識している。

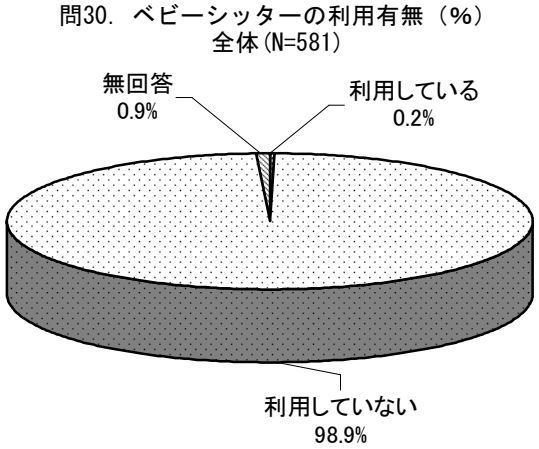


【7】ベビーシッターについて

1．ベビーシッターの利用有無

問 30．ベビーシッターを利用していますか。（○印１つ）

◇ベビーシッターについては 0.2%（1 件）の利用であった。。



2．ベビーシッター利用目的

問 31．（問 30 で１の方に）どのような目的でベビーシッターを利用していますか。（○印１つ）

◇ベビーシッター利用者（1 件）においては「保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）」への回答があった。

3．ベビーシッター状況

問 32．（問 30 で１の方に）どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

◇ベビーシッター利用者（1 件）においては、月当たり「4 日」、1 回当たり「1 時間」という回答であった。

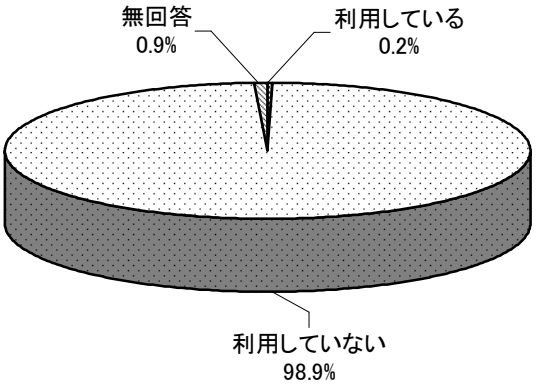
【8】ファミリーサポート事業について

1．ファミリーサポート事業利用有無

問 33．ファミリーサポート事業を利用していますか。（○印１つ）

◇ファミリーサポート事業利用者は 0.2%（1 件）みられた。

問33. ファミリーサポート事業利用有無（%）
全体(N=581)



2．ファミリーサポート事業利用状況

問 34.（問 33 で１と回答された方に）どのような目的でファミリーサポート事業を利用していますか。（○印いくつでも） 問 35.（問 33 で１と回答された方に）どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。 問 36.（問 33 で１と回答された方に）利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

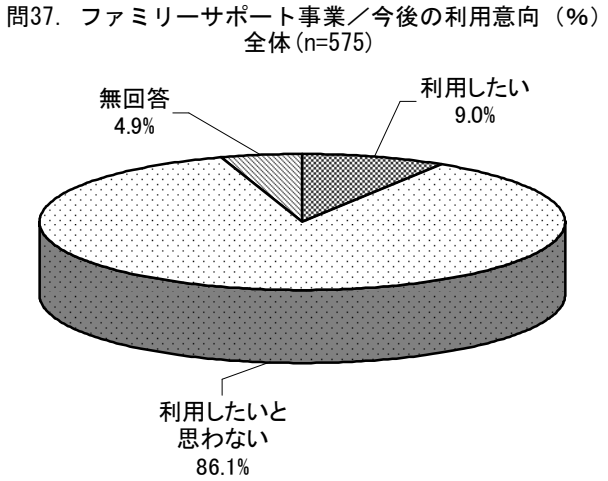
◇ファミリーサポート事業利用者 1 件における、利用目的については「放課後児童クラブ等の利用で足りない時間を補う目的で利用している」「放課後児童クラブ等の送り迎えに利用している」への回答がそれぞれ 1 件ずつみられた。

◇利用頻度については「無回答」、利用日数・回数を増やしたいかどうかについては「現状のままでよい」との回答であった。

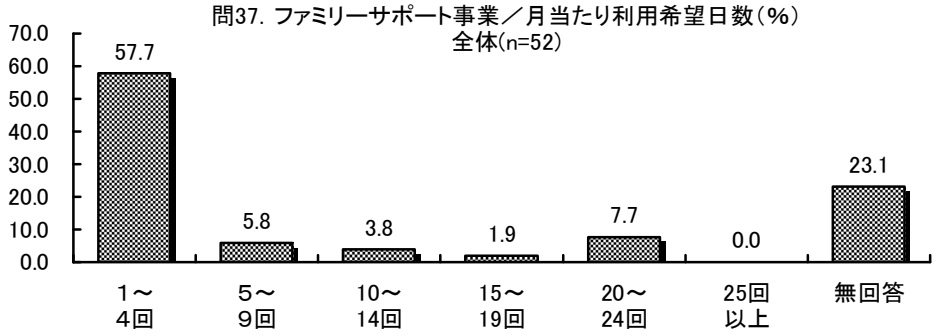
３．ファミリーサポート事業利用希望

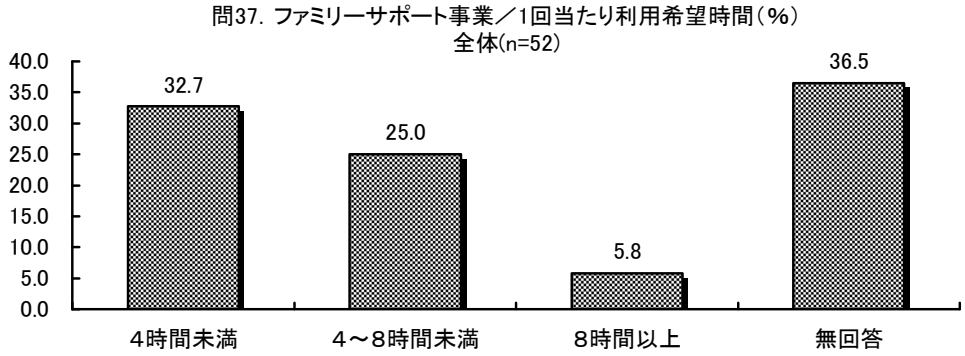
問 37.（問 33 で２と回答された方に）ファミリーサポート事業を今後、利用したいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

◇ファミリーサポート事業の利用希望については、「利用したい」が 9.0%みられた。



◇ファミリーサポート事業利用希望者における利用希望回数は、「1～4 回」に特化している。1 回当たり利用希望時間は、「4 時間未満」（32.7%）が最も多く、「4～8 時間未満」（25.0%）が次いで多くなっている。（この場合の「無回答」は、設問内容からみて「利用希望が無い（利用に関心が低い）」と推察される。）





【9】子育て支援サービスについて

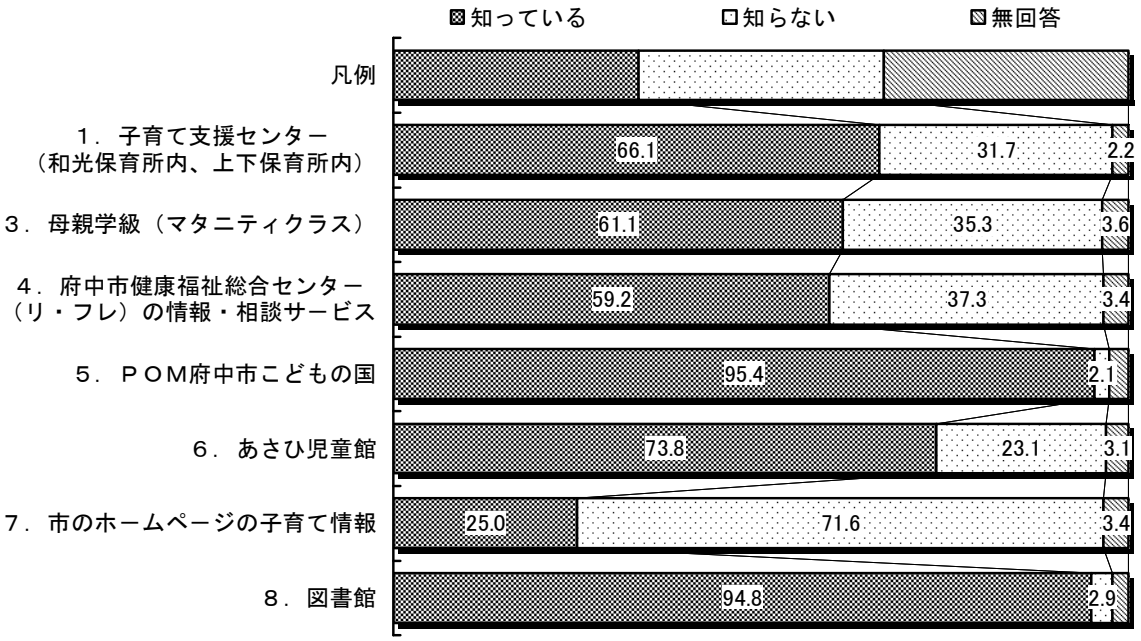
1．子育て支援サービスの認知・利用・利用意向

問 38．次にあげるサービスについて①ご存知ですか。また、②これまでに利用したことがありますか。さらに、③今後利用したいと思いますか。（○印１つずつ）

（1）子育て支援サービスの認知状況

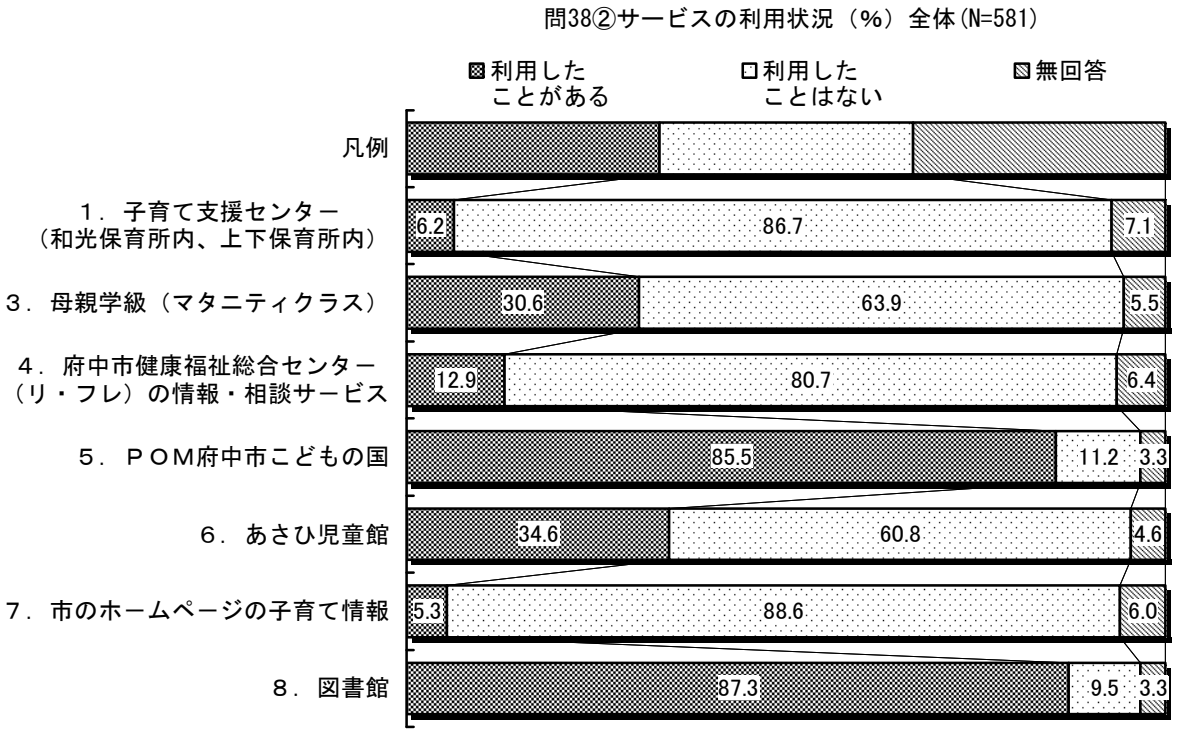
◇子育て支援サービスの認知については、「5．ＰＯＭ府中市こどもの国」（95.4%）、「8．図書館」（94.8%）はいずれも大半に認知されている。「7．市のホームページの子育て情報」については 25.0%の認知と相対的に低い。

問38①サービスの認知状況（%）全体(N=581)



（２）子育て支援サービスの利用状況

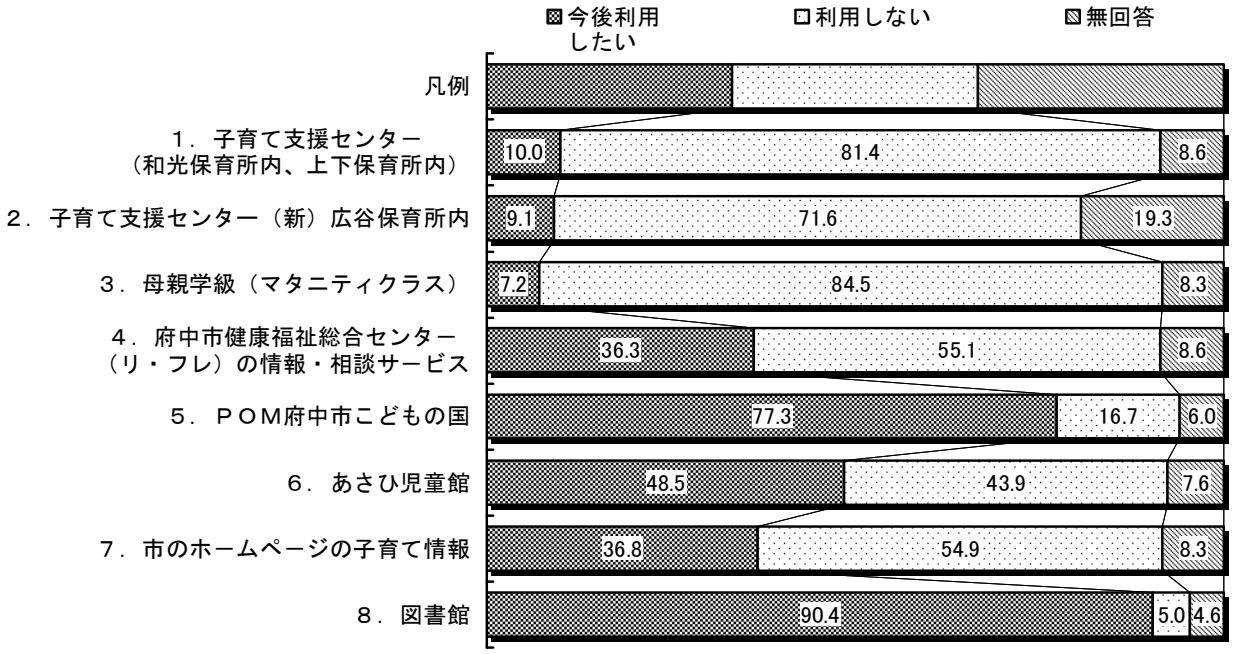
◇子育て支援サービスの利用状況については、最も認知率が高かった「５．ＰＯＭ府中市こどもの国」で 85.5%、「８．図書館」で 87.3%と利用も多い。次いで「６．あさひ児童館」（34.6%）、「３．母親学級（マタニティクラス）」（30.6%）が続き、「７．市のホームページの子育て情報」については１割以下の利用となっている。



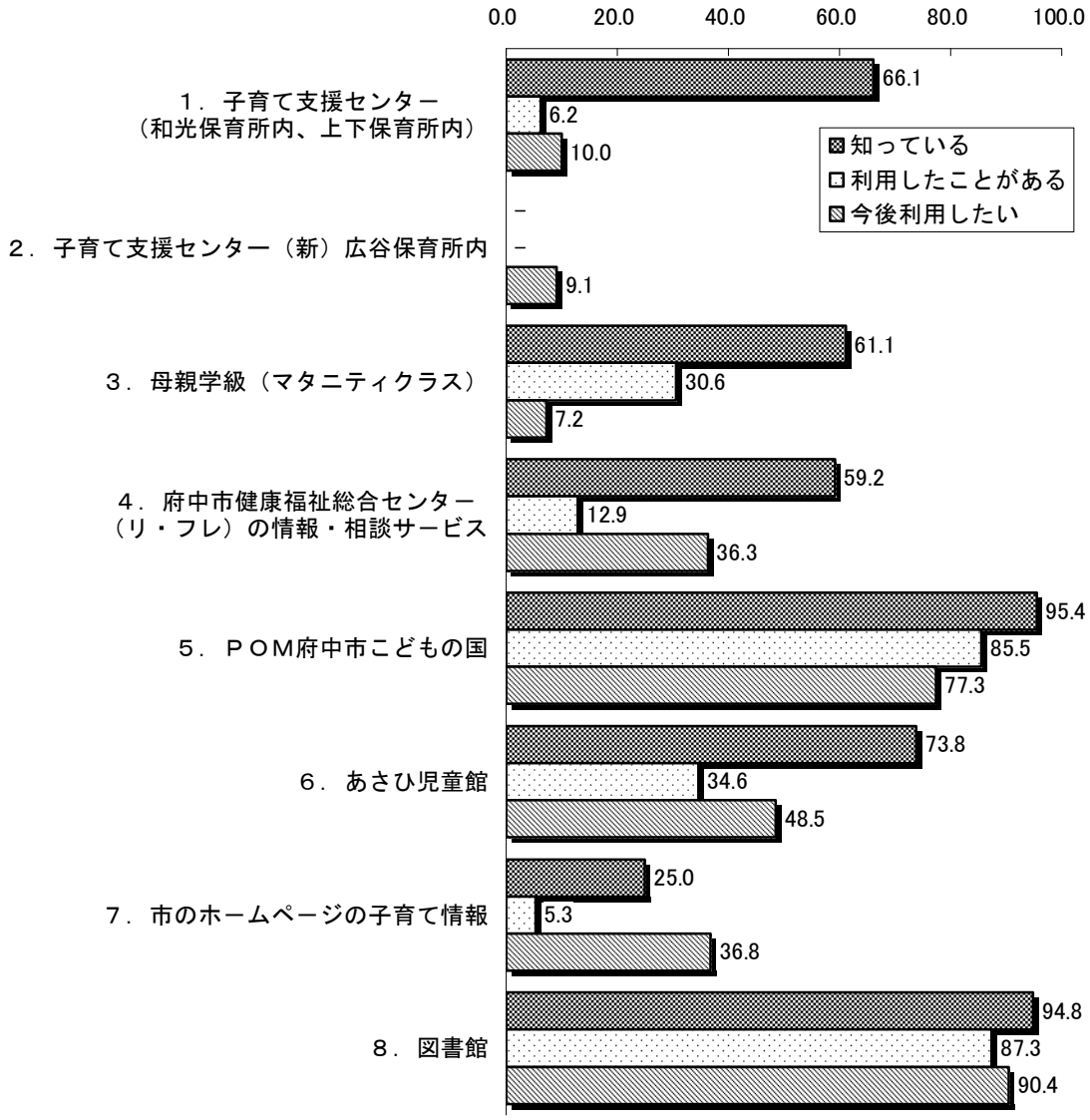
（３）子育て支援サービスの利用意向

◇子育て支援サービスの利用意向については、最も認知率が高かった「５．ＰＯＭ府中市こどもの国」で 77.3%、「８．図書館」で 90.4%といずれも利用意向は多くみられる。次いで「６．あさひ児童館」（48.5%）が続き、認知、利用ともに少なかった「７．市のホームページの子育て情報」については 36.8%の利用意向がみられた。また「２．子育て支援センター（新）広谷保育所内」は 9.1%の意向であった。

問38③サービスの利用意向（%）全体(N=581)



再掲／問38①サービスの認知・利用・利用意向（%）全体(N=581)



【10】子育てをめぐる悩みや不安感等について

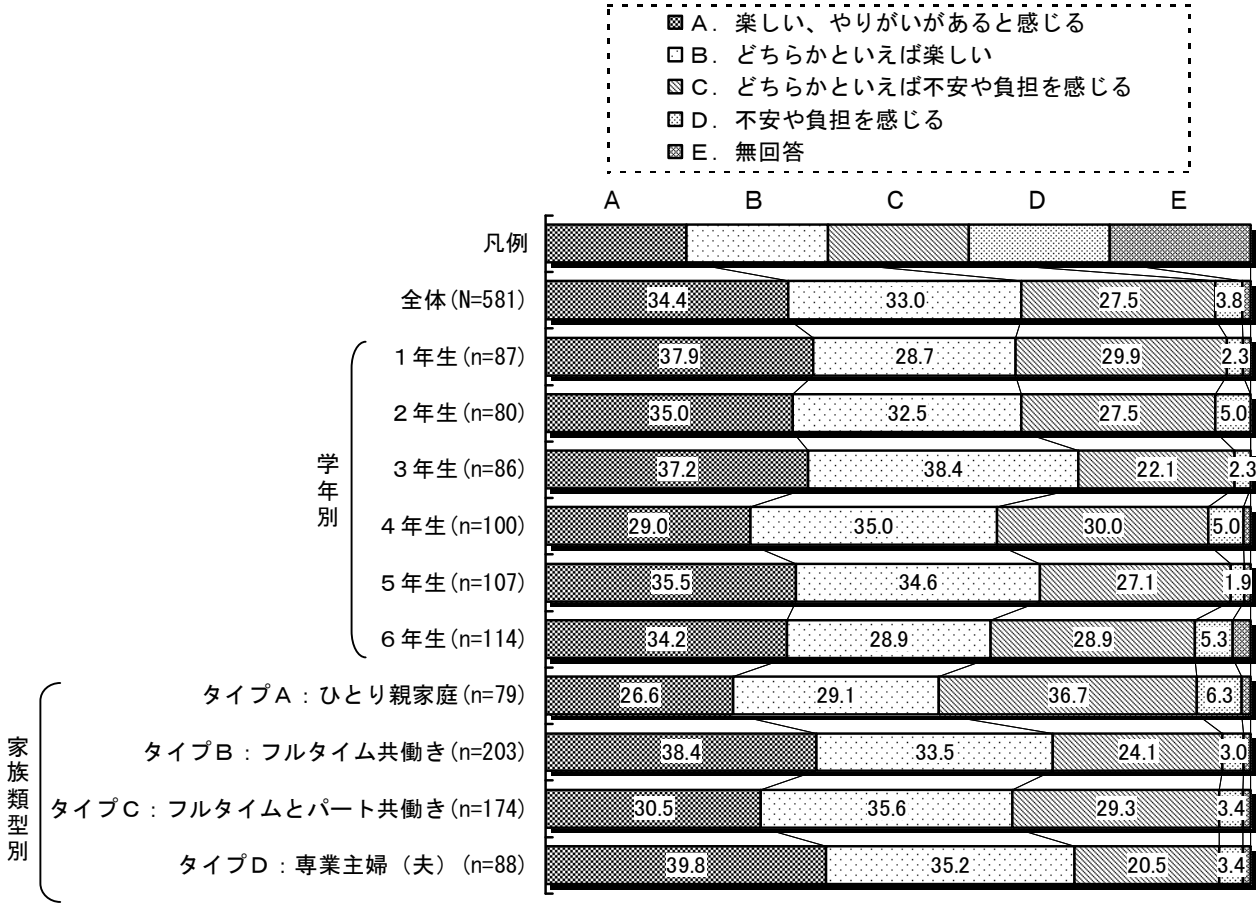
1．子育てについての意識

問 39．子育てに関してどのようにお感じですか。（○印１つ）

◇子育てについての意識については、「楽しい、やりがいがあると感じる」が 34.4%、「どちらかといえば楽しい」が 33.0%で、両者合計して７割近く（67.4%）を占めている。

◇特に、児童の学年が高学年ほど、また「タイプＡ：ひとり親家庭」において「どちらかといえば不安や負担を感じる」が、他の層に比べ多くみられる。

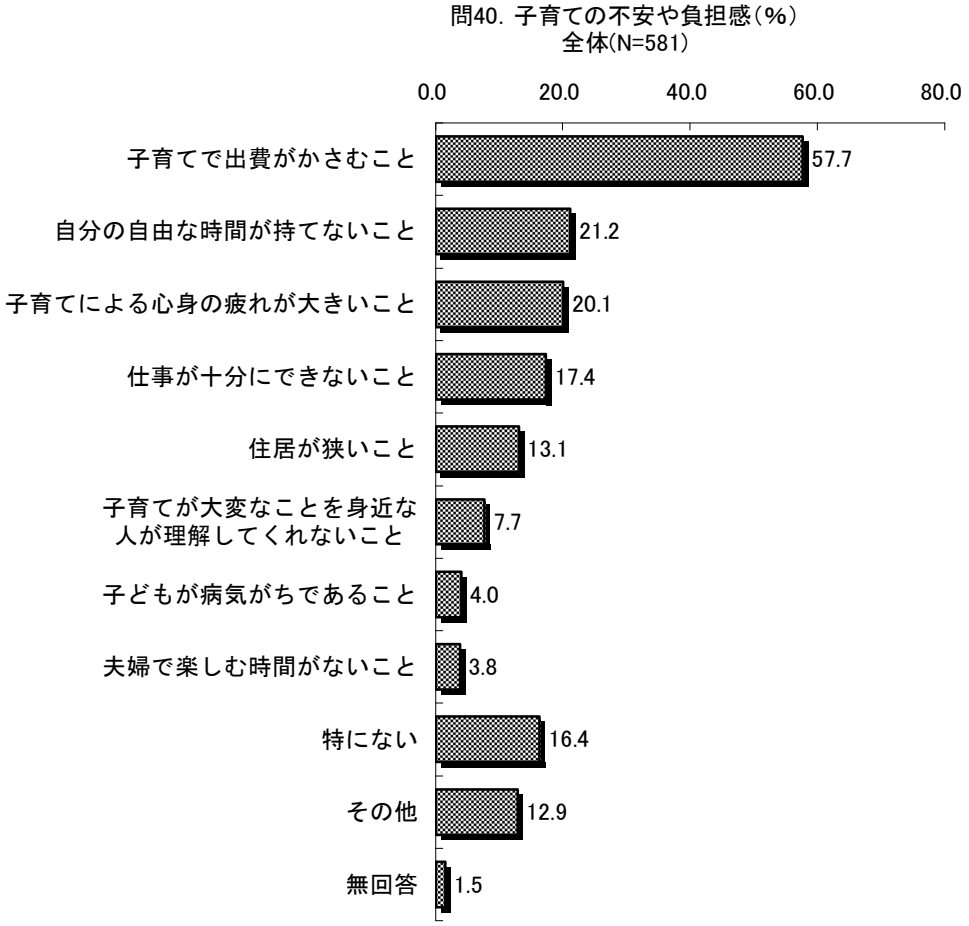
問39．子育てについての意識（%）



2．子育ての不安や負担感

問 40．子育てをする上で、特に不安や負担に感じていることや悩んでいることがありますか。（○印いくつでも）

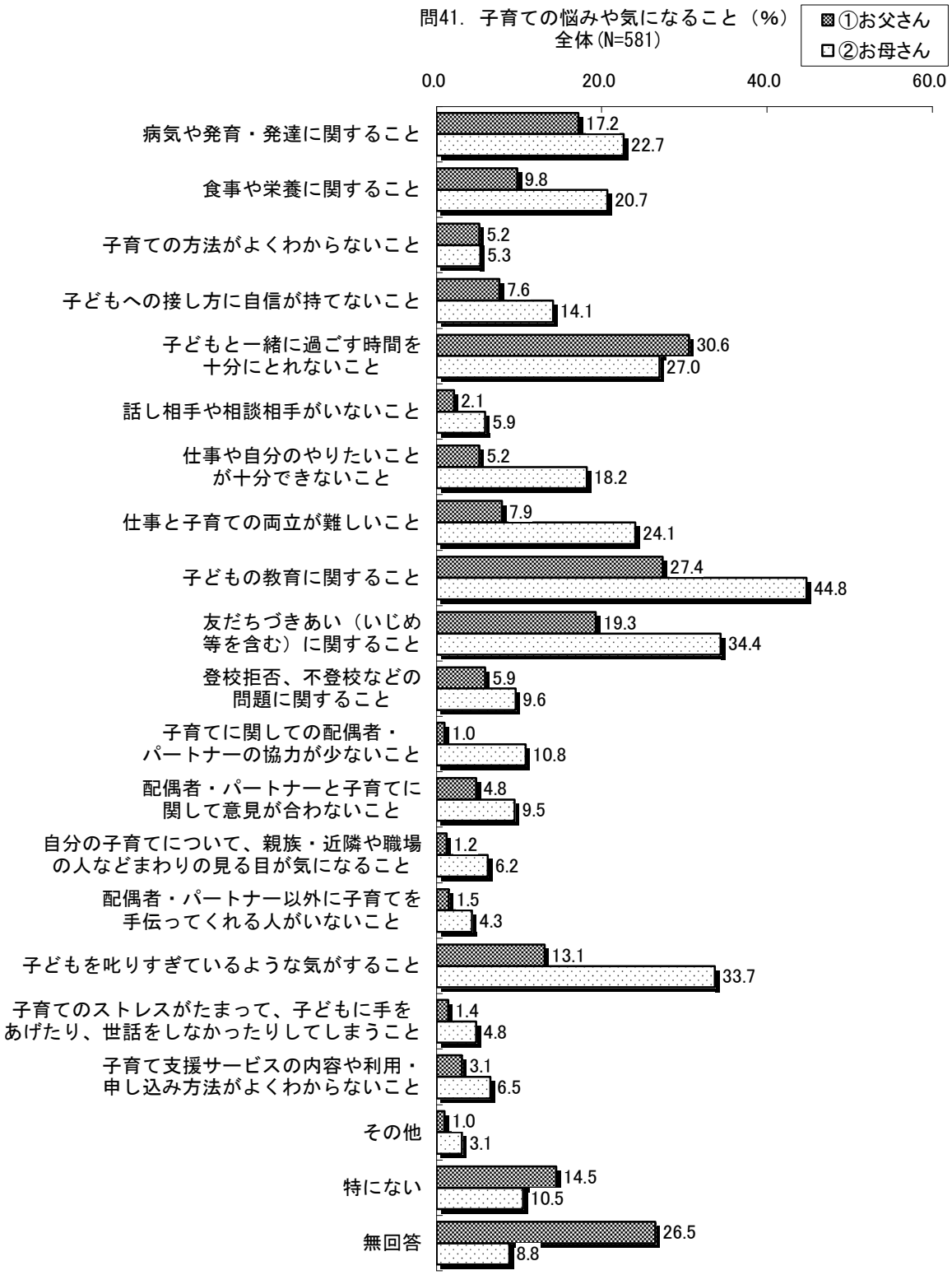
◇子育ての不安や負担感については、「特にない」が 16.4％であることから、多くの保護者に何らかの不安や負担感があるとみられる。不安や負担感は「子育てで出費がかさむこと」が 57.7％と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てないこと」（21.1％）、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」（20.1％）、「仕事が十分にできないこと」（17.4％）などの順となっている。



３．子育ての悩みや気になること

問 41．子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

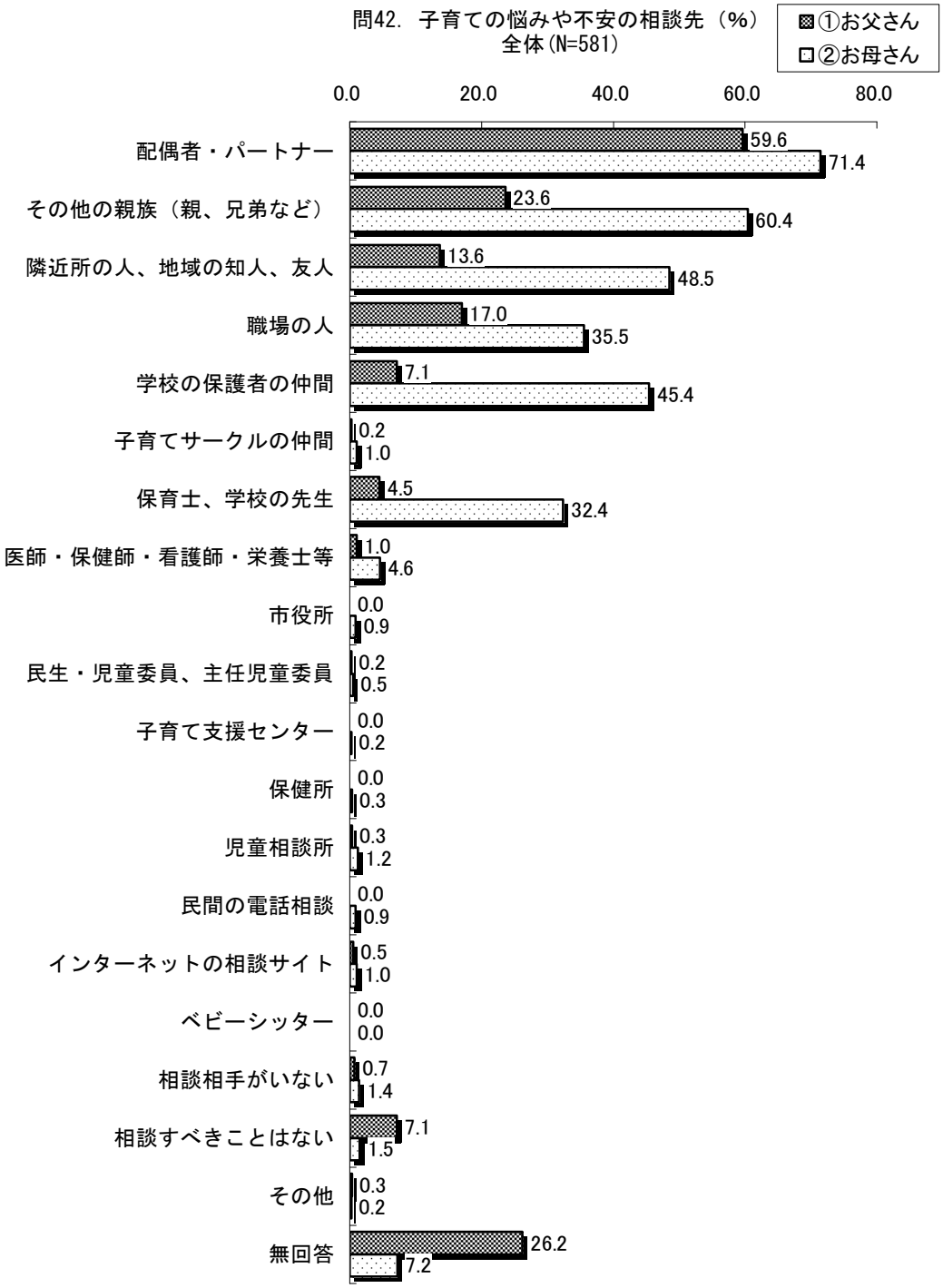
◇子育ての悩みや気になることについては、父親の場合「子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれないこと」（30.6%）、「子どもの教育に関すること」（27.4%）、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」（19.3%）などの順となっている。一方、母親については、「子どもの教育に関すること」（44.8%）、「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」（34.4%）、「子どもを叱りすぎているような気がすること」（33.7%）、「子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれないこと」（27.0%）などの順となっている。


問41. 子育ての悩みや気になること（%）
全体(N=581)
①お父さん
②お母さん
0.0
20.0
40.0
60.0
病気や発育・発達に関すること
17.2
22.7
食事や栄養に関すること
9.8
20.7
子育ての方法がよくわからないこと
5.2
5.3
子どもへの接し方に自信が持てないこと
7.6
14.1
子どもと一緒に過ごす時間を十分にとれないこと
30.6
27.0
話し相手や相談相手がいないこと
2.1
5.9
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
5.2
18.2
仕事と子育ての両立が難しいこと
7.9
24.1
子どもの教育に関すること
27.4
44.8
友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
19.3
34.4
登校拒否、不登校などの問題に関すること
5.9
9.6
子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が少ないこと
1.0
10.8
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
4.8
9.5
自分の子育てについて、親族・近隣や職場の人などまわりの見る目が気になること
1.2
6.2
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
1.5
4.3
子どもを叱りすぎているような気がすること
13.1
33.7
子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
1.4
4.8
子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
3.1
6.5
その他
1.0
3.1
特にない
14.5
10.5
無回答
26.5
8.8

４．子育ての悩みや不安の相談先

問 42．身近で、子育てに関する悩みや不安をどなた（どこ）に相談していますか。お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

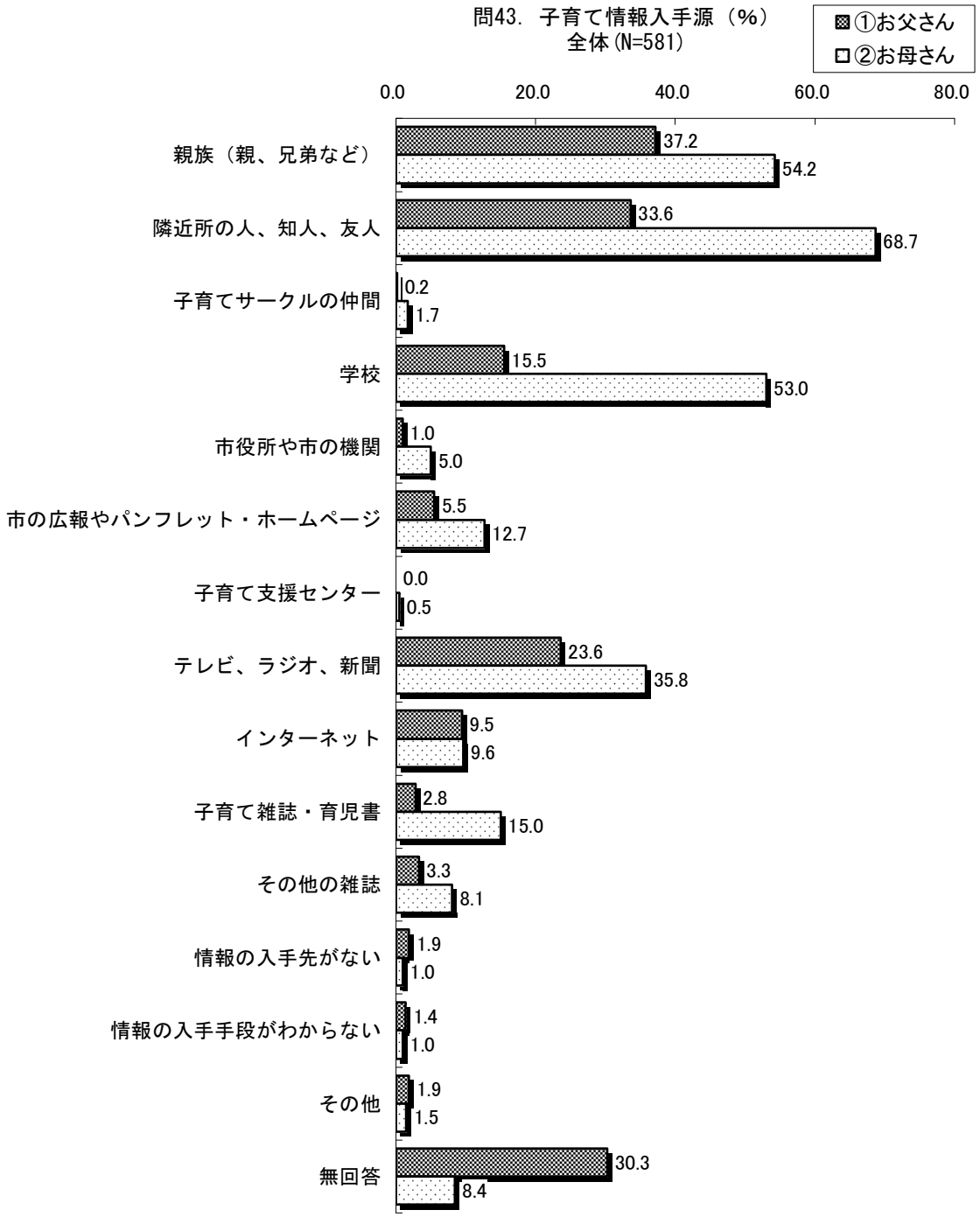
◇子育ての悩みや不安の相談先については、父親、母親ともに「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、兄弟など）」が上位にあがっている。次いで父親では「職場の人」、母親では「隣近所の人、地域の知人、友人」「学校の保護者の仲間」が続き、母親の方が多岐にわたる。



5．子育て情報入手源

問 43．日ごろ、子育てに関する情報をどのように入手されていますか。お父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれいくつでも）

◇子育て情報の入手源については、父親の場合、「親族（親、兄弟など）」（37.2%）、「隣近所の人、知人、友人」（33.6%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（23.6%）、「学校」（15.5%）などの順となっている。一方、母親については、「隣近所の人、知人、友人」（68.7%）、「親族（親、兄弟など）」（54.2%）、「学校」（53.0%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（35.8%）、「子育て雑誌・育児書」（15.0%）などの順となっており、全体的に父親の割合を上回る項目が目立つ。

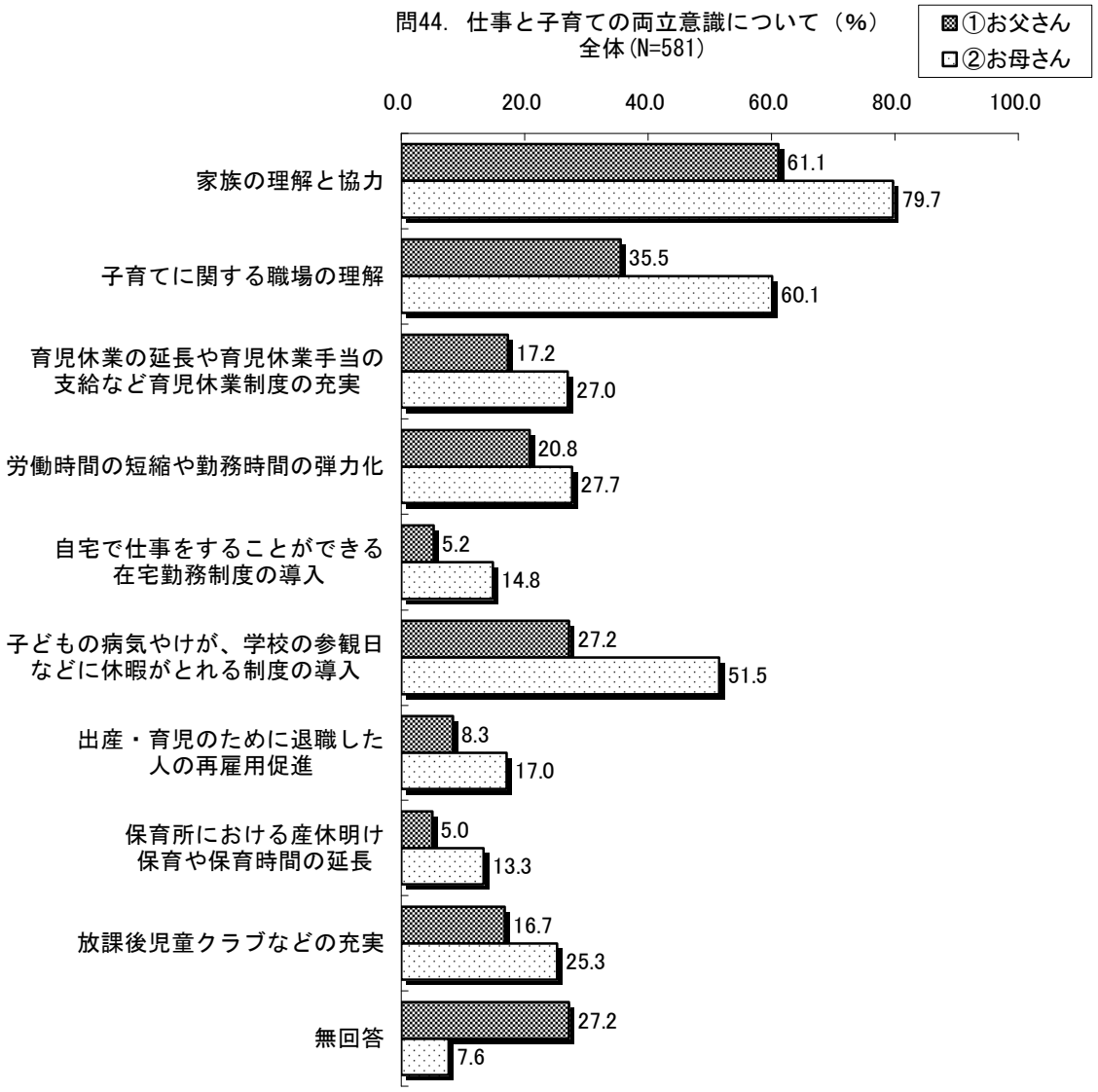


【11】子育て全般について

1．仕事と子育ての両立意識について

問 44．仕事と子育てを両立させるために、特に必要だと思う項目をお父さん、お母さんそれぞれについてお答え下さい。（○印それぞれ３つまで）

◇仕事と子育ての両立意識については、父親、母親ともに「家族の理解と協力」「子育てに関する職場の理解」「子どもの病気やケガ、学校の参観日などに休暇がとれる制度の導入」「労働時間の短縮や勤務時間の弾力化」「育児休業の延長や育児休業手当の支給など育児休業制度の充実」などが上位にあがっている。

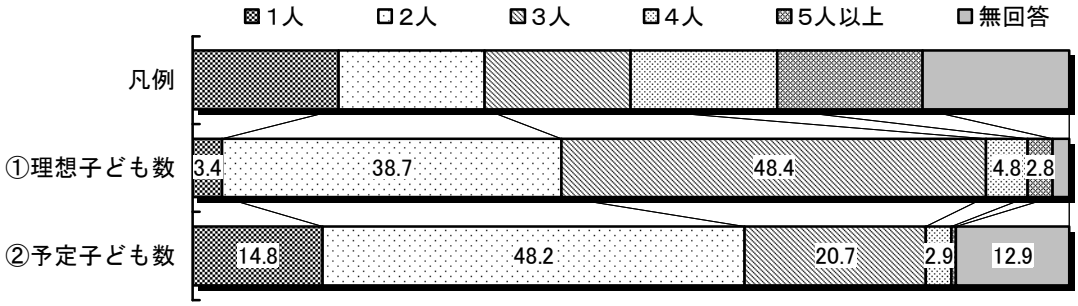


2．理想の子ども数と予定子ども数

問 45．あなたが理想とする子どもの数（理想子ども数）は何人ですか。また、現在のお子さんを含め、今後何人の子どもを持つ予定（予定子ども数）ですか。（○印１つずつ）

◇理想の子ども数は「3 人」が半数近く（48.4%）を占め最も多いが、予定子ども数は「2 人」が半数近くを占めており、理想と現状における差がみられる。

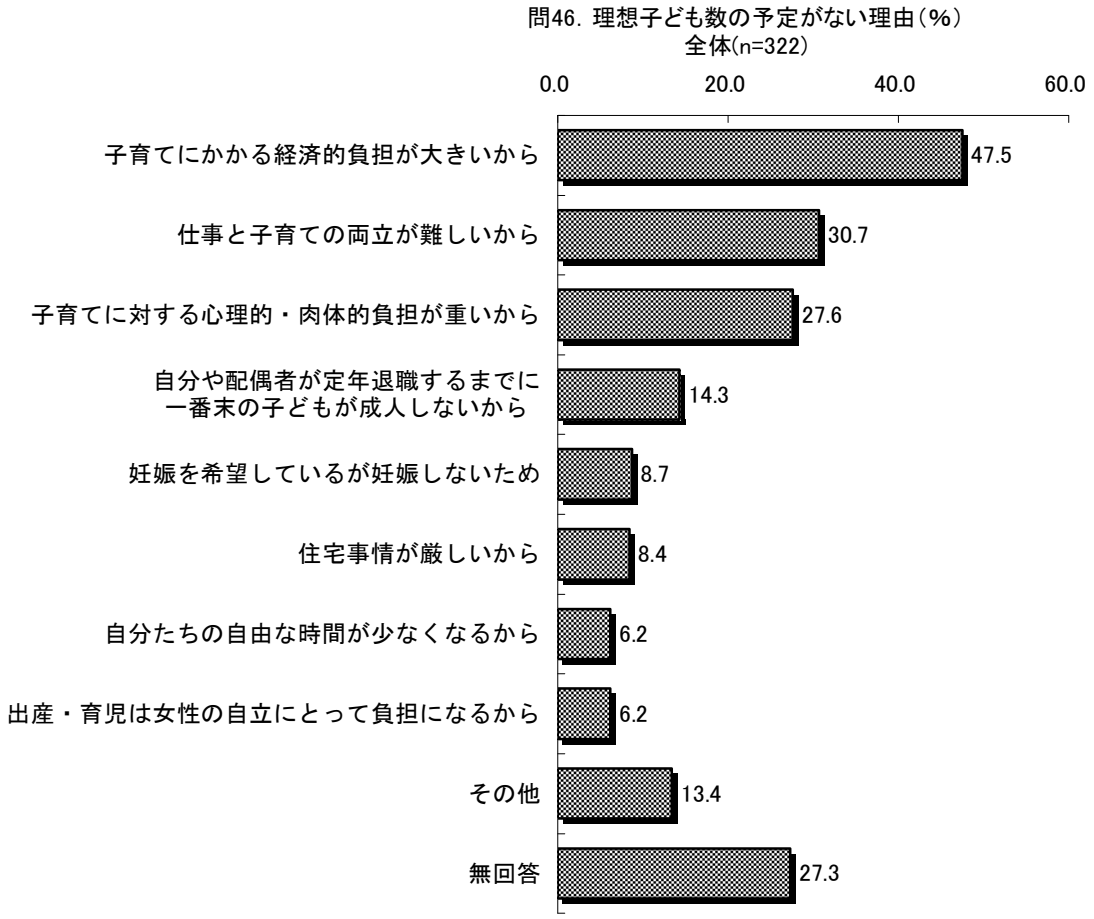
問45．理想子ども数と予定子ども数（%）
全体(N=581)



3．理想子ども数より少ない理由

問 46．理想子ども数より予定子ども数が少ない方におうかがいします。理想とする数の子どもを持つ予定がない理由はどのようなことですか。（○印いくつでも）

◇理想子ども数より予定子ども数が少ない理由については、「子育てに係わる経済的負担が大きいから」が 47.5%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」（30.7%）、「子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから」（27.6%）などの順となっている。


問46. 理想子ども数の予定がない理由（%）
全体(n=322)
0.0
20.0
40.0
60.0
子育てにかかる経済的負担が大きいから
47.5
仕事と子育ての両立が難しいから
30.7
子育てに対する心理的・肉体的負担が重いから
27.6
自分や配偶者が定年退職するまでに
一番末の子どもが成人しないから
14.3
妊娠を希望しているが妊娠しないため
8.7
住宅事情が厳しいから
8.4
自分たちの自由な時間が少なくなるから
6.2
出産・育児は女性の自立にとって負担になるから
6.2
その他
13.4
無回答
27.3

４．平日の放課後の子どもの過ごし方

問 47．平日の放課後の日常的なあて名のお子さんの過ごし方で、最も多いものについて、時間帯ごとにそれぞれお答え下さい。（○印１つずつ）

◇平日の放課後の子どもの過ごし方については、14～16 時は「学校にいる」、16～18 時では「学習塾や習い事に行く」、18～20 時、及び 20 時以降では「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」がそれぞれの時間帯で多くみられる。「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」については、時間が遅くなるほど多くなる傾向にある。

問47. 平日の放課後の過ごし方　全体(N=581)

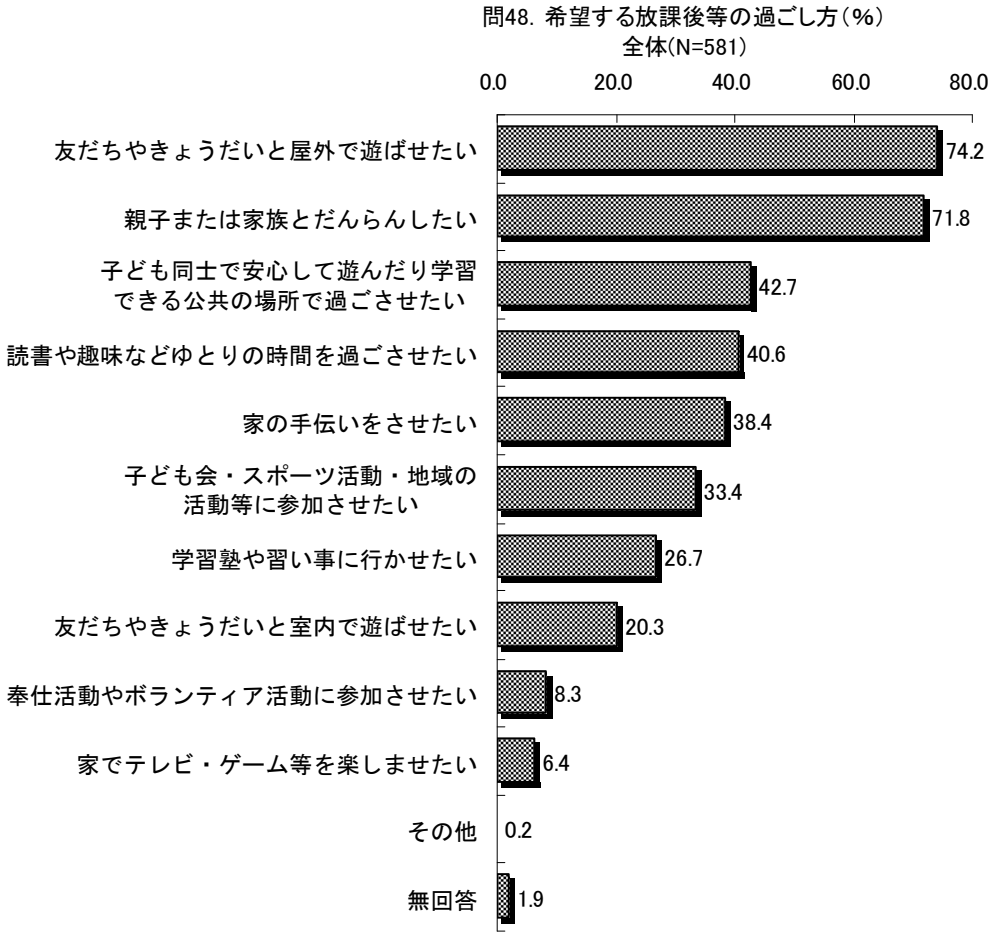
	学校にいる	放課後児童クラブ等で過ごす	保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす	ベビーシッター等と過ごす	家できょうだいや友だち等と子どもだけで過ごす	家でひとりで過ごす	友だちの家にいる	公園等、外で友だち・きょうだいと遊ぶ	公共の施設にいる	クラブ活動や地域活動（※）をする	学習塾や習い事に行く	その他
①14～16時の過ごし方	72.5	6.2	8.3	0.0	1.0	1.2	0.9	1.2	0.0	0.0	0.3	1.2
②16～18時の過ごし方	0.5	9.1	34.8	0.2	8.8	4.3	5.7	6.5	0.2	5.2	11.2	1.7
③18～20時の過ごし方	0.2	0.2	73.1	0.2	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	9.5	6.0	0.3
①20時以降の過ごし方	0.2	0.2	84.5	0.2	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.5	0.5

（※）子ども会活動やスポーツ活動等

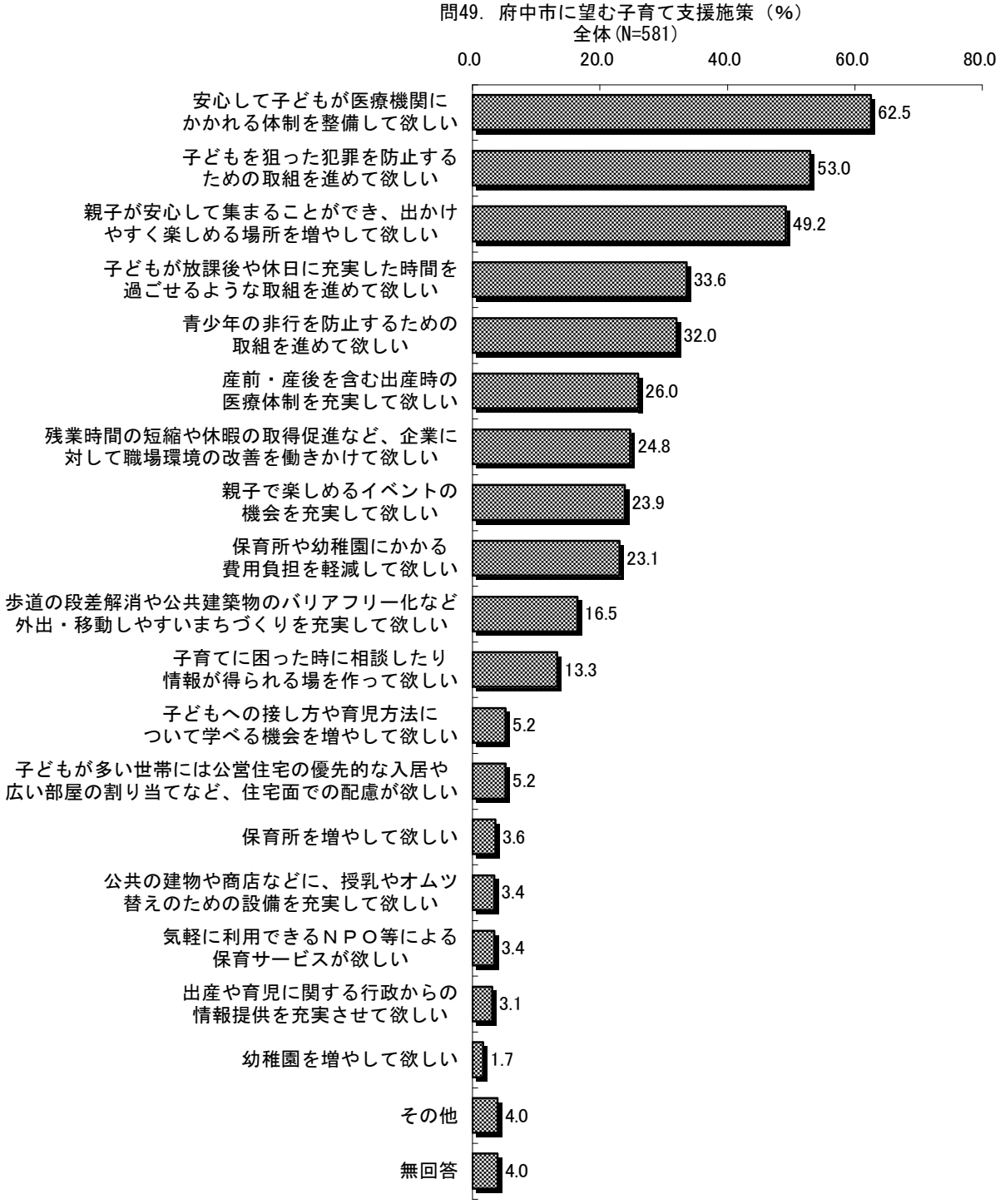
5．希望する放課後等の過ごし方

問 48．平日の放課後や休日のあて名のお子さんの過ごし方について、どのような過ごし方を望みますか。（○印いくつでも）

◇希望する放課後等の過ごし方については、「友だちやきょうだいと屋外で遊ばせたい」が74.2%と最も多く、「親子または家族とだんらんしたい」（71.8%）がほぼ並んで多くなっている。以下「子ども同士で安心して遊んだり学習できる公共の場所で過ごさせたい」（42.7%）、「読書や趣味などゆとりの時間を過ごさせたい」（40.6%）、「家の手伝いをさせたい」（38.4%）などの順となっている。



６．府中市に望む子育て支援施策

問 49．府中市のこれからの子育て支援サービス等について、特に充実させて欲しいと思うことを５つまでお答え下さい。（○印は５つまで）

◇府中市に充実を望む子育て支援施策については、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい」が 62.5%と最も多く、次いで「子どもを狙った犯罪を防止するための取組を進めて欲しい」（53.0%）、「親子が安心して集まることができ、出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」（49.2%）、「子どもが放課後や休日に充実した時間を過ごせるような取組を進めて欲しい」（33.6%）、「青少年の非行を防止するための取組を進めて欲しい」（32.0%）などの順で、犯罪防止など健全育成支援への希望も目立つ。